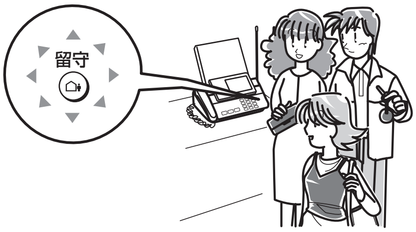


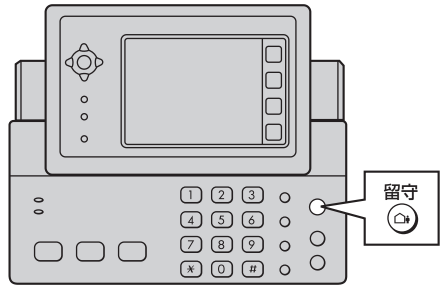
第4章 留守番電話

ページ

親機で留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、1件につき最大約3分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約12分間または、30件までです。

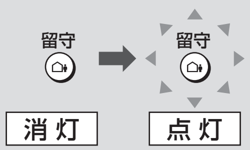


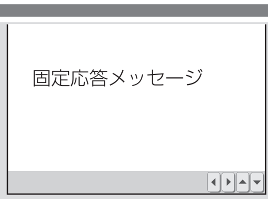


操作のしかた

置いたまま

1 留守 を押して点灯させる





- 留守ボタンが点灯し、固定応答メッセージが流れます。
- 録音できる残り時間が5分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージ

「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）にするときは**

① あらかじめ応答メッセージを録音する
（☞4-10ページ）
② 留守 を押す

■ **固定応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは2秒に設定されています。1秒または4秒に変更することができます。
（発信音待ち時間　☞9-7ページ）

お知らせ

- オリジナルメッセージにしたときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。（☞4-3ページ）
- 録音時間が残り1分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（☞4-9ページ）
- ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
- 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「受信FAXがあります…」と表示されます。（☞3-25ページ）

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボンがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	呼出音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。） ※ただし、リモート操作（☞5-17〜5-19ページ）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ 応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）

応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を設定します。

① 登録/機能 にタッチする

② 「音関連設定」に2回タッチする

③ 「呼出音」に2回タッチする

④ 「留守設定時コール回数」に2回タッチする

⑤ 「回数選択」にタッチする

⑥ コール回数を入力する（01回〜25回）

⑦ 入力終了 にタッチする

⑧ おわる にタッチする

■ 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ 留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは（お声拝聴）（☞9-7ページ）

お声拝聴の設定を「あり」にすると留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。（お買いあげ時は「あり」に設定されています。）

「なし」に設定すると録音中の声と応答メッセージは聞こえません。

お知らせ

- 親機・ワイヤレスカラー液晶・子機のいずれでも、応答メッセージが流れている間や、録音している間に電話を受ける操作をすると通話できます。
- 増設電話機をお使いのとき、応答メッセージが流れているときや録音が始まってから増設電話機の受話器を上げても通話できません。
- メモリー容量がないとき（メモリーがいっぱいのとき）は、ファクスをメモリー受信することや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。もとの応答メッセージに戻すときは、メモリー受信データをプリントまたは消去するか（☞3-30、3-31ページ）、不要な録音を消去してください。（☞4-9ページ）
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

着信までの呼出回数とトールセーバー

留守モードでは着信回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

<外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）>

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

メッセージがあるとき…呼出回数 2 回で着信
メッセージがないとき…呼出回数 5 回で着信

→ 着信音が 3 回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。3 回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2 回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（☞5-17～5-19ページ）によって音声メッセージを確認するなど、親機を操作することができます。

■ 留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは

① 登録/機能 にタッチする

② 「音関連設定」に 2 回タッチする

③ 「呼出音」に 2 回タッチする

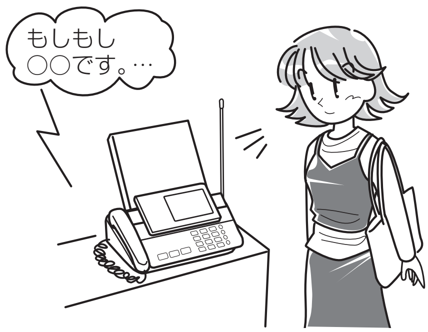
④ 「留守設定時コール回数」に 2 回タッチする

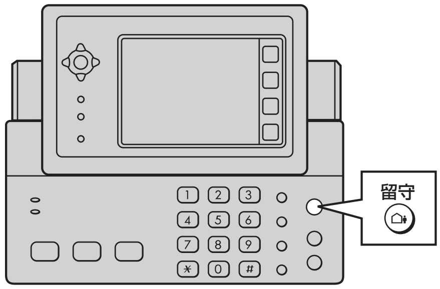
⑤ 「トールセーバー」に 2 回タッチする

⑥ おわる にタッチする

親機で留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

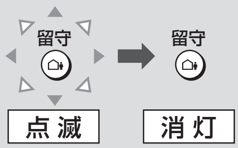




操作のしかた　置いたまま

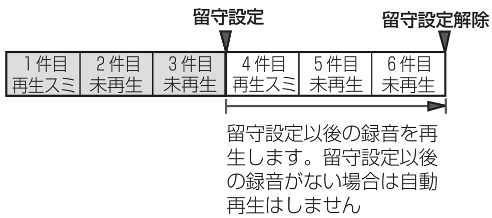
1 留守 を押す

留守設定中に録音があると点滅しています。



- 留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に1回再生します。
- 再生中は4-7ページと同じ操作で「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます。
- 録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。（タイムスタンプ）
- 留守設定を解除しなくても、留守録を聞くことができます。（☞4-7ページ）

留守設定以降の再生について



■ 再生を途中でやめるときは

停止 を押します。または おわる にタッチします。

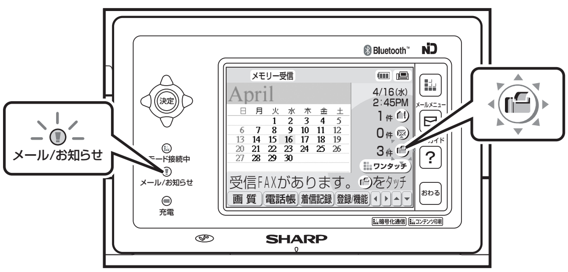
■ 留守ボタンが点滅しているときは

- 留守設定中に1回点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、2回点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、留守録）があります。

  再生ボタンを押して約3秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を聞く（再生する）」（☞4-7～4-8ページ）の操作をします。

■ 親機のディスプレイに「受信FAXがあります。…」と表示しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを表示すると「受信FAXがあります。…」の表示が消えます。（☞3-25ページ）



お知らせ

- 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
- 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
- ワイヤレスカラー液晶の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。（☞1-52ページ）

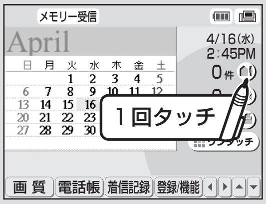
ワイヤレスカラー液晶で留守に設定／解除する

ワイヤレスカラー液晶の マークにタッチするだけで、留守に設定したり、解除したりすることができます。

留守に設定する

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 にタッチする



● マークが点灯します。

留守設定を解除する

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 点灯している にタッチする



● マークが消灯します。

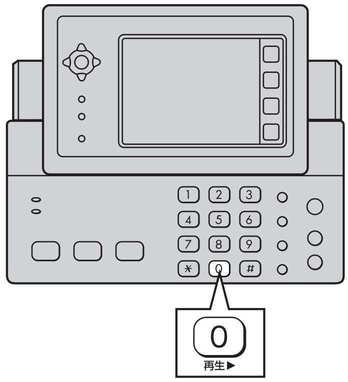
お知らせ

● ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外していると、上記の操作で留守設定を解除しても、留守中に録音されたメッセージは自動的に再生されません。

録音されている内容を聞く（再生する）

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。

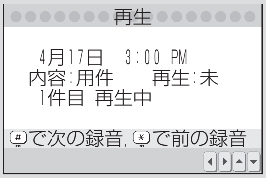




親機で録音内容を再生する

操作のしかた　取り外してもOK！　置いたまま

1 0（再生▶）**を押す**



●ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、上の表示は出ません。

●「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約３秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ 再生を途中でやめるときは

停止 を押します。または おわる にタッチします。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、♯ を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、0（再生▶）を押す（速くなる）

↓

もう一度、0（再生▶）を押す（遅くなる）

↓

もう一度、0（再生▶）を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、＊（トーン）を押す

１つ前の録音に戻すときは

再生中に、＊（トーン）を２回続けて押す

今聞いている録音の１件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して ＊（トーン）を押します。（１回押すごとに１件ずつ）

3秒以上再生したあと、＊ ボタンを２回続けて押すと（5件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに ＊ をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

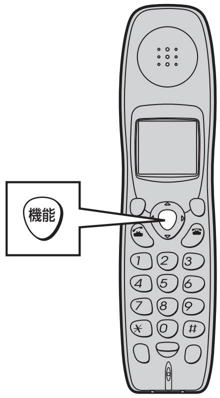
１つ前の録音に戻る

■ 再生中に電話がかかってきたら

再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。

子機で録音内容を再生する





操作のしかた

（通話）消灯

1 （機能）を2回押す

〈サイセイチュウ〉

● 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4件目の位置）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

■ **再生を途中でやめるときは**

（切）を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、（6）を押す

早聞きするときは

再生中に、（9）を押す

もとに戻すときは、もう一度、（9）を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、（5）を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、（5）を2回続けて押す

今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して（5）を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3秒以上再生したあと、（5）ボタンを2回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに（5）をくり返し押す　1つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まってから呼出音が聞こえます。このあと（通話）を押すと通話できます。

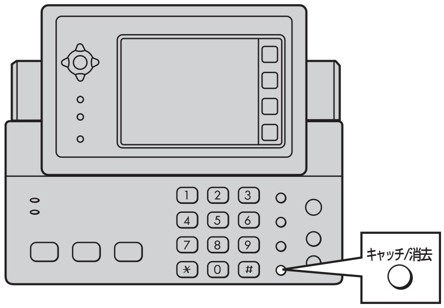
お知らせ

● 一度聞いた不要な用件は消去してください。（☞4-9ページ）録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
● 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
● ワイヤレスカラー液晶の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。（☞1-52ページ）

録音されている内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。

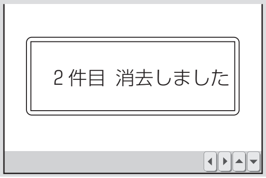




録音を1件消去する

操作のしかた　置いたまま　取り外してもOK！

1 消したい録音を再生中に キャッチ/消去 **を2回押す**

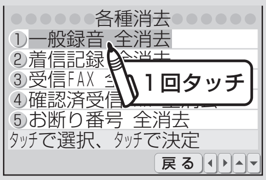


●カラー液晶を取り外しているときは、画面に「2件目 消去しました」などのメッセージは表示されません。

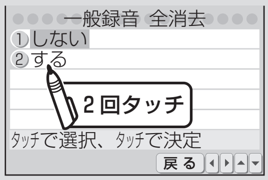
録音をすべて消去する

操作のしかた　取り付けて操作　置いたまま

1 キャッチ/消去 **を押し、「一般録音　全消去」にタッチする**



2 「する」に2回タッチする



●録音がすべて消去されます。

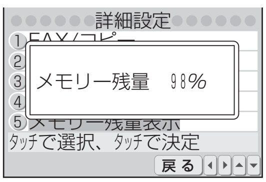
■ **親機のメモリーの残量を確認するときは（メモリー残量表示）**

① 登録/機能 にタッチする

② ▲ または ▼ にタッチして「詳細設定」を選ぶ

③ もう一度、「詳細設定」にタッチする

④ 「メモリー残量表示」に2回タッチする



⑤ おわる にタッチする

4 留守番電話　録音されている内容を消去する

オリジナル応答メッセージを録音する

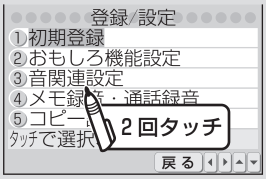
留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます（オリジナルメッセージ）。録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

操作のしかた　タッチペン　取り付けて操作

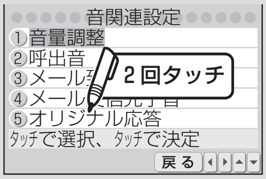
1 登録/機能 **にタッチする**



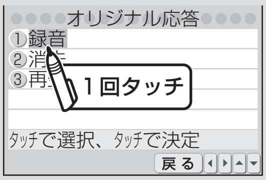
2 「音関連設定」に2回タッチする



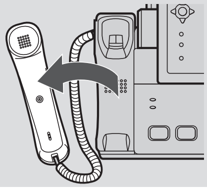
3 「オリジナル応答」に2回タッチする



4 「録音」にタッチする



5 受話器を取る



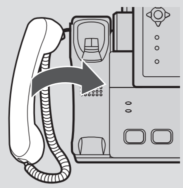
6 FAXスタート **を押し、受話器で応答メッセージを話す**



応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

7 録音が終わったら 停止 **を押し、受話器を戻す**



●録音したメッセージを再生します。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 応答メッセージの内容を変えるときは

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ 応答メッセージの内容を聞くときは

手順４で「再生」に２回タッチします。
オリジナルメッセージが再生されます。

■ 応答メッセージを消すときは

手順４で「消去」に２回タッチします。

お知らせ

- 応答メッセージを録音すると、留守設定時には録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）が流れます。固定応答メッセージに戻したいときは、録音した応答メッセージを消してください。
- 応答メッセージを録音していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。（☞4-2〜4-3ページ）記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。



第5章 便利な機能

ページ

ワイヤレスカラー液晶の待機画面を変える

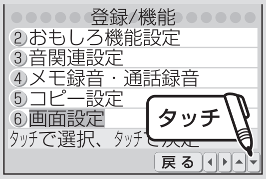
ワイヤレスカラー液晶の待機画面は、はじめは「カレンダー」になっていますが、「からくり時計」、「ダウンロード画像（Lモードからダウンロードした画像）」に変えることができます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

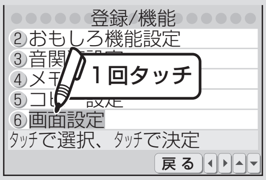
1 登録/機能 **にタッチする**



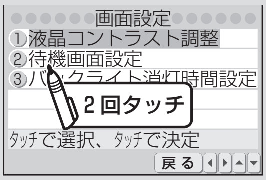
2 ▲または▼**にタッチして「画面設定」を選ぶ**



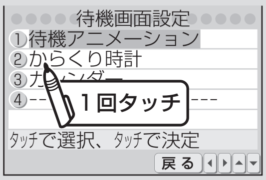
3 「画面設定」にもう一度タッチする



4 「待機画面設定」に2回タッチする



5 表示させたい画像をタッチして選ぶ



●「−−−−−−−−−−」の項目は、あらかじめLモードで待機画面用として登録しておかないと表示されません。
（☞6-66～6-69ページ）

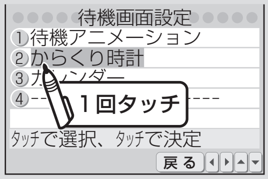
カレンダー



からくり時計



6 選んだ画像にもう一度タッチする



7 おわる **にタッチする**

●待機画面に表示されます。

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ 1つ前に戻るときは

戻る を押します。

■ 登録したダウンロード画像を変更するときは

ダウンロード画像を変更するときは、もう1度待機画面に登録（☞6-66～6-69ページ）すると書き換えられます。書き換えせずにダウンロード画像を消去することはできません。

■ からくり時計機能を使うときは（☞5-26～5-27ページ）

■ カレンダーに予定を登録するときは（☞5-28ページ）

お知らせ

● 待機画面の設定が「カレンダー」になっていても、からくり時計機能（☞5-26～5-27ページ）を「停止」以外に設定していると、設定された時刻にはからくり時計機能が動作し、画面の表示が変わります。

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

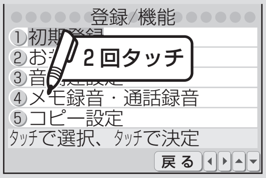
すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。
ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外していると、通話や伝言メモを録音することはできません。必ずワイヤレスカラー液晶を取り付けて操作してください。

通話内容を録音する

操作のしかた　タッチペン　取り付けて操作

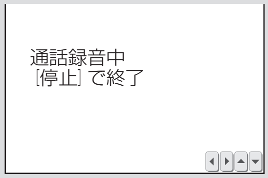
1 通話中に 登録/機能 **にタッチする**

2 「メモ録音・通話録音」に２回タッチする



●内線通話中は、通話録音できません。

3 録音をやめるときは 停止 を押す

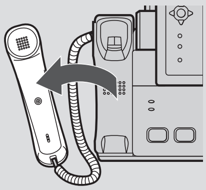


●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。
（タイムスタンプ機能）
● おわる にタッチして終了することもできます。

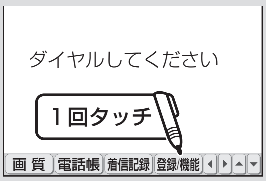
伝言メモを録音する

操作のしかた　タッチペン　取り付けて操作

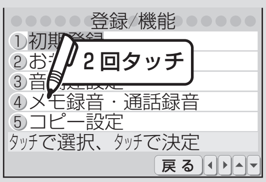
1 受話器を取る



2 登録/機能 **にタッチする**



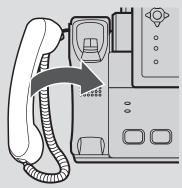
3 「メモ録音・通話録音」に２回タッチする



4 受話器で伝言を話す



5 話し終わったら 停止 **を押してから、受話器を置く**



●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。
（タイムスタンプ機能）
● おわる にタッチして終了することもできます。

■ **録音内容を再生するときは**
（☞4-7～4-8ページ）

■ **録音内容を消去するときは（☞4-9ページ）**

お知らせ

- 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
- 子機の使用中は、親機で伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データや留守録音などがあると録音できる時間が少なくなります。

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。

操作のしかた　（通話）消灯

1 （◁）を押す

0312345678

●最後にかけた相手の方を表示します。

2 （▲）または（▼）で登録する電話番号を選んだあと、（機能）を押す

ナマエ？
カナ

3 名前を入れる（最大12文字）

（☞1-71～1-74ページ）

イケダ　サトシ
カナ

●名前の入力を省略するときは手順４へ進みます。

4 （機能）を押す

ノコリ　95

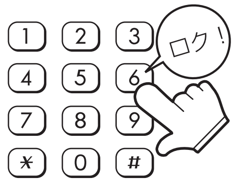
●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ

● 親機では、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

読上げボイス設定を「あり」に設定しておくと、親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせします。
お買いあげ時は読上げボイス設定が「なし」になっています。



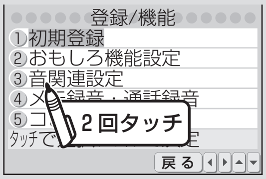
読上げボイス設定を設定／解除する

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！　置いたまま

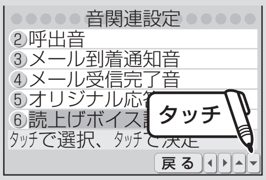
1 登録/機能 にタッチする



2 「音関連設定」に2回タッチする

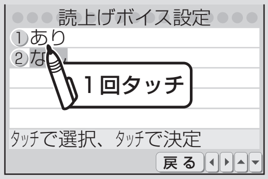


3 ▲または▼にタッチして「読上げボイス設定」を選ぶ



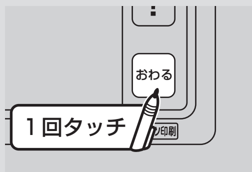
4 「読上げボイス設定」にもう一度タッチする

5 「あり」「なし」のどちらかにタッチして選ぶ



6 選んだ項目にもう一度タッチして決定する

7 おわる にタッチする



読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-49ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ **ボタン番号の読み上げかた**

読上げボイスの設定が「あり」のときは、下記の表のように、押したダイヤルボタンの番号を音声で読み上げます。

1	「イチ」	8	「ハチ」
2	「ニ」	9	「キュウ」
3	「サン」	0 再生▶	「ゼロ」
4	「ヨン」	トーン * ⏮	「スター」
5	「ゴ」	# ⏭	「シャープ」
6	「ロク」	再ダイヤル	「ポーズ」
7	「ナナ」		

お知らせ

- 受話器を取った状態やオンフックボタンを押した状態では、設定を変更できません。
- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
- ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を設定／解除することはできません。

アラームを利用する（子機）

アラームを設定する

子機で、 アラームを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。
（約 5 分間隔で 1 分間鳴り 7 回くり返します。）

操作のしかた　（通話）消灯

1 （機能）**を押し、（▲）または（▼）で「アラームセッテイ」を選ぶ**

アラームセッテイ

2 （機能）**を押し、（◀）または（▶）で「ON」を選ぶ**

▶ON　OFF

3 （機能）**を押す**

00:00

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で 4 ケタ入力します）

07:00

● すでに設定している時刻を変更するときは、（◀）または（▶）で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 （機能）**を押す**

07:00
⏰

● ⏰マークが表示されます。

■ 途中でやめるときは

（切）を押します。

■ アラームの音を途中で止めるときは

アラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約 5 分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

アラームを解除する

操作のしかた　（通話）消灯

1 （機能）**を押し、（▲）または（▼）で「アラームセッテイ」を選ぶ**

アラームセッテイ

2 （機能）**を押し、（◀）または（▶）で「OFF」を選ぶ**

ON ▶OFF

3 （機能）**を押す**

お知らせ

● 子機の時刻が正しく合っていないと、アラーム設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞1-53ページ）、アラームを設定してください。
● アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。
● アラームが動作中に、子機を充電器から取るなど、何らかの操作を行うと、アラームは停止して子機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もアラームは停止します。

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

オリジナルメロディーについて

子機では、電話がかかってきたときの呼出音メロディーを自分で作成することができます。（着信メロディー作曲機能）
作成したメロディーは、子機の呼出音としてお使いいただけます。

■入力できる音の高さ
次の高さの音が入力できます。（3オクターブの範囲です。半音も使えます。）

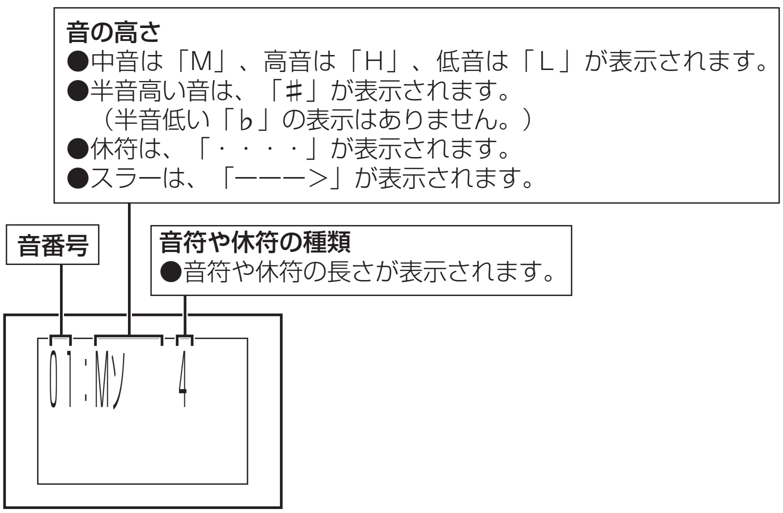


低音（1オクターブ下）（入力画面では、「L」が表示されます。）
中音（標準）（入力画面では、「M」が表示されます。）
高音（1オクターブ上）（入力画面では、「H」が表示されます。）

■入力できる音符・休符
次の音符や休符が入力できます。

ディスプレイ表示	音符	休符	長さ	ディスプレイ表示	音符	休符	長さ
1	𝅝	𝄻	全音符（休符）	4.	𝅘𝅥.	𝄽.	付点4分音符（休符）
16	𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	2	𝅗𝅥	𝄼	2分音符（休符）
16.	𝅘𝅥𝅯.	𝄿.	付点16分音符（休符）	2.	𝅗𝅥.	𝄼.	付点2分音符（休符）
8	𝅘𝅥𝅮	𝄾	8分音符（休符）	16_3	𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 (3)	—	16分3連符
8.	𝅘𝅥𝅮.	𝄾.	付点8分音符（休符）	8_3	𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮𝅘𝅥𝅮 (3)	—	8分3連符
4	𝅘𝅥	𝄽	4分音符（休符）	4_3	𝅘𝅥𝅘𝅥𝅘𝅥 (3)	—	4分3連符

■入力画面のしくみ



オリジナルメロディーを作る

呼出音（オリジナルメロディー）を作る操作です。

操作のしかた （通話）消灯

1 （機能）**を押し、（▲）または（▼）で「メロディトウロク」を選ぶ**

メロディ トウロク

2 （機能）**を押す**

テンポ　120

3 ダイヤルボタンでテンポを入力する（40〜190）

テンポ　150

- お買いあげ時は120になっています。（数値が大きい方がテンポが速くなります。）
- （▲）または（▼）で、テンポを調整することもできます。このときは4テンポ間隔となります。（最小40、最大190まで）
- （◀）または（▶）でカーソルを動かせます。

4 （機能）**を押す**

01:----　-

- メロディーの入力画面になります。

5 ダイヤルボタンでメロディーを入力する

01:Mソ　4

- 5-10〜5-11ページのメロディーの入力方法を参照して、メロディーを入力してください。

6 次の音を入力するときは

（▼）**を押す**

- 音符や休符の種類を指定したあとや1つ前の音とちがうボタンで音の高さや休符を指定するときは、この操作は必要ありません。

7 手順5〜6をくり返して、すべてのメロディーを入力する（最大60音）

- メロディーを途中で確認するときは、カナ/キャッチボタンを押すと、入力したところまでのメロディーが確認できます。
- メロディーを修正するときは、（▲）または（▼）で、修正したい音を表示させたあと、クリアボタンを押して入れ直します。

8 すべてのメロディーを入力したら

（機能）**を押す**

- 作り終わったオリジナルメロディーをすぐに変更するときは、このあと（▲）または（▼）で、「ヘンコウ」を選んだあと、機能ボタンを押すと、手順3に戻ります。

9 （▲）**または**（▼）**で「トウロク」を選び、**（機能）**を押す**

トウロクシマシタ

- このあと、待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

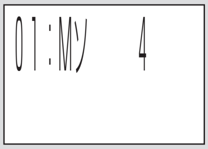
オリジナルメロディーを入力する

メロディーを入力するには、ダイヤルボタンを使って、音の高さ（ド〜シ）や休符、音の長さを入力します。各ダイヤルボタンには音の高さ（ド〜シ）や休符、音の長さを入力できるように割り当てられています。ボタンを押すごとに、入力が切り替わります。（入力割り当て表 ☞5-11ページ）

音の高さや休符を指定する

メロディーの入力画面にしたあと、ダイヤルボタンで入力します。

●ボタンを1回押すと、中音で4分音符が指定されます。
同じボタンをくり返し押すと、同じ音で半音や1オクターブ上または下の音が入力できます。
（例）中音「ソ」4分音符



(9)／(✳)／(#) は、音符や休符を選んでいるときのみ有効となります。

音符や休符の種類を指定する

(✳) または (#) をくり返し押し、音符や休符の種類を指定します。

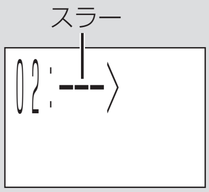
●休符の場合も、音符の指定と同様になります。
（例）中音「ソ」8分音符



音をのばすとき（スラーの指定）

音符を選んだあと、(8) を押します。

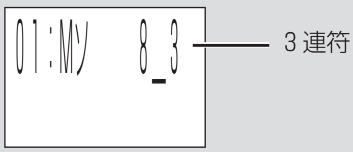
●「−−−>」が表示されます。
次の音となめらかにつながるようになります。

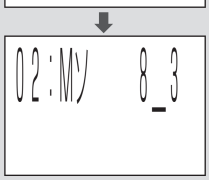


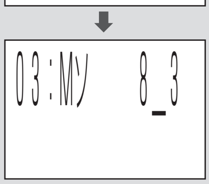
符点付きの音符や3連符にするとき

音符を選んだあと、(9) を押し付点や3連符を指定します。

（例）中音「ソ」の8分の3連符（♫）の場合3連符を指定した「ソ」を3つ入力します。







■ **作ったメロディーを利用するときは**

「子機の呼出音の種類を変える」（☞1-48ページ）の手順3でオリジナルメロディーを選びます。

■ **オリジナルメロディーを消去するときは**

① (機能) を押し、(▲) または (▼) で「メロディショウキョ」を選ぶ
② (機能) を押す
③ もう一度、(機能) を押す

お知らせ

- 登録中に電話がかかってくると、入力中のメロディーは、登録されません。はじめからやり直してください。
- 操作の途中で1分以上何もしないでおくと、待機画面に戻ります。このときは、はじめからやり直してください。

■入力割り当て表

押すボタン	音階	表示（M：中音／H：高音／L低音／♯：半音）
1ア	ド	Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド#
2カABC	レ	Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ#
3サDEF	ミ	Mミ → Hミ → Lミ
4タGHI	ファ	Mファ→Mファ#→Hファ→Hファ#→Lファ→Lファ#
5ナJKL	ソ	Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ#
6ハMNO	ラ	Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ#
7マPQRS	シ	Mシ → Hシ → Lシ
8ヤTUV		ーーー＞（スラー） → （スラーなし）
9ラWXYZ		※1 .（付点） → ※2 ＿3（3連符） → （なし）
0ワ記号	休符	・・・・
トーン ＊		8（8分音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 2（2分音符／休符） → 4（4分音符／休符）
＃		2（2分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 8（8分音符／休符） → 4（4分音符／休符）

※1 付点は、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。
※2 3連符は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

メロディーを入力中に次のボタンを使って、メロディーの確認や変更ができます。

押すボタン	機　　能
内線/クリア 保留	<短く押す>選択中の1音を削除 <2秒以上押す>全音削除
カナ/キャッチ	メロディー確認
▲ または ▼	音符スクロール

お知らせ

- 「ミ」または「シ」は、半音上げることはできません。
- 「♯：シャープ」は、音を半音上げます。「♭：フラット」は、半音下げます。「♭」にするときは、1つ下の音階を入力したあと、半音上げてください。（例：「Mシ♭」は「Mラ♯」と入力します。）

オリジナルメロディーを変更／修正する

操作のしかた 通話 消灯

1 「オリジナル（自作）メロディーを作る」（☞5-9ページ）の手順１～２を行う

テンポ　150

2 ダイヤルボタンでテンポを変更したあと、機能を押す

01:Mファ　4

- ▲または▼で、テンポを調整することもできます。（最小40から最大190まで、4テンポ間隔）
- ◀または▶でカーソルを動かせます。
- メロディー変更画面になります。

3 ▲または▼で変更したい音を選ぶ

4 音を変更する

音符や休符を変更するとき

音長を変更する	▶ ＊（トーン）または #
付点や３連符を変更する	▶ 9（ラ WXYZ）

- 音の高さを変えたり、音符を休符、休符を音符に変更することはできません。
  いったん消去したあと、正しい音符や休符を追加してください。

音符または休符を追加するとき

音を追加する	▶ 1（ア）～ 7（マ PQRS）
休符を追加する	▶ 0（ワ 記号）

- 選んだ音の前に、新しい音が追加されます。
- すでに60音入力されているときは、追加できません。

音符または休符を消去するとき

内線/クリア 保留 を押す（短く押す）

- 選んだ音の１音が消去されます。
  スラー付きの音を消去すると、スラーも消去されます。
- クリアボタンを２秒以上押し続けると、すべての音が消去されます。

5 変更が終わったら

機能 **を押す**

6 ▲または▼で「トウロク」を選び、機能を押す

トウロクシマシタ

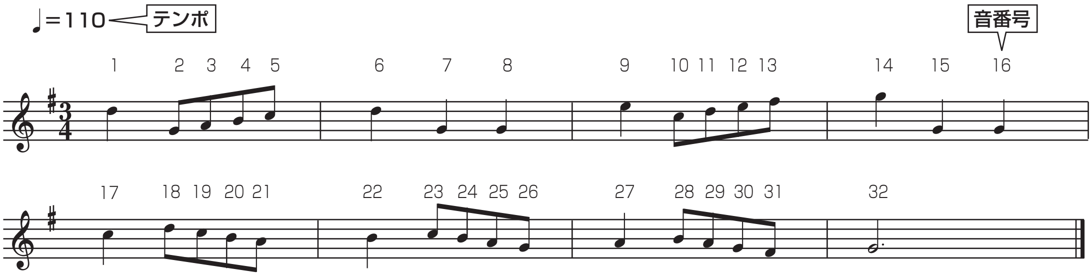
- このあと、待機画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

オリジナルメロディーの作成例

次の曲を登録する場合のボタン操作を示します。（例：メヌエット　バッハ作曲より）



「オリジナルメロディーを作る」（☞5-9ページ）の手順４～７の操作で下記のようにダイヤルボタンを押すと上の曲が入力できます。（×数字は、ボタンを押す回数です。⇩は同じ音が続くので（▼）を押してから次の音符を入力することを表しています。）

1 2 ×3	2 5、＊	3 6、＊	4 7、＊	5 1 × 3、＊	6 2 ×3	7 5 ⇩
8 5	9 3 ×2	10 1 ×3、＊	11 2 ×3、＊	12 3 ×2、＊	13 4 ×4、＊	14 5 ×3 ⇩
15 5 ⇩	16 5	17 1 ×3	18 2 ×3、＊	19 1 ×3、＊	20 7、＊	21 6、＊
22 7	23 1 ×3、＊	24 7、＊	25 6、＊	26 5、＊	27 6	28 7、＊
29 6、＊	30 5、＊	31 4 ×2、＊	32 5、#、9	機能 を２回押してメロディーを登録します。		

親機／ワイヤレスカラー液晶をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときは、タッチペンで項目をタッチします。項目を決定するときは、選んだ項目にもう一度タッチします。

（例）



FAX受信方法を選ぶ

お買いあげ時は [網掛け] に設定されています。

はたらき	ファクスを受信するときの方法を選びます。 ・**見てからプリント**　いったんメモリーに記録し、内容を画面に表示して確認することができます。 ・**メモリー受信**　ファクスをメモリー受信してから自動的にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。 ・**記録紙受信**　直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする → ▲ または ▼ にタッチして「**詳細設定**」を選ぶ → 「**詳細設定**」にもう一度タッチして決定する → 「**FAX／コピー**」にタッチする → 「**FAX受信方法**」にタッチする → 1：見てからプリント／2：メモリー受信／3：記録紙受信 のいずれかをタッチして選ぶ → 選んだ項目にもう一度タッチして決定する → おわる にタッチする

終了音を鳴らす

はたらき	コピーやファクス送受信後に鳴る、終了音の設定を選びます。 ・**アラーム音**　「ピー」という音でお知らせします。 ・**なし**　終了音を鳴らしません。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする → ▲ または ▼ にタッチして「**詳細設定**」を選ぶ → 「**詳細設定**」にもう一度タッチして決定する → 「**FAX／コピー**」にタッチする → 「**終了音**」を選んで2回タッチする → 1：アラーム音／2：なし のいずれかをタッチして選ぶ → 選んだ項目にもう一度タッチして決定する → おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

親機やワイヤレスカラー液晶のキータッチ音を鳴らす

はたらき

ワイヤレスカラー液晶に表示されるキーをタッチしたときや、親機のボタンを押したときに、「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。

- **あり**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。
- **なし**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。

手順

ワイヤレスカラー液晶で設定します。

［ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外したときのキータッチ音を設定する］

登録/機能 にタッチする ➡ ▲ または ▼ にタッチして「**詳細設定**」を選ぶ ➡ 「**詳細設定**」にもう一度タッチして決定する ➡➡ 「**キータッチ音**」に２回タッチする ➡ 「**液晶ディスプレイ部**」にタッチする ➡ １：あり　２：なし　のどちらかをタッチして選ぶ ➡➡ 選んだ項目にもう一度タッチして決定する ➡ おわる にタッチする

［親機のキータッチ音および、ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときのキータッチ音を設定する］

登録/機能 にタッチする ➡ ▲ または ▼ にタッチして「**詳細設定**」を選ぶ ➡ 「**詳細設定**」にもう一度タッチして決定する ➡➡ 「**キータッチ音**」に２回タッチする ➡ 「**本体部**」に２回タッチする ➡ １：あり　２：なし　のどちらかをタッチして選ぶ ➡➡ 選んだ項目にもう一度タッチして決定する ➡ おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **１つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

お知らせ

● ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときは、親機「本体部」のキータッチ音設定が有効になります。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録・設定をすることができます。

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの（▲）または（▼）で選びます。

（例）

ヨウケンサイセイ	（▼）を押す →	ユウセンヨビダシ

クイック通話を設定する

お買いあげ時は［ ］に設定されています。

はたらき	子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。 ・ON　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 ・OFF　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。
手順	子機で設定します。 通話ボタンを消灯した状態で → （機能） → 「クイックツウワ」を選ぶ → （機能） ≫ ≫ マルチファンクションキーの（◀）または（▶）で「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ → （機能）

キータッチ音を鳴らす

はたらき	子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・ON　子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・OFF　「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。
手順	子機で設定します。 通話ボタンを消灯した状態で → （機能） → 「キータッチトーン」を選ぶ → （機能） ≫ ≫ マルチファンクションキーの（◀）または（▶）で「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ → （機能）

待ち受け時間を選ぶ

はたらき	充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。 ・ヒョウジュン　待ち受け時間は約200時間になります。 ・チョウジカン　待ち受け時間は約240時間になります。 （「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。 通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。
手順	子機で設定します。 通話ボタンを消灯した状態で → （機能） → 「マチウケジカン」を選ぶ → （機能） ≫ ≫ マルチファンクションキーの（▲）または（▼）で「ヒョウジュン」「チョウジカン」のどちらかを選ぶ → （機能）

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

暗証番号を登録する

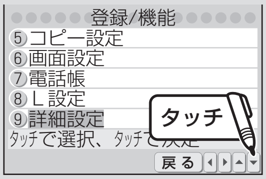
外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

操作のしかた　置いたまま　取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

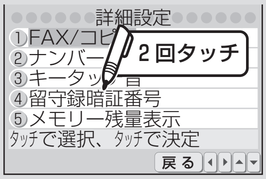


2 ▲ **または** ▼ **にタッチして「詳細設定」を選ぶ**

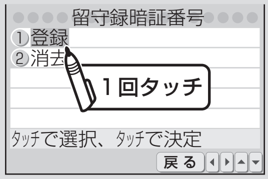


3 「詳細設定」にもう一度タッチする

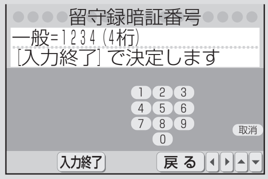
4 「留守録暗証番号」に2回タッチする



5 「登録」にタッチする



6 暗証番号を入れる（4ケタ）



● 取消 にタッチすると、ひとつ前の数字を消去できます。

7 入力終了 **にタッチする**

8 おわる **にタッチする**



■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

■ **登録した暗証番号を消すときは**

① 手順5で「消去」に2回タッチする
② 「する」に2回タッチする
③ おわる にタッチする

■ **暗証番号を変えるときは**

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

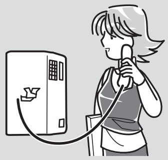
■ **暗証番号を忘れたときは**

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

外出先からリモート操作する

操作のしかた

1 自宅に電話をかける



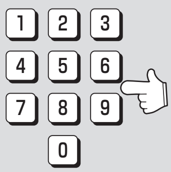
●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

2 応答メッセージが聞こえている間に［＃］を押す



●［＃］を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。
応答メッセージが止まらず、留守番電話の応答メッセージが聞こえているときは、もう一度［＃］を押してください。

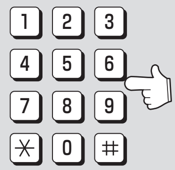
3 暗証番号（4ケタ）を押す



4 ［＃］を押す



5 音声メッセージを聞いたあと
リモート操作番号を押す



（例）録音内容を聞くときは、
［1］［＃］と押します。

6 リモート操作が終わったら
電話を切る



外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

■ **リモート操作表**

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）→（早聞きへ）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の１件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 #

■ **暗証番号を押すときは**

● 10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順３からやり直してください。

● 番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ **一般録音の内容を聞くときは**

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。
録音されているメッセージが１件もないときは、「新しい録音はありません。」と聞こえます。

●留守設定しているとき

留守設定（３件目と４件目の間）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

●留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ **トールセーバーとは**

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、呼出音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。☞4-4ページ）

■ **トールセーバー機能の使いかた**

呼出音が２回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。
３回目の呼出音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

お知らせ

● 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。
（☞9-39～9-41ページ）

● 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。

● 操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）

● 親機が在宅モードで「在宅時コール回数」が「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

電話機を増設する（増設電話機）

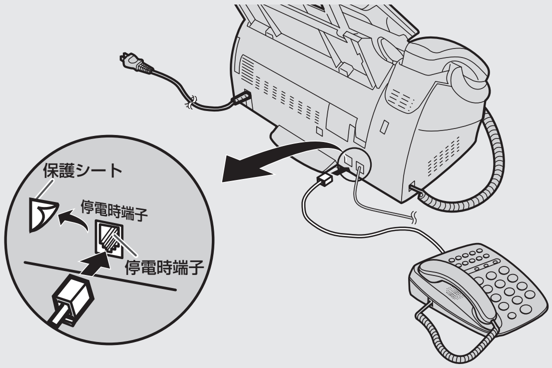
お手持ちの電話機を停電時端子に接続することができます。
接続される電話機は、停電のときも使える電話機をおすすめします。

増設電話機を接続する

操作のしかた

1 停電時端子に接続する

- 保護シートをはがし、電話機の接続コードを、親機の停電時端子（左側の端子部）に「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- 増設電話機を接続したあとは、増設電話機の回線種別を本機に合わせて設定してください。設定のしかたは、増設電話機の取扱説明書をご覧ください。



増設電話機で電話をかける

操作のしかた

1 受話器を取る

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**

- 通話が終わったら受話器を戻します。

増設電話機で電話を受ける

操作のしかた

1 呼出音が鳴ったら **受話器を取ってお話しする**

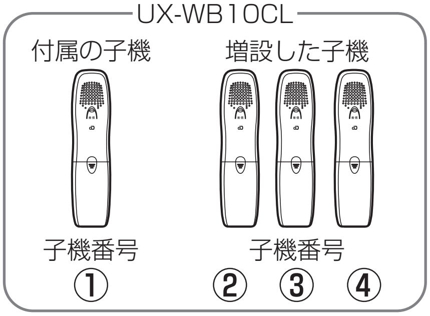
2 通話が終わったら **受話器を戻す**

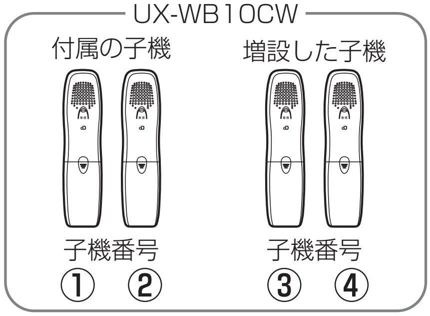
お知らせ

- 親機と増設電話機との間で、内線通話はできません。
- 停電時端子には、電話機を１台しか接続できません。
- 増設した電話機で受けたあとファクスに切り替えることはできません。
- 電話機の種類（留守番電話やホームテレホンなど）によっては、接続できないものや一部機能が使えなくなるものがあります。
- ナンバー・ディスプレイ対応の増設電話機を接続するときは、増設電話機側のナンバー・ディスプレイ機能を働かないように設定してください。誤動作の原因になります。

子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります





- 子機は、付属の子機以外にUX-WB10CLで 3 台まで、UX-WB10CWで 2 台まで増設することができます。

子機を増設しても子機間通話はできません

- 増設できる子機はCJ-KS7、CJ-KS5、CJ-KS4、CJ-KS3、CJ-KS2、CJ-KS1、CJ-KV75、UX-KF3CL、UX-KF1CLです。また、BS／CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。（増設登録手順タイプＡと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-WB10CL／UX-WB10CWに増設した場合の機能比較

機能名	機種名	付属の子機	CJ-KS4	CJ-KS7	CJ-KS5	CJ-KS3	CJ-KS2	CJ-KS1	CJ-KV75	UX-KF3CL	UX-KF1CL	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	×※1	×※1	○（50人）	○（100人）	○（100人）	2-21
	再ダイヤル	○（3件）	○（3件）	○（10件）	○（10件）	○（3件）	○	○	○	○	○	2-33
	ダイヤルボタン点灯	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	——
	優先呼出	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	2-10
	モーニングコール	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	5-7
	子機間ひと声通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2-41
	子機間通話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	——
	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	大・標準	1-51
	スピーカーホン通話	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	2-8
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	7-2
	着信記録	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	7-13
	着信鳴り分け	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	7-22

※1　短縮ダイヤルとして、10件まで記憶させることができます。

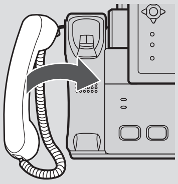
プッシュホンのサービスを利用する(ダイヤル回線ご利用時)

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

親機でプッシュホンサービスを利用する

操作のしかた　取り外してもOK！

1 受話器を取る



2 各種サービスにダイヤルする

3 （トーン）を押す

●このあと、アナウンスにしたがって操作します。
●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

ワイヤレスカラー液晶でプッシュホンサービスを利用する（親機から取り外しているとき）

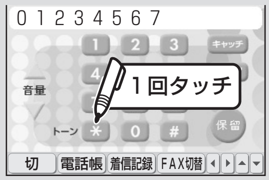
操作のしかた　タッチペン

1 電話モード にタッチする



2 通 話 にタッチして、各種サービスにダイヤルする

3 ＊ にタッチする



●このあと、アナウンスにしたがって操作します。
●これ以降は、ダイヤルキーにタッチするとトーン信号が送られます。
●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンサービスを利用する

操作のしかた　（通話）消灯

1 （通話）を押す

●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 （トーン）を押す

●このあと、アナウンスにしたがって操作します。
●これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
●電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でも、親機の（トーン）、子機の（トーン）を押す、またはワイヤレスカラー液晶の ＊ にタッチすることで、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

● サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
● 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。

キャッチホンを利用する

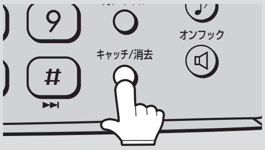
キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。NTTの営業所等へお申し込みください。

親機でキャッチホンを利用する

操作のしかた　取り外してもOK！

1 通話中に呼出音が聞こえたら

キャッチ/消去 **を押す**



●キャッチホン・ディスプレイ（☞7-8～7-11ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）ただし親機からワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは表示しません。

2 もとの通話に戻るときはもう一度

キャッチ/消去 **を押す**

ワイヤレスカラー液晶でキャッチホンを利用する（親機から取り外しているとき）

操作のしかた　タッチペン

1 通話中に呼出音が聞こえたら

キャッチ **にタッチする**



●キャッチホン・ディスプレイ（☞7-8～7-11ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）ただし親機からワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは表示しません。

2 もとの通話に戻るときはもう一度

キャッチ **にタッチする**

お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。また、この場合電話がかかってきたことは、こちら側ではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんので、ご了承願います。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中、「Lモード」との通信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTのサービス取扱所にお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞7-8～7-11ページ）

子機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に呼出音が聞こえたら

カナ/キャッチ **を押す**



●キャッチホン・ディスプレイ（☞7-8～7-11ページ）を契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

2 もとの通話に戻るときはもう一度

カナ/キャッチ **を押す**

お知らせ

- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。また、この場合電話がかかってきたことは、こちら側ではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんので、ご了承願います。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「０」回に設定すると、ファクス受信中、「Ｌモード」との通信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTのサービス取扱所にお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞7-8～7-11ページ）

メッセージ到着お知らせサービスを利用する（ワイヤレスカラー液晶）

メッセージ到着お知らせサービスは、キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったことをお知らせするサービスです。
また、「Lモード」ご利用時には新着メールが届いたことをお知らせします。（☞6-27〜6-28ページ）

マジックボックスやキャッチホンⅡ、メッセージ到着お知らせサービスは、NTTとの契約が必要です。詳しくは局番なしの116番または、NTTの営業所等へお問い合わせください。

キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったら



メッセージ到着お知らせサービスを利用すると、キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージが、メッセージセンターに入ると、ワイヤレスカラー液晶のディスプレイに「メッセージあり1」と表示し、メール／お知らせランプが赤色に点滅します。（メッセージ有り通知）
メッセージ有り通知の着信履歴は「センタ1　M1」と表示されます。
この場合、キャッチホンⅡやマジックボックス（センター1）に音声メッセージ（M1）が入ったことを意味しています。

お知らせ

- メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「使用する」になっていることを確認してください。（☞7-3ページ）メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイを契約されていなくても利用することができます。
- 通話中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
- 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
- 停電中にメッセージ消去通知を受信したり電話がかかってきたりすると応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は電話を切ってください。再度呼出音が聞こえたら応答してください。
- メッセージ有り通知を表示中に停電し、その後復旧してもメッセージの表示は戻りません。
- メッセージ到着お知らせサービスで146をダイヤルし、メッセージを聞いた後、そのメッセージを削除してもメッセージ有りの表示は消えません。メッセージ有りの表示は、メッセージセンターからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。

からくり時計を利用する（ワイヤレスカラー液晶）

からくり時計を設定／変更する

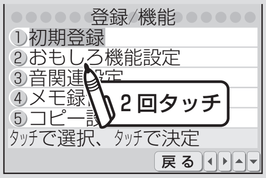
決まった時刻（毎時0分）になると、液晶ディスプレイにアニメーションを表示したり、メロディーなどを演奏することができます。
時間ごとにアニメーション表示とメロディー演奏をするかどうかの動作を設定することができます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

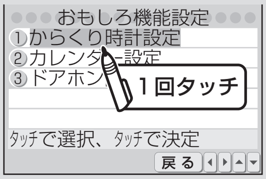
1 登録/機能 **にタッチする**



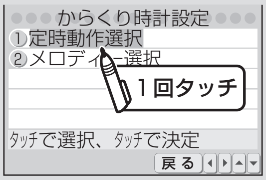
2 **「おもしろ機能設定」に2回タッチする**



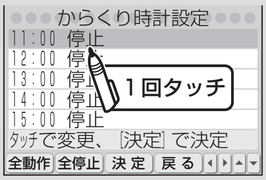
3 **「からくり時計設定」にタッチする**



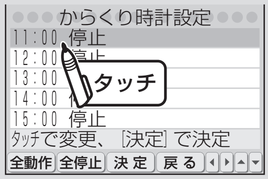
4 **「定時動作選択」にタッチする**



5 **設定したい時間の項目をタッチして選ぶ**



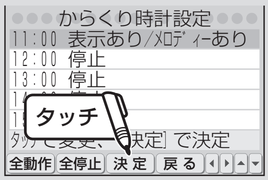
6 **選んだ項目を数回タッチして、動作を選ぶ**



●タッチするたびに動作メニューが切り替わります。
- ・表示あり／メロディーあり
  アニメーションを表示し、メロディーを鳴らします。
- ・表示あり／メロディーなし
  アニメーションを表示し、メロディーは鳴りません。
- ・停止
  アニメーションもメロディーも動作しません。

お買いあげ時は下記の設定になっています。
7:00～21:00…表示あり／メロディーあり
22:00～6:00…停止

7 決 定 **にタッチする**



8 おわる **にタッチする**



■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ １つ前に戻るときは

戻る にタッチします。

■ 演奏するメロディーを変更するときは

① 手順１～３の操作を行う

② 「メロディー選択」に２回タッチする

③ 演奏するメロディーをタッチして選ぶ

④ 選んだメロディーにもう一度タッチして決定する

⑤ 「登録する」にタッチする

「演奏する」に２回タッチすると、選んだメロディーを聞くことができます。

Ｌモードでダウンロードした曲も演奏できます。

⑥ おわる にタッチする

■ 全ての時間の動作を一括で設定するときは

① 「からくり時計を設定／変更する」の手順４まで操作を行う

② 全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をするときは 全動作 にタッチする

全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をしないときは 全停止 にタッチする

③ 決定 にタッチする

④ おわる にタッチする

お知らせ

- からくり時計が動作中にワイヤレスカラー液晶のディスプレイ部分をタッチすると、からくり時計は停止します。（親機に取り付けているときは、受話器を取るなど何らかの操作を行うと停止します。）
  また、電話やファクスの着信があった場合もからくり時計は停止します。
- 通話中やコピー時などは、からくり時計は動作しません。
- Ｌモードで着信メロディーをダウンロードして、からくり時計のメロディーにすることができます。（着信メロディーダウンロード ☞6-57ページ）
- 設定したメロディーは、すべての時刻で共通です。時刻ごとにちがうメロディーの設定はできません。
- メロディー音の大きさは、ワイヤレスカラー液晶の呼出音量と連動しています。大きさを変えるときは、「ワイヤレスカラー液晶の呼出音量を変える」操作で変えてください。（☞1-46ページ）
- ワイヤレスカラー液晶の呼出音を「切」に設定しているときはメロディーは流れません。
- からくり時計が動作するのは毎時０分です。そのほかの時刻に設定することはできません。
- 固定メロディー（「TOYS SYMPHONY」など）とダウンロードメロディーでは再生回数が異なります。
  ダウンロードメロディー：アニメーション表示終了まで繰り返し
  固定メロディー　　　　：あらかじめ決められる回数で終了
- 待機画面の設定をからくり時計にしていなくても、本機能は働きます。
- 表示やメロディーをありに設定していても、毎時０分から１分以上通話などを行っていた場合は、動作が省略されます。（毎時０分から１分以内に操作を終了すればその時点で動作します）
- 時刻は、めやすとしてご利用ください。
  なお、誤差が生じた場合は、日付・時刻の設定（☞1-52ページ）をやり直してください。
  （時計精度：平均月差±60秒以内）

カレンダー機能を利用する（ワイヤレスカラー液晶）

カレンダーに予定を登録する

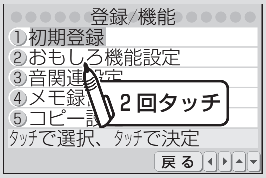
ワイヤレスカラー液晶のカレンダーに１日２件までの予定を登録しておくことができます。（最大100件）
予定を登録した日の前日と当日に液晶ディスプレイに表示してお知らせします。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

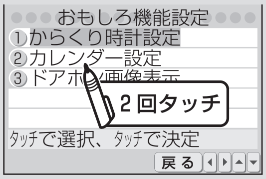
1 登録/機能 にタッチする



2 「おもしろ機能設定」に２回タッチする



3 「カレンダー設定」に２回タッチする

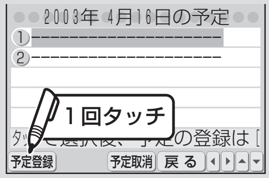


4 予定を登録したい日をタッチして選び、もう一度タッチして決定する



- すでに予定が登録されている日には マークが表示されています。
- 前月 次月 にタッチすると前の月や次の月を表示できます。
- 今日 にタッチすると当日の月のカレンダーが表示され、当日にカーソルが表示されます。

5 予定登録 にタッチする



6 登録したい予定にタッチして選ぶ



- 予定（行事）のマークは、24種類内蔵されています。前ページ 次ページ にタッチすると、他のマークを表示できます。
- 予定の名前を変更することができます。
（☞5-29ページ）

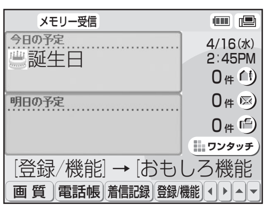
7 選んだ予定をもう一度タッチして決定する

- 続けて２件目を登録するときは、２件目をタッチして選んでから、予定登録 にタッチしてしてください。

8 おわる にタッチする

■ 予定が登録されているときは

前日と当日、待機画面に予定（掲示板）が表示され、メール／お知らせランプが点灯します。



■ 予定を確認するときは

① 手順１〜３の操作を行う
② 確認したい日をタッチする
登録されている予定が画面の上に表示されます。（もう１度タッチして決定すると予定設定の画面になり修正できます。）
③ おわる にタッチする

■ 待機画面に掲示板を表示させない（通常の画面にする）ときは

① 手順１〜３の操作を行う
② 掲示板削除 にタッチする
③ おわる にタッチする
日付が変わったり、日付を変更したり、新しく予定を登録・消去すると、また待機画面に掲示板が表示されるようになります。

予定の名前を変える

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 **「カレンダーに予定を登録する」の手順１～５の操作を行う（☞5-28ページ）**

2 **名前を変えたい予定（行事）マークをタッチして選ぶ**



3 **予定名変更 をタッチする**



4 **名前（全角６文字／半角12文字まで）を入力し直す（☞1-56～1-70ページ）**

5 **入力終了 にタッチする**

6 **おわる にタッチする**



予定を取り消す

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

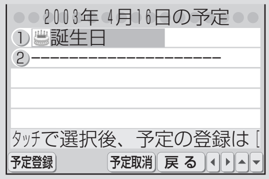
1 **「カレンダーに予定を登録する」の手順1～3の操作を行う**

2 **予定を消去したい日をタッチして選ぶ**

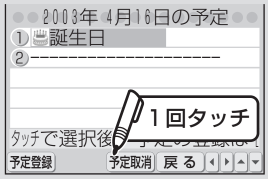


3 **もう一度タッチして決定する**

4 **消去したい予定をタッチして選ぶ**



5 **予定取消 にタッチする**



6 **おわる にタッチする**



予定（行事）マーク一覧



■ **過去の予定をすべて消去するときは**

（ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けた状態で操作してください。）

① キャッチ/消去 を押す

② ▲ または ▼ にタッチして、「カレンダー予定消去（過去分）」を選ぶ

③ 「カレンダー予定消去（過去分）」にもう一度タッチする

④ 「する」に2回タッチする

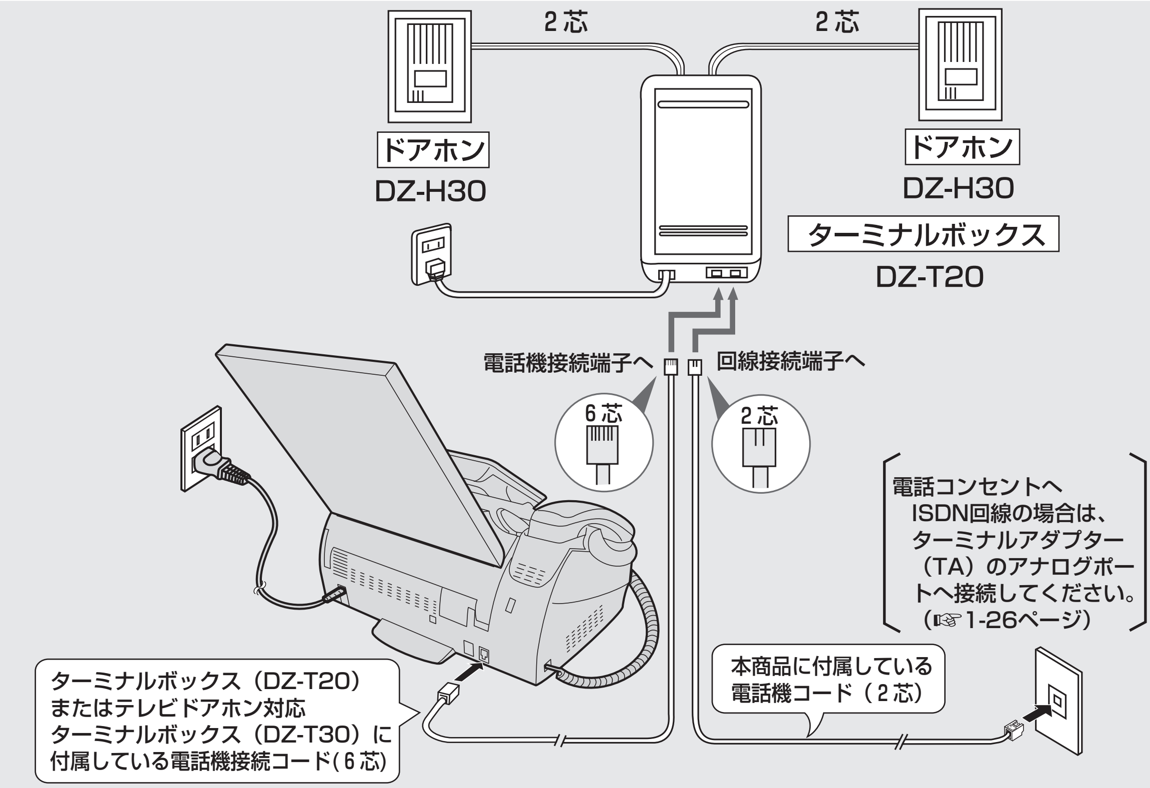
お知らせ

● 登録した予定は、その日が過ぎても自動的には消えません。必要に応じて消去してください。

ドアホン（別売）を接続して使う

別売のターミナルボックス（専用）やドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、親機や子機でドアホン通話することができます。ドアホンは最大２台まで接続することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンと接続する



お知らせ

- テレビドアホンユニットは、DZ-MH70、DZ-MH50、DZ-MH30が接続できます。
- テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。
- 増設電話機が接続されていても増設電話機では、お話しすることはできません。（呼出音も鳴りません。）
- 現在お使いのドアホンが次の機種のときは、専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）

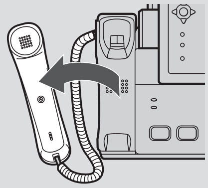
メーカー名（50音順）	適合するドアホン（室外機の機種名） 2002年9月現在
アイホン	IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW　IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC
岩通	ドアホンN
NTT	E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D
松　下 通信工業	VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U　VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP　VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D　VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A
松下電工	EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A　EJ-106S　EJ-1021B

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

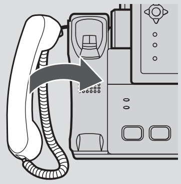
親機でドアホンと話す

操作のしかた

1 呼出音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信１」または、「ドアホン着信２」と表示している間（30秒以内）に
受話器を取って通話する



2 通話が終わったら
受話器を戻す



ワイヤレスカラー液晶でドアホンと話す（親機から取り外しているとき）

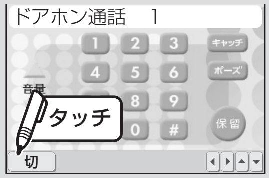
操作のしかた

タッチペン

1 呼出音が「ピンポン」と鳴ったら
［通 話］**にタッチする**



2 通話が終わったら
［切］**にタッチする**



子機でドアホンと話す

操作のしかた

1 呼出音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に
（通話）**を押す**

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら
（切）**を押す**

お知らせ

- Ｌモードのご利用中は、ドアホンと通話することはできません。
- 停電時端子に電話機が接続されていても電話機では、お話しすることはできません。（呼出音も鳴りません。）
- ドアホン通話の保留はできません。
- ファクス送受信中に、ドアホンからの呼び出しがあっても通話することができません。
- ファクス送受信中、コピー中、プリント中にドアホンからの呼び出しがあっても、子機の呼出音は鳴りません。子機で通話することもできません。
- ドアホンの呼出音が「ピンポン」と鳴ったあと約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。このときは、ドアホンモニター機能（☞5-34ページ）でドアホンを呼び出すことができます。
- ドアホン通話を転送することはできません。

■ **ドアホンの呼出音について**

ドアホン１とドアホン２からの呼出音は鳴り方が違います。

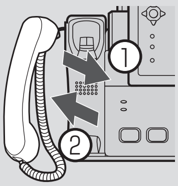
親機	ドアホン１	ピン ポン	子機	ドアホン１	ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ
	ドアホン２	ピン ポン ピン ポン		ドアホン２	ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ ピロ

ドアホンとお話し中に電話がかかってくると

親機でドアホンとお話し中に電話がかかってくると

操作のしかた ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 受話器から着信音が聞こえたら **一度受話器を戻してから、受話器を取る**

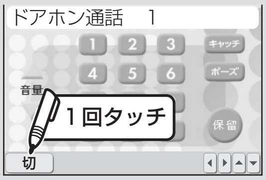


●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。（ドアホン通話には戻れません。）
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

ワイヤレスカラー液晶でドアホンとお話し中に電話がかかってくると（親機から取り外しているとき）

操作のしかた タッチペン

1 スピーカから着信音が聞こえたら 切 **にタッチする**



● 切 にタッチすると、ドアホン通話が切れます。

2 通 話 **にタッチする**

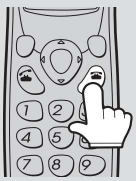


● 通 話 にタッチすると、かかってきた電話との通話になります。

子機でドアホンとお話し中に電話がかかってくると

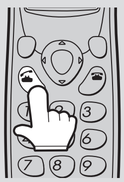
操作のしかた ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 受話口から着信音が聞こえたら 切 **を押す**



●切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れて、通常の呼出音が鳴ります。

2 通話 **を押す**



●通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。



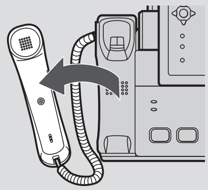
ドアホンモニター機能を使う

本機側からドアホンを呼び出し、通話などをすることができます。一度以上、ドアホンからの着信を受けたことがないと使用できませんのでご注意ください。

親機でドアホンモニターを使う

操作のしかた

1 受話器を取る



2 内線/保留 を押す



3 ドアホン１を呼び出すときは
8 を押す
ドアホン２を呼び出すときは
9 を押す

●ドアホンと通話状態になります。
●終了するときは、受話器を戻します。

■ **親機にワイヤレスカラー液晶を取り付けているときは**

下記の操作でドアホンモニターを使用することもできます。
① 受話器を取る
② 登録/機能 にタッチする
③ ドアホン１を呼び出すときは ドアホンモニタ1 、ドアホン２を呼び出すときは ドアホンモニタ2 にタッチする
終了するときは、受話器を戻します。

ワイヤレスカラー液晶でドアホンモニターを使う（親機から取り外しているとき）

操作のしかた タッチペン

1 登録/機能 にタッチする



2 ドアホン１を呼び出すときは
ドアホンモニタ1 にタッチする
ドアホン２を呼び出すときは
ドアホンモニタ2 にタッチする

●ドアホンと通話状態になり、こちらの声が外へ出力されます。
●終了するときは、 切 にタッチします。

通話中にドアホンから呼び出しがあると

親機で電話中にドアホンから呼び出しがあると

操作のしかた 電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
内線/保留 ♪ **を押す**



●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

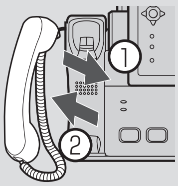
2 電話の相手の方との通話に戻るときは
内線/保留 ♪ **を押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

操作のしかた 内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に**一度受話器を戻してから、受話器を取る**

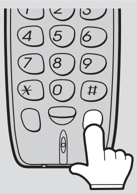


●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機で電話中にドアホンから呼び出しがあると

操作のしかた 電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
内線/クリア 保留 **を押す**



●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは
内線/クリア 保留 **を 2 回押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

操作のしかた 内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に
切 **を押して、子機にドアホンの呼出音が聞こえたら** 通話 **を押す**

●切ボタンを押すと、内線通話が切れます。
●通話ボタンを押すと、ドアホン通話になります。

ワイヤレスカラー液晶で電話中にドアホンから呼び出しがあると（親機から取り外しているとき）

操作のしかた 電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に

保留 **にタッチする**



●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

保留 **に２回タッチする**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると

操作のしかた ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは

8 **を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と２回聞こえたときは

9 **を押す**

● 8 または 9（または キャッチ/消去）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。

子機でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると

操作のしかた ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは

1ア **を押す**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と２回聞こえたときは

2カABC **を押す**

● 1ア または 2カABC（または カナ/キャッチ）を押すごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。

ワイヤレスカラー液晶でドアホン通話中にもう１台のドアホンから呼び出しがあると（親機から取り外しているとき）

操作のしかた ドアホン通話中の通話をやめて、もう１台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの呼出音が「ピンポン」と１回聞こえたときは

8 **にタッチする**

ドアホンの呼出音が「ピンポン、ピンポン」と２回聞こえたときは

9 **にタッチする**

● 8 または 9（または キャッチ）にタッチするごとに、２台のドアホンの方と交互にお話しができます。

お知らせ

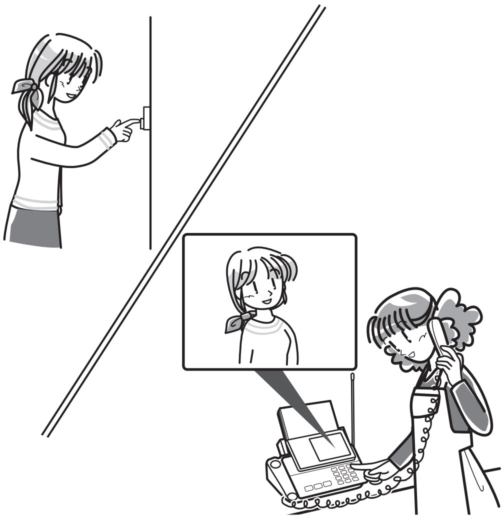
● ワイヤレスカラー液晶や子機でドアホンと通話中に電話があったとき、親機で通話することはできません。

カラーカメラドアホン（別売）を利用する

カラーカメラドアホン（別売）を接続すると、ワイヤレスカラー液晶に相手の方を表示させて、ドアホン通話ができます。また、表示されている画像の保存もできます。親機で留守設定すると、来客があったときに、自動的に画像を保存することもできます。
カラーカメラドアホンは、1台だけ接続できます。ドアホンと組み合わせて2台を接続することはできません。
取り付け工事については、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞8-40～8-41ページ）

カラーカメラドアホンでできること

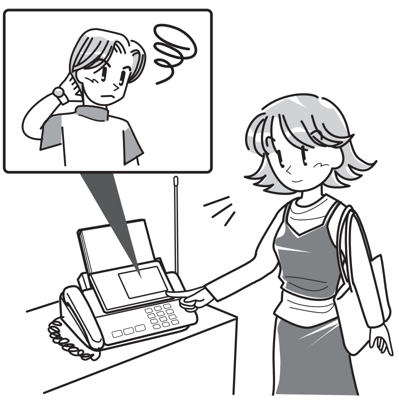
来客時の応対をディスプレイで…



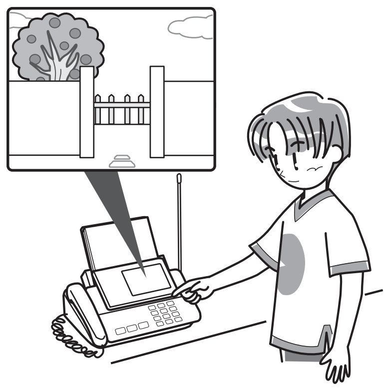
来客の画像を保存！



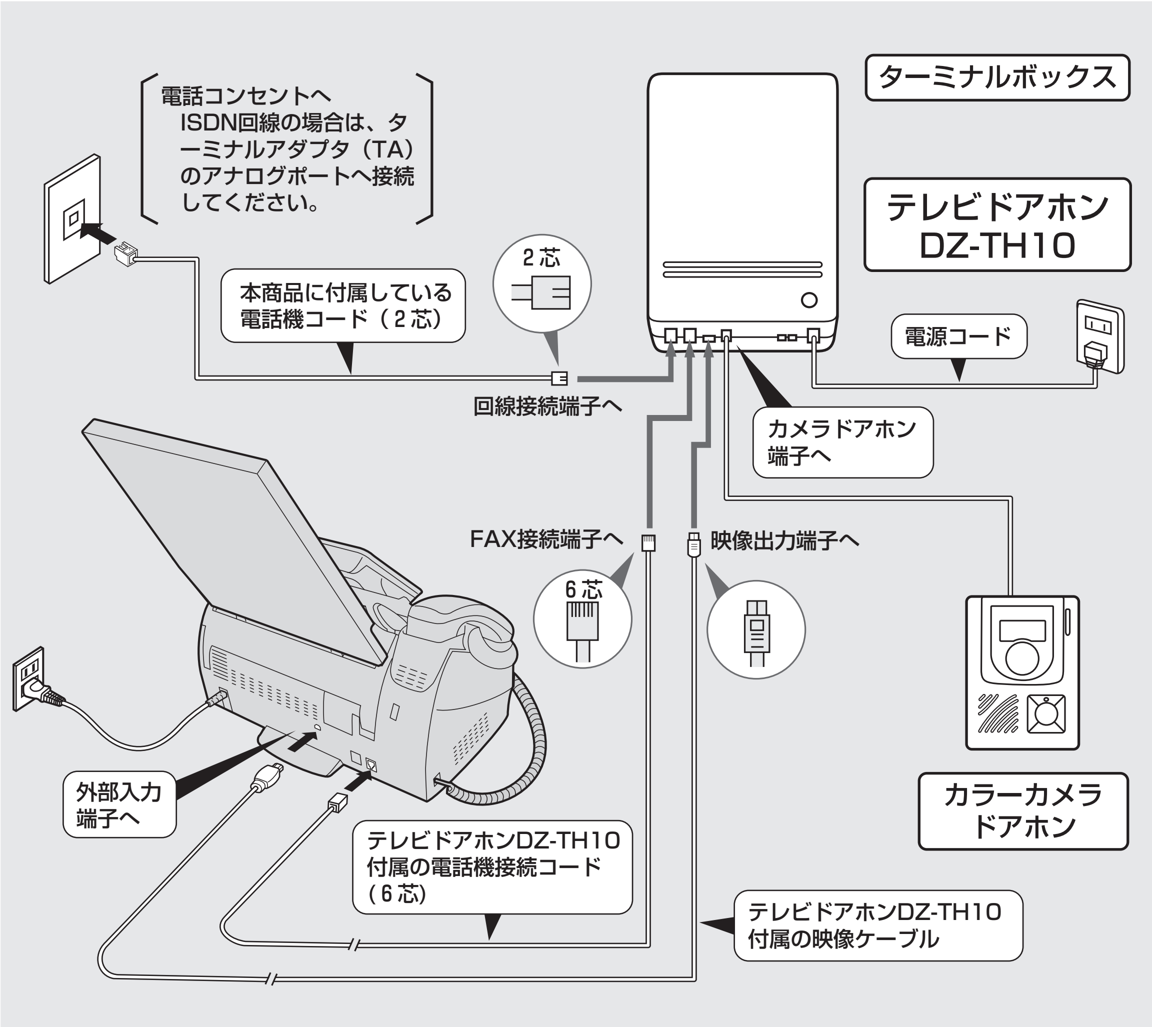
留守中の来客も静止画で保存！



玄関先の様子をディスプレイでモニター（ドアホンモニター機能）



カラーカメラドアホンと接続する



お知らせ

- テレビドアホンDZ-TH10のターミナルボックス以外のターミナルボックスはご利用になれませんので、接続しないでください。

カラーカメラドアホンからの呼び出しに応答することができます。相手の方を画面で見ながら通話できます。

親機でカラーカメラドアホンと話す

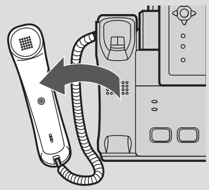
操作のしかた　取り付けて操作

1 カラーカメラドアホンから呼び出しがあると、**外の映像が表示される**



- カラーカメラドアホンのボタンが押されると、画面が点灯し、親機と子機でそれぞれ呼出音が鳴ります。

2 受話器を取る



- 外の相手の方とお話しします。お話しできる時間は約30秒までです。
- 通話をやめるときは受話器を戻します。（待機画面に戻ります。）

ワイヤレスカラー液晶でカラーカメラドアホンと話す（親機から取り外しているとき）

操作のしかた

1 カラーカメラドアホンから呼び出しがあると、**外の映像が表示される**



- カラーカメラドアホンのボタンが押されると、画面が点灯し、親機と子機、ワイヤレスカラー液晶でそれぞれ呼出音が鳴ります。

2 **［通 話］にタッチする**



- 外の相手の方とお話しします。
- 通話をやめるときは［切］にタッチします。（待機画面に戻ります。）

■ **ドアホン通話の音量を変えるときは**

親機で通話しているときは、受話器を上げたまま（音量）を押します。押すごとに5段階に切り替わります。（☞1-49ページ）
ワイヤレスカラー液晶で通話しているときは、［音量調整］にタッチします。

■ **画像の明るさを変えるときは**

［画質調整］にタッチします。画像の明るさを5段階で切り替えることができます。

■ **映像の表示をやめるときは（外線通話中にドアホンから着信があったときのみ）**

［表示中止］にタッチします。

お知らせ

- 親機からカラーカメラドアホンを取り外してお使いのときは、取り付けてお使いのときよりも、画像の表示に時間がかかります。また、画質が少し悪くなります。
- ドアホン通話の保留はできません。
- ファクス送受信中に、ドアホンからの呼び出しがあると、呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話できません（画像も表示できません）。ファクス送受信が終わってから通話してください。
- ドアホンの呼出音が鳴ったあと、約30秒以上ドアホンに応答しなかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を転送することはできません。
- ドアホンの送受話音量はターミナルボックス側で調整できます。
詳しくはターミナルボックスの説明書をご覧ください。

外の相手の方の画像を保存する

カラーカメラドアホンで応対した相手の方の画像を保存しておくことができます。（最大30件まで）
外の相手の方とお話し中に操作します。

操作のしかた 取り外してもOK！

1 相手の方の画像を表示中に
保 存 にタッチする



2 画面が保存される

●画像を保存した日付と時刻が記録されます。
●すでに30件の画像が保存されているときは、最も古いものが自動的に消去されます。

保存した画像を見る

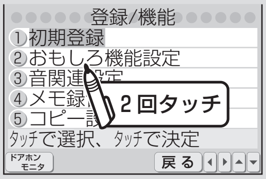
保存した画像を表示できます。画像を保存した日付と時刻も合わせて確認できます。
また、留守中に自動保存された画像（☞5-42ページ）も、下記の操作で確認できます。

操作のしかた　取り外してもOK！

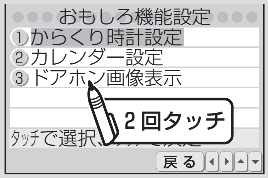
1 登録/機能 **にタッチする**



2 「おもしろ機能設定」に2回タッチする



3 「ドアホン画像表示」に2回タッチする



4 保存した画像が表示される



- 最新の画像が表示されます。（留守中に自動保存された画像も含む。）
- 他の画像を見るときは、前ページ にタッチしてひとつ新しいデータを、次ページ にタッチしてひとつ古いデータを表示させることができます。

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ 不要な画像を消去するときは

① 消去したい画像の表示中に、消 去 にタッチします。

② もう一度、消 去 にタッチします。

お知らせ

- 保存した画像を記録紙に印刷することはできません。

留守中の来客の画像を保存する

親機を留守モード（☞4-2ページ）に設定すると、留守中の来客の画像を自動的に保存し、来客のあった日付と時刻を記録します。
また、録画された画像があることを、待機画面にメッセージを表示してお知らせします。

操作のしかた　取り外してもOK！

1 親機の 留守 を押す
または
ワイヤレスカラー液晶の に タッチする

- 親機が留守モードに設定されます。
- 留守 または が消灯している状態で操作してください。点灯中に上記の操作を行うと、留守モードが解除されます。

2 カラーカメラドアホンのボタンが押されると、**自動的に画像が保存される**



- 留守モード時に自動保存された画像があると、待機画面にお知らせメッセージを表示します。
- 保存された画像を見るときは（☞5-41ページ）

■ **録画が複数あるときは**
前ページ にタッチしてひとつ前の録画を、次ページ にタッチしてひとつ後の録画を表示させることができます。

お知らせ
- 留守中に録画された画像にも、内容を確認する（☞5-41ページ）、消去する（☞5-41ページ）などの操作ができます。
- ドアホンでの留守録音はできません。

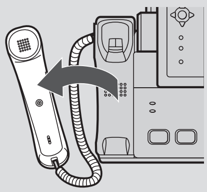
外の映像を見る（ドアホンモニター機能）

親機からの操作で、カラーカメラドアホンを呼び出して通話することができます。

親機に取り付けているとき

操作のしかた

1 受話器を取る

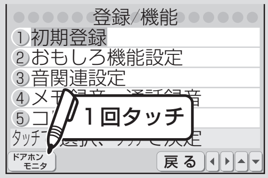


●受話器を取ったあと、下記の操作でもドアホンモニターを使用できます。
①内線/保留ボタンを押す
②ダイヤルボタンの 8 を押す
終了するときは受話器を戻します。

2 登録/機能 にタッチする

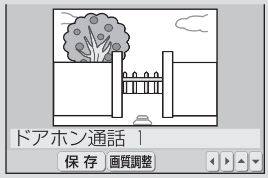


3 ドアホンモニタ にタッチする



● ドアホンモニタ は、一度以上ドアホンからの着信を受けたことがないと表示されません。

4 ドアホンからの画像が表示され、通話状態になる

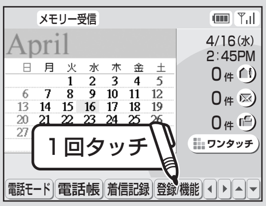


●終了するときは受話器を戻します。

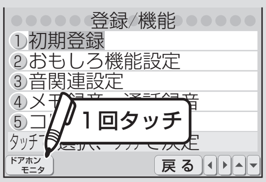
親機から取り外しているとき

操作のしかた

1 登録/機能 にタッチする

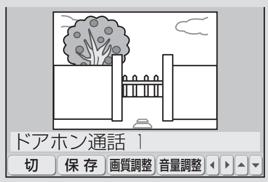


2 ドアホンモニタ にタッチする



● ドアホンモニタ は、一度以上ドアホンからの着信を受けたことがないと表示されません。

3 ドアホンからの画像が表示され、通話状態になる



●終了するときは 切 にタッチします。

■ **ドアホン通話の音量を変えるときは**

親機で通話しているときは、受話器を上げたまま （音量）を押します。押すごとに 5 段階に切り替わります。（☞1-49ページ）
ワイヤレスカラー液晶で通話しているときは、音量調整 にタッチします。

■ **画像の明るさを変えるときは**

画質調整 にタッチします。画像の明るさを 5 段階で切り替えることができます。

子機でカラーカメラドアホンと話す

子機では、カラーカメラドアホンと通話のみ可能です。（映像は出ません。）

操作のしかた

1 ドアホンからの呼出音が聞こえたら
通話 を押す

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら
切 を押す

●お話しできる時間は約30秒までです。

■ **ドアホンの呼出音について**
（☞5-35ページ）

カラーカメラドアホンとお話し中に電話がかかってきたときは

「ドアホンとお話し中に電話がかかってくると」（☞5-33ページ）の操作で、電話に出ることができます。（ワイヤレスカラー液晶の表示は一部異なります。）

通話中にカラーカメラドアホンから呼び出しがあったときは

「通話中にドアホンから呼び出しがあると」（☞5-35ページ）の操作でカラーカメラドアホンと通話できます。

ワイヤレスカラー液晶で電話中にカラーカメラドアホンから呼び出しがあったとき（親機から取り外しているとき）は次の操作でカラーカメラドアホンと通話できます。

① ドアホンの呼出音が聞こえたら30秒以内に 通 話 にタッチする
（ドアホン通話できます。）

② 電話の相手の方との通話に戻るときは 切 → 電話モード → 通 話 の順にタッチする

お知らせ

- 子機からカラーカメラドアホンを呼び出すことはできません。
- Ｌモードのご利用中は、カラーカメラドアホンと通話することはできません。
- カラーカメラドアホン通話の保留はできません。
- ファクス送受信中、コピー中、プリント中にカラーカメラドアホンからの呼び出しがあっても、子機の呼出音は鳴りません。子機で通話することもできません。
- カラーカメラドアホンの呼出音が鳴ったあと、約30秒以上カラーカメラドアホンとの通話に出なかったときは、カラーカメラドアホンと通話できません。
- カラーカメラドアホン通話を転送することはできません。

第6章 Lモード

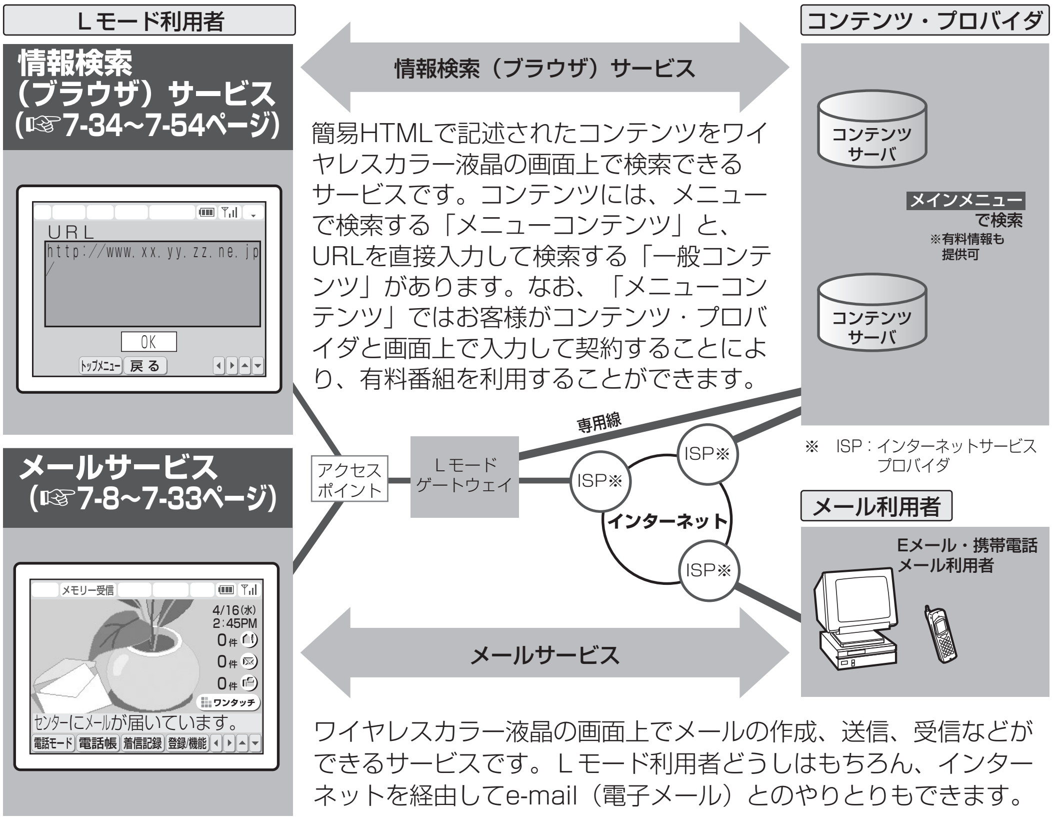
ページ

Lモードについて

Lモードって何？

Lモードとは、本商品からのメニュー操作により、電話感覚で「簡単・便利・安価」にブラウザサービスや、メールサービスをご利用いただけるサービスです。また、Lモードカードを利用する事により、街頭のICカード公衆電話機からもLモードがご利用になれます。Lモードを利用するにはNTTとの契約が必要です。尚、契約と同時に月額使用料が必要となります。詳しくは、局番なしの116番またはNTTの営業所などへお問い合わせください。また、Lモードをご利用時は、必ずナンバー・ディスプレイの設定（☞7-3ページ）を「使用する」に設定したままお使いください。お買いあげ時は「使用する」に設定されています。

Lモードのしくみ



Lモードの利用料金は？

月額使用料… Lモードへ申し込みをされ、利用契約をされると月額使用料がかかります。

通　信　料… 「Lモード」へ接続中は通信料がかかります。（接続中は、画面に マークが表示され、「Lモード接続中」ランプが点灯しています。）

お知らせ

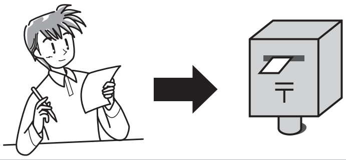
- 本商品から「Lモード」へ接続するときは、発番号（お客様の電話番号）を通知しないと接続できません。詳しくは、局番なしの116番またはNTTの営業所等へお問い合わせください。
- ブラウザサービスを利用するには、アクセスポイント電話番号（センター番号）が必要です。「はじめてLモードを利用する」の操作を行い、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得してください。（☞6-6ページ）
- 「Lモード」と通信中はブラウザマークが点灯し通信料金がかかります。（☞6-8ページ）
- 「Lモード」と接続が失敗した場合でも通信料がかかります。
- 迷惑メール防止のためメールアドレスの変更をお勧めします。

Lモードを申し込む

Lモードをお使いになるときは、必ずNTTへの利用契約（お申し込み）を行ってください。
利用契約をいただくと月額使用料が必要となります。

Lモードの詳しいお問い合わせは
局番なしの 116 番へ

付属の申込書での方法



付属の「Lモードサービス兼Lモード接続サービス等申込書」に必要事項を記入し、ポストへ投函します。



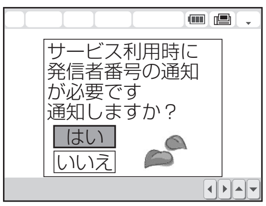
数日後、Lモード使用説明書が届けられます。
（申し込み完了）

ワイヤレスカラー液晶で、利用設定をします。（☞6-6ページ）
※初めてLモードをご利用になるときには、まず初めに利用設定をしてください。

親機から直接申し込む方法

親機から直接お申し込みいただけます。その際の通信費は無料です。（申込書の送付は不要です。）
●受付時間：午前9時～午後8時　年中無休（年末年始を除きます）

取扱説明書に記載のLモード画面の内容や操作手順は2003年1月現在のもので、予告なく変更される場合があります。



1 にタッチして、左記の画面が表示されたら「はい」にタッチします。
※ご利用にあたっては、発信者番号が必要です。
「いいえ」を選ぶとお申し込みできません。
※ にタッチして接続中画面になってから、センターとの接続に約30～60秒程度かかります。

2 「OK」にタッチします。

次ページへ



3「Lモードかんたんお申込はこちら」にタッチします。

4画面をスクロールして内容を確認し、「承諾事項を読む」にタッチします。

5画面をスクロールして内容を確認し、「承諾事項の画面へ」にタッチします。

6承諾事項が表示されますので、画面をスクロールしてお読みください。ご確認されましたら、「承諾事項を承諾し、Ｌモードを申し込む」にタッチします。



7「オペレータに接続する」を選んで、にタッチします。お申し込みをするためにオペレータに接続します。

8オペレータへの電話番号が表示されますので、「はい」にタッチします。

オペレータに電話がつながります。受話器をあげてオペレータとお話しください。（無料）

必要事項をお伺いしますので、お答えください。お申し込みが終了しましたら、受話器をおろして電話をお切りください。

9NTTにて工事を行います。

（訪問による工事はありません）

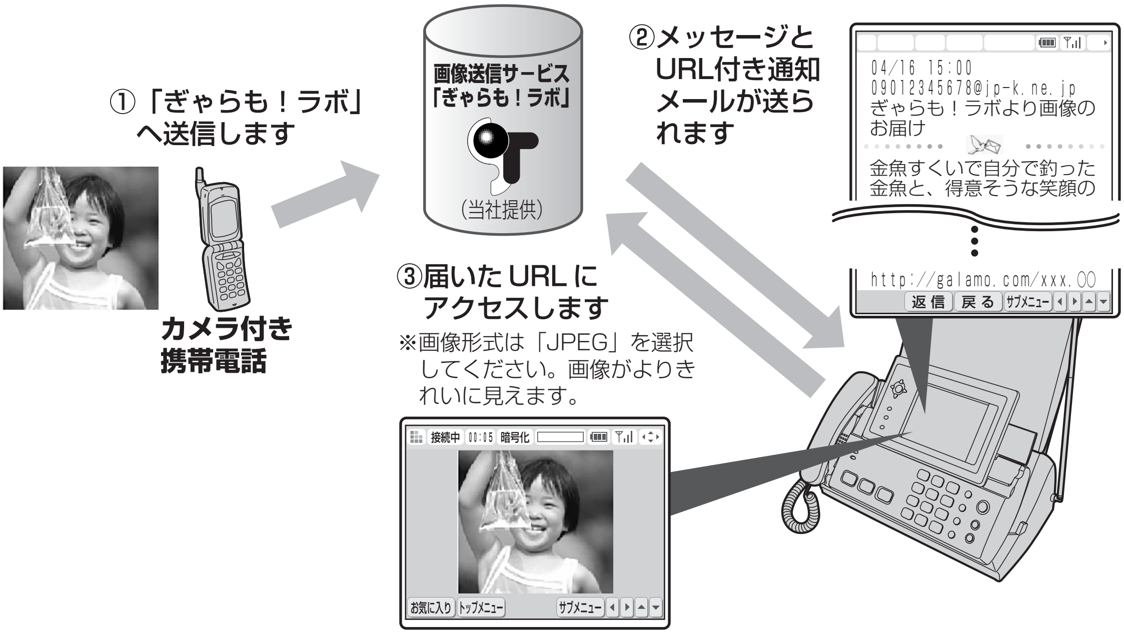
端末機器自動設定をします。（☞6-17ページ）

※初めてＬモードをご利用になるときには、まず初めに端末機器自動設定をしてください。

携帯電話のモバイルカメラで撮った画像も見ることができます！

当社は、ジェイフォン(株)の携帯電話向けに「Space Town for J」を提供しています。
この「Space Town for J」の画像送信サービス「ぎゃらも！　ラボ」を使うと、携帯電話のモバイルカメラで撮影した写真をＬモードを経由して見ることができます。

※ご利用できる携帯電話は、ジェイフォン(株)のJ-SH04/06/07/08/09/51です。（2002年9月現在）
※携帯電話で「ぎゃらも！　ラボ」サービスをご利用になるには、会員登録が必要です。
基本料金、利用料は無料です。ただし、通信料などはご利用者の負担となります。ご了承ください。
※ファクスで画像を見るための会員登録は必要ありませんが、別途通信料金がかかりますのでご了承ください。



Ｌモードについて

6 メール ブラウザ Ｌモード

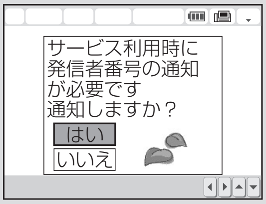
はじめてＬモードを利用する

Ｌモードを利用設定する

Ｌモードを郵送や店頭で申し込まれたあと、Ｌモードをはじめてご利用になるには、設定センターからアクセスポイント電話番号（センター番号）を取得し、ワイヤレスカラー液晶に登録するための操作を行います。
Ｌモードを親機の操作で申し込まれた場合（☞6-3～6-4ページ）は、6-17ページの端末機器自動設定をしてください。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 にタッチする

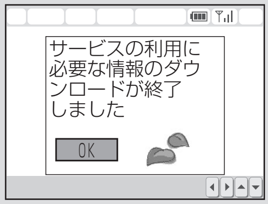


2 「はい」にタッチする

●「いいえ」にタッチすると「サービスのご利用には発信者電話番号の通知が必要です。」が表示され、サービス利用の設定ができません。「Ｌモード」をご利用になるときは、「はい」にタッチしてください。

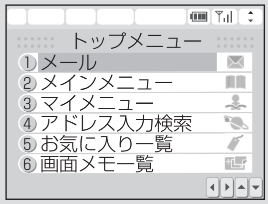
●自動的に設定センターへ接続され、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得します。

3 「設定完了」と表示されたら「OK」にタッチする



●アクセスポイント電話番号（センター番号）がワイヤレスカラー液晶に登録されます。設定完了後、回線が切断されます。

4 「トップメニュー」が表示される



●Ｌモードのサービスをご利用いただけます。タッチペンで項目を選んでください。

5 おわる にタッチすると、待機画面に戻る

■ **途中でやめるときは**

おわる を押します。

■ **「接続に失敗しました」と表示されたときは**

端末機器自動設定がうまく設定できませんでした。もう一度操作をやり直してください。または、登録メニューから設定してください。（「端末機器自動設定」☞6-17ページ）
また、「Ｌモード」を契約していないときも表示されます。

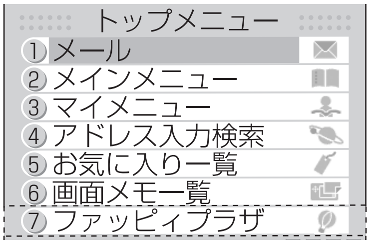
■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが赤色に点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 回線の状態によっては、まれに「Ｌモード」と接続できない場合があります。
- 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。
- 引っ越しや移転などをしたときは、端末機器自動設定を行わないと「Ｌモード」に接続できなくなる場合があります。
- 手順２で「はい」にタッチして接続中画面になってから、センターとの接続に約30～60秒程度かかります。
- ワイヤレスカラー液晶の充電池の残量がなくなったり、充電池を交換したりすると、アクセスポイント電話番号（センター番号）が消去されます。「Ｌモード」に接続するときは、もう一度、手順１～５の操作を行ってください。

Ｌモードのトップメニューについて



① **メール**
メールの作成や送受信ができます。

② **メインメニュー**
生活に役立つ情報が取り出せます。

③ **マイメニュー**
お気に入りの番組をマイメニューに登録しておくと、すぐに表示させることができます。

④ **アドレス入力検索**
ホームページのアドレスを入力するとインターネット上のホームページを見ることができます。

⑤ **お気に入り一覧**
インターネットのアドレスを登録しておくとすぐに表示することができます。

⑥ **画面メモ一覧**
表示させた画面を保存することができます。

⑦ **ファッピィプラザ**
シャープスペースタウンの案内を表示します。

用語について

ゲートウェイ：
異なるプロトコルを持つネットワークを相互に接続するための、ハードウェアやソフトウェアのこと。

コンテンツ：
コンピュータで、画像、動画、音声、文章などを組み合わせて、一つの作品として仕上げたもの。

サイト：
サーバが設置された場所のこと。おもにインターネット上のサーバに対して使う。

ダウンロード：
他のコンピュータ上にあるデータを、ネットワークを通じて自分の端末側にコピーすること。

センター：
メールの送受信やブラウザページの閲覧をするために、回線を接続するところ。

タグ：
ファイルの中の特定の場所につけられた印のこと。そのタグを指定することで、その場所へ簡単に移動できる。

URL「ユーアールエル」：
Uniform Resource Locator の略。www で使われる、インターネット上の情報にアクセスする方法を示す表記。（インターネットのURLのことをアドレスと呼ぶこともある）「http://www.○○○.co.jp/△△△/」というように、「プロトコル：//サーバ名/パス名」と記述される。

Ｌモードやサイトによっては「パスワード」が必要になります。

●パスワードの変更のしかた（☞6-9〜6-10ページ）
別途NTTからお届けする「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

お知らせ

- 停電などで電源が切れてもアクセスポイント電話番号（センター番号）は消去されません。ただし、ワイヤレスカラー液晶の充電池の残量がなくなったり、充電池を交換したりすると消去されます。
- 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど発信先の電話番号の先頭に0をつける必要がある通信機器を接続した場合は、Ｌモードをご利用いただけません。

Ｌモード利用時のディスプレイ表示

「Ｌモード」利用時はワイヤレスカラー液晶に次のように表示されます。各メニューやページ等で表示される内容が変わります。

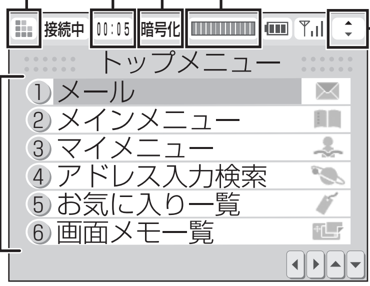
（ブラウザマーク）
「Ｌモード」へ接続している間、表示または点滅しています。
表示中は通信料金がかかります。
「Ｌモード」との接続が切れると（ブラウザマーク）は消えます。

「Ｌモード」との接続を終了するときは
おわる にタッチします。

表示はそのままで「Ｌモード」との接続を切断するときは
にタッチします。

メニュー
メニューの項目が表示されます。選ばれている項目が（水色）のカーソルで表示されます。
項目を表示するには、タッチペンで項目にタッチします。
ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。

00:05
接続時間の目安を分単位で表示します。



暗号化
暗号化通信（☞6-54ページ）中に表示されます。

画面の読み込みが終わるまでの目安を目盛りで表示します。

方向表示
サイトを表示しているときや文字入力モードのときに、ページやカーソルの移動が可能な方向が表示されます。
は、画面がスクロールできる方向や選べる項目がある方向を表示します。▲ または ▼ にタッチして操作してください。
は、1つ前のページに戻る、または1つ先のページに進むことができるときに表示されます。1つ前に戻るときは ◀ を、1つ先に進むときは ▶ にタッチしてください。

はじめてＬモードを利用する
6
メール
Ｌモード
ブラウザ

お知らせ

- コンテンツによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- コンテンツ提供者のサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 「Ｌモード」対応のページとは、「Ｌモード」に対応したタグ（ファイル中の特定の場所につけられた印）などで作成されたものです。文字のみのページや、画像（GIF、JPEG形式のみ）も表示できます。
- トップメニューを表示しているとき、「Ｌモード」と回線が接続されている場合もあります。回線が接続されている場合は、ブラウザマークが表示されています。
- この取扱説明書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状が異なる場合があります。

パスワードを変更／入力する

パスワードを変更する

Ｌモードのご利用にあたり、お客様の確認が必要な場合はパスワード（数字４ケタ）の入力が必要になります。ご契約時には「0000」に設定されていますので、変更してからお使いください。詳しくは、別途NTTからお届けする「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

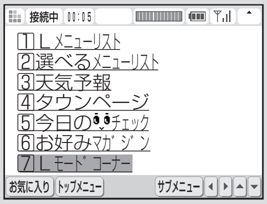
パスワードが必要な場合
（すべて同じパスワードを使用してください。）
◆有料番組の申込および解約
◆Ｌ案内メールサービスの申込および解約
◆パスワードの変更
◆各種サービス機能の変更や設定

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

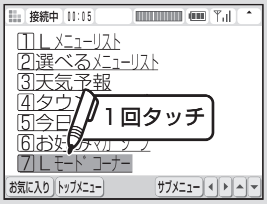
1 にタッチし、「メインメニュー」にタッチする



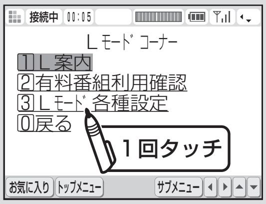
2 ▲または▼にタッチして「Ｌモードコーナー」を選ぶ



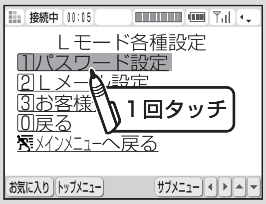
3 「Ｌモードコーナー」にタッチする



4 「Ｌモード各種設定」にタッチする



5 「パスワード設定」にタッチする



6 パスワード入力欄にタッチする



7 変更前のパスワード（数字４桁）を入力する



●ご契約時は「0000」（数字４桁）に設定されています。
●２回目以降の変更の場合は、ご自分の設定されたパスワードを入力します。

8 入力終了 にタッチする

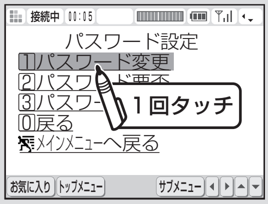


●ほかの方に内容が分からないように、パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。

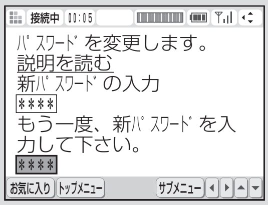
9 「OK」にタッチする



10 「パスワード変更」にタッチする



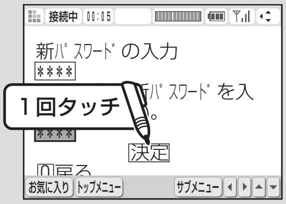
11 入力欄をタッチして入力画面を表示させ、新パスワード（数字４桁）を２回入力する



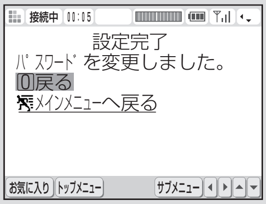
次ページへ→

→つづき

12 ▼ **にタッチして画面をスクロールさせ、「決定」にタッチする**



13 **変更が完了する**



●パスワードが変更されました。

お知らせ

- パスワードを変更されない場合は「0000（数字4ケタ）」をパスワードとして設定されたと見なします。
- パスワードの変更方法や設定の状況を確認する方法については「Lモード使用説明書」をご覧ください。（2003年2月現在）

パスワードを入力する

ご契約後初めてお使いになるときは、パスワードが「0000」に設定されています。まず、6-9ページ「パスワードを変更する」の操作をしてからこのページの操作をしてください。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 パスワード入力画面が表示されたら、パスワード入力欄にタッチする



2 パスワード（数字4桁）を入力する



3 入力終了 にタッチする



●ほかの方に内容が分からないように、パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。

4 「OK」にタッチする

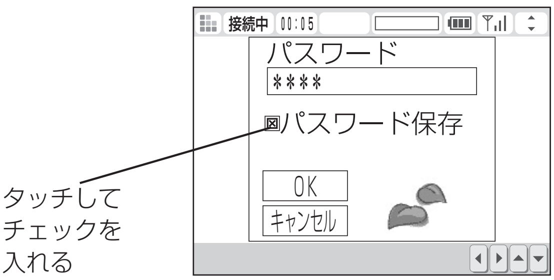


■ **パスワード保存について**

パスワードを入力するとき、タッチペンで「パスワード保存」を選ぶと、パスワードが保存されます。

パスワードを保存すると、2回目からはパスワード入力画面が表示されなくなり、入力の手間が省けます。

ただし、ほかの方もパスワードなしで操作できるようになるため、ご注意ください。



お知らせ

- 間違ったパスワードを入力した場合は再度パスワード入力画面が表示されます。この場合はパスワードをお確かめのうえもう一度パスワードの入力操作を行ってください。
- パスワードを4回連続して間違えて入力すると、メッセージが表示され、通信が自動的に切断されます。
- パスワードを保存した場合はご契約者本人以外の方が本商品からＬモードを利用したときにも保存したパスワードが自動的に送信されます。
  本来パスワード入力が必要なサービスもご契約者と同様に利用可能となりますのでご注意ください。
- パスワード入力の要／不要を設定できる項目は、「マイメニューの利用」「メールサービスの利用」「サイト（番組）の閲覧」です。
  詳しくは、「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。
- パスワードをお忘れになった場合については、「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

マイアドレスを変更する

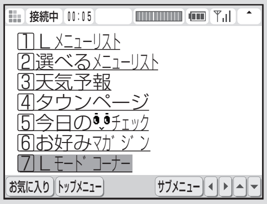
メールアドレスは、ご契約時には「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」になっています。これを、「マイアドレス（お客様が任意に選ぶアドレス）@pipopa.ne.jp」に変えることができます。
不要なメール（迷惑メールなど）を受け取らないようにするために、マイアドレスへの変更をおすすめします。
「Lモード使用説明書」もあわせてご覧ください。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

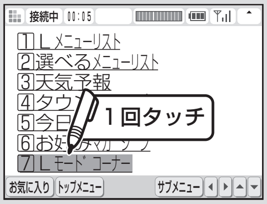
1 にタッチし、「メインメニュー」にタッチする



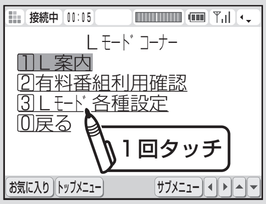
2 ▼ にタッチして、「Lモードコーナー」を選ぶ



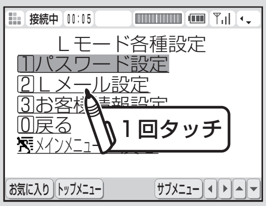
3 「Lモードコーナー」にタッチする



4 「Lモード各種設定」にタッチする



5 「Lメール設定」にタッチする



6 パスワード入力欄にタッチする

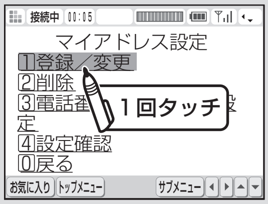


7 お客様の設定されたパスワード（設定していないときは数字の「0000」）を入力し、「OK」にタッチする
（☞6-11ページ）

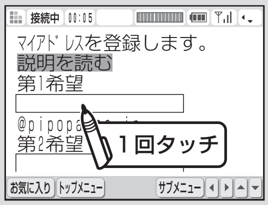


8 「マイアドレス設定」にタッチする

9 「登録／変更」にタッチする



10 「第1希望」の項目にタッチする



11 マイアドレス（@より前の部分）を入力する



12 入力終了 にタッチする



●第1希望の欄に入力したアドレスが表示されます。

次ページへ→

→つづき

13 第2希望、第3希望のマイアドレスも手順10～12と同じように入力する

14 すべて入力が終わったら、「決定」に1回タッチする

- 登録したマイアドレスが表示されます。
- ほかのお客様が使用しているマイアドレスは登録できません。
- 画面に「ご希望のメールアドレスはすでに使用されています。」と表示された場合は、メールアドレスの変更ができませんでしたので、再度別のマイアドレスの入力をお試しください。

■ **マイアドレスに使える文字**

使える文字　　　　　　　（2003年1月現在）

半角英数字	A~Z（大文字、小文字の区別なし）0~9
記号	－（ハイフン） _（アンダーバー） .（ピリオド） ※ ピリオドは最後の一文字には使用できません。
文字数	3文字以上16文字以内

マイアドレスの部分は、ご自分のお名前そのものや簡単な英数字の組み合わせ（例：ABCDe、1234A）など他の方に容易に推測されやすいものは、迷惑メールや間違いメールが届く原因ともなりますので、文字の組み合わせには十分気をつけて、お選びください。
選ばれたマイアドレスが、既に他のお客さまに使われている場合には、そのアドレスはご利用いただけません。

お知らせ

- マイアドレスの設定には通信料がかかります。
- マイアドレスへの変更を完了しますと、すぐに新しいメールアドレスをご利用になれます。
- マイアドレスは何回でも変更することができます。
- マイアドレスを変更してから一定期間内は、変更したお客さまのみが変更前のマイアドレスに戻すことができます。その期間内は変更前のマイアドレスが他のお客さまへ提供されることはありません。

変更前マイアドレスのご利用期間	マイアドレス変更後に、変更前のマイアドレスに戻すことができる期間
1日未満（24時間以内）	なし
1日以上10日未満	マイアドレスを変更後10日間
10日以上	マイアドレスを変更後90日間

- メールアドレスの変更後も、アドレスを変更する前に届いていた未読メールを読むことができます。
- お引越しなどによりお客さまのご利用電話番号が変更になった場合、電話番号アドレス（ご利用電話番号@pipopa.ne.jp）は変わりますが、マイアドレスは変更されません。

迷惑メールを防止する

着信お断りメールのアドレスを登録する

迷惑メールを防止するには次の２つの方法があります。

1 マイアドレスを設定する（☞6-12～6-13ページ）
2 迷惑メールのお断り機能を利用する

※ 2 については、送信元のメールアドレスがわかっている迷惑メールや勧誘メールなどの不要なメールをあらかじめ登録しておくと、登録したメールアドレスから送られてくるメールの受信を拒否することができます。

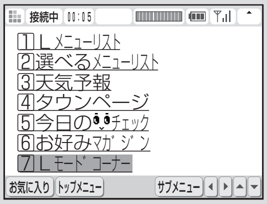
●登録できるメールアドレスは最大30件までです。
●詳しくは、「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

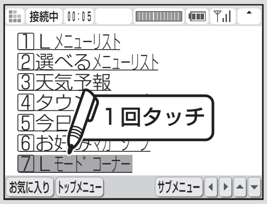
1 ［アイコン］にタッチし、「メインメニュー」にタッチする



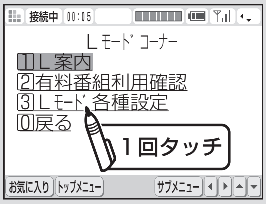
2 ［▼］にタッチして「Ｌモードコーナー」を選ぶ



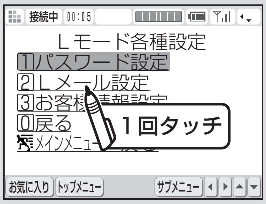
3 「Ｌモードコーナー」にタッチする



4 「Ｌモード各種設定」にタッチする



5 「Ｌメール設定」にタッチする



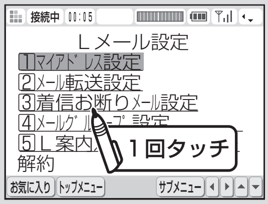
6 パスワード入力欄にタッチする



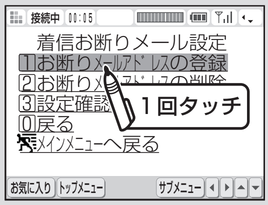
7 お客様の設定されたパスワード（設定していないときは数字の「0000」）を入力し、「OK」にタッチする
（☞6-11ページ）



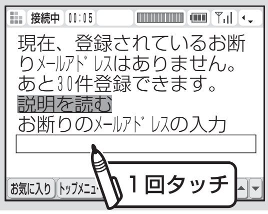
8 「着信お断りメール設定」にタッチする



9 「お断りメールアドレスの登録」にタッチする



10 「お断りメールアドレスの入力」のテキストボックスにタッチする



11 お断りメールアドレスを入力する



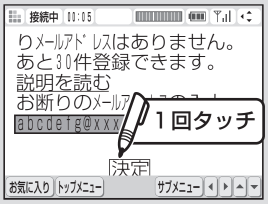
●登録可能なメールアドレスの文字は、半角で50文字以内です。

次ページへ→

→つづき

12 入力終了 **にタッチする**

13 「決定」にタッチする



●お断りメールアドレスの登録が完了し、登録内容が表示されます。

●「登録を続ける」をタッチすると、続けてお断りのメールアドレスを登録することができます。

■ **お断りメールアドレスを削除するには**

① 手順9で「お断りメールアドレスの削除」にタッチする
② お断りメールアドレスが表示されているテキストボックスにタッチする
③ 削除するお断りメールアドレスにタッチする
④ 「決定」にタッチする
⑤ 「はい」にタッチする
⑥ お断りメールアドレスの削除を続ける場合は、「削除を続ける」にタッチする
⑦ 上記の③から操作する

お知らせ

● 「Lモード」と通信中は、通信料金がかかります。
● 各選択画面の項目や表示順などは、変更されることがあります。
● 着信お断りメール送信者が、グループアドレスを変更している場合、電話番号および任意のグループアドレスの両方に対して迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否します。
グループについては「Lモード使用説明書」を参照してください。
● 着信お断り機能を設定すると、マイアドレスと利用電話番号アドレスの併用をしている場合、利用電話番号アドレスおよびマイアドレスの両方に対して迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否します。
● 迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否した場合、相手の方には送信されてきたメールに「こちらはLメールシステムです。受信者のご都合によりメールを送信できませんでした。」を付け加え返信します。
● マイアドレスと利用電話番号アドレスを併用している場合、送信するメールの送信元アドレスはマイアドレスとなります。（平成14年6月現在）

Ｌモードを便利に使う

ワイヤレスカラー液晶で設定します

メール自動受信

6-32～6-33ページをご覧ください。

機能ロック

はたらき	Ｌモードの機能に４ケタの解除キー（暗証番号）でロックをかけます。メール機能、ブラウザ機能それぞれに設定できます。ロックしたあとは、機能の利用時に解除キーの入力画面が表示され、正しい解除キーを入力すると機能を利用することができます。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする ➡ ▲または▼にタッチして「Ｌ設定」を選ぶ ➡ 「Ｌ設定」にもう一度タッチして決定する ➡ 「**機能ロック**」に２回タッチする ➡➡ ➡➡ ①情報検索 ②メール ロックする機能をタッチして選ぶ ➡ ○ 1.ロックする ◉2.ロックしない のいずれかにタッチする ➡ ＯＫ にタッチする ➡➡ ➡➡ 「ロックする」をタッチした ➡ 解除キーの入力欄にタッチする ➡ 解除キーを入力する（数字４ケタ） ➡ 入力終了 にタッチする ➡➡ 「ロックしない」をタッチした ➡ ＯＫ にタッチする ➡ おわる にタッチする ➡➡ ＯＫ にタッチする ➡ ＯＫ にタッチする ➡ おわる にタッチする ※ここで入力する解除キーは、ご契約後に設定するパスワード（☞6-9～6-11ページ）とは異なるものです。

機能利用停止

はたらき	Ｌモードの機能を利用できないようにします。メール機能、ブラウザ機能を個別に設定できます。再度利用できるようにするには、「両方とも利用」の設定に変更します。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする ➡ ▲または▼にタッチして「Ｌ設定」を選ぶ ➡ 「Ｌ設定」にもう一度タッチして決定する ➡ 「**機能利用停止**」に２回タッチする ➡➡ ➡➡ ◉①両方とも利用 ○②メールのみ停止 ○③情報閲覧のみ停止 ○④両方とも停止 のいずれかにタッチする ➡ ＯＫ にタッチする ➡ ＯＫ にタッチする ➡ おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **前に戻るときは**

戻る にタッチします。

無通信監視タイマー

はたらき	「Ｌモード」にアクセスしてから、回線が接続されたままで設定した時間がたつと、自動的に回線を切断します（操作中やプリント中でも切断します）。 01分〜10分または無監視に設定できます。無監視に設定した場合でも、「Ｌモード」とデータのやりとりが一定時間ない場合は回線が切断されますのでご注意ください。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする → ▲または▼にタッチして「**Ｌ設定**」を選ぶ → 「**Ｌ設定**」にもう一度タッチして決定する → 「**無通信監視タイマー**」に２回タッチする → 設定時間（01〜10分、または無監視）が表示されている欄にタッチする → ▲または▼にタッチして項目（01〜10分、無監視）を選ぶ → 選んだ項目にもう一度タッチして決定する → ＯＫ にタッチする → ＯＫ にタッチする → おわる にタッチする

端末機器自動設定

はたらき	Ｌモードをはじめてご利用になる場合、設定センターからアクセスポイント電話番号を登録します。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする → ▲または▼にタッチして「**Ｌ設定**」を選ぶ → 「**Ｌ設定**」にもう一度タッチして決定する → 「**端末機器自動設定**」に２回タッチする → 「**はい**」にタッチする → [設定中 / 中止] → 設定センタから正常にダウンロードが終了すると、「サービスの利用に必要な情報のダウンロードが終了しました」と表示されます。 ＯＫ にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **前に戻るときは**

戻る にタッチします。

センター番号確認

はたらき	端末機器自動設定で登録されたアクセスポイント電話番号をディスプレイに表示することができます。アクセスポイント電話番号が登録されていないときは、表示されません。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする ➡ ▲または▼にタッチして「L設定」を選ぶ ➡ 「L設定」にもう一度タッチして決定する ➡ 「**センター番号確認**」に2回タッチする ➡➡ （センター番号が表示されます。） ➡ OK にタッチする ➡ おわる にタッチする

証明書設定

はたらき	暗号化通信（☞6-54ページ）に必要な証明書を表示し、有効にする・無効にするの設定をします。無効にすると、その証明書が認証するサイトへ接続するときに、「接続先の認証に失敗しました。暗号化通信を終了します。」と表示されます。（接続できなくなります。）
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする ➡ ▲または▼にタッチして「L設定」を選ぶ ➡ 「L設定」にタッチして決定する ➡ ▲または▼にタッチして「**証明書設定**」を選ぶ ➡➡ 「**証明書設定**」にタッチして決定する ➡ 設定したい証明書にタッチする ➡ 有 効 無 効 のいずれかにタッチする ➡ おわる にタッチする

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ 前に戻るときは

戻 る にタッチします。

電話帳送信

はたらき	親機に登録した電話帳の内容を「Ｌモード」に送信して一時保管することができます。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする ➡ ▲または▼にタッチして「**Ｌ設定**」を選ぶ ➡ 「**Ｌ設定**」にもう一度タッチして決定する ➡ ▲または▼にタッチして「**電話帳送信**」を選ぶ ➡ ➡ 「**電話帳送信**」にもう一度タッチして決定する ➡ 「**はい**」にタッチする ➡ 送信先メールアドレスを入力して、電話帳データを送信します。操作方法は6-72ページをご覧ください。

お気に入り送信

はたらき	親機に登録したお気に入りのデータを「Ｌモード」に送信して一時保管することができます。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする ➡ ▲または▼にタッチして「**Ｌ設定**」を選ぶ ➡ 「**Ｌ設定**」にもう一度タッチして決定する ➡ ▲または▼にタッチして「**お気に入り送信**」を選ぶ ➡ ➡ 「**お気に入り送信**」にもう一度タッチして決定する ➡ 「**はい**」にタッチする ➡ 送信先メールアドレスを入力して、お気に入りデータを送信します。操作方法は6-72ページをご覧ください。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **前に戻るときは**

戻る にタッチします。

画像表示

はたらき	サイトやメッセージに含まれている画像を読み込まないようにできます。
手順	ワイヤレスカラー液晶で設定します。 登録/機能 にタッチする ➡ ▲または▼にタッチして「**L設定**」を選ぶ ➡ 「**L設定**」にもう一度タッチして決定する ➡ ▲または▼にタッチして「**画像表示**」を選ぶ ➡➡ 「**画像表示**」にもう一度タッチして決定する ➡ ◉表示する ○表示しない のいずれかにタッチする ➡ OK にタッチする ➡ OK にタッチする ➡➡ おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **前に戻るときは**

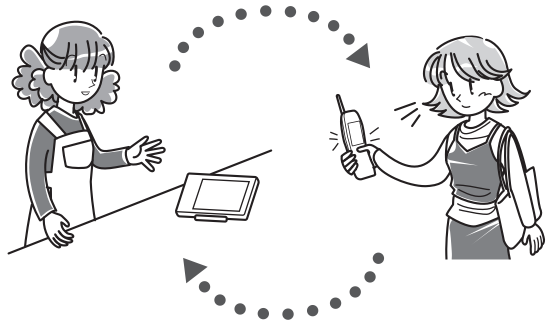
戻る にタッチします。

Ｌモード〈メール〉

ページ

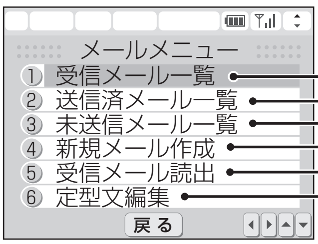
メールについて

メールはワイヤレスカラー液晶の画面上で、メールの作成、送信、受信などができるサービスです。
Ｌモードの利用者同士だけでなく、パソコンや携帯電話をお使いの方とも、メールのやりとりができます。



メールメニューについて

メールメニュー にタッチするとメールメニューが表示されます。



- 受信メールを表示します。
- 送信済メールを表示します。
- 未送信メールを表示します。
- 新しいメールを作成して送信・保存します。
- 「Ｌモード」に届いた新着メールを読み出し（ダウンロード）します。
- 登録されている定型文を編集します。

便利なメールの設定や機能について

下記の設定の詳細については、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

● **パスワード設定（変更のしかた ☞6-9～6-10ページ）**
メールやサイトによっては、パスワードが必要になります。

● **マイアドレス設定（設定のしかた ☞6-12～6-13ページ）**
メールのメールアドレスは、ご契約時は「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」となっています。

● **メール転送設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
メールの転送機能の設定と、その際の転送先アドレスを登録することができます。

● **着信お断りメール設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
受信したくない相手の方からのメールに対して、こちら側では受信を拒否していることを伝えるメールを自動的に返信することができます。あらかじめメールを受信したくない相手の方のメールアドレスを登録しておくことが必要です。これにより不要なメールの受信を避けることができます。

● **メールグループ設定（「Ｌモード使用説明書」をご覧ください）**
同じ内容のメールを複数の相手（グループ）に送るとき便利な機能です。メールグループは10件まで設定でき、各メールグループには49件までの送信先アドレスを登録できます。

お知らせ

● e-mailからの添付ファイルを受信することはできません。
● 「Ｌモード」と通信中は、通信料金がかかります。

メールの送受信可能文字数

メールで送信／受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字、記号）の場合	半角文字（英字、数字、カタカナ、記号）の場合
宛先 (メールアドレス)	25文字	50文字
題　名	30文字	60文字
本　文	2000文字	4000文字

- 半角カタカナのメールを送信／受信した場合、正しく表示されない場合がありますので、「Ｌモード」利用者どうしでのメールのやりとり以外には半角カタカナを使用しないでください。
- 本文が全角2000文字（半角4000文字）を超えるメールを受信した場合、全角2000文字目（または半角4000文字目）からは自動的に削除されます。全角2000文字を超えているときは「＊」が表示されます。
- 宛先（メールアドレス）には、絵文字は使用できません。
- 文字（スペース含む）には全角と半角がありますので、入力するときは間違えないように注意してください。
- 本文の改行マークは全角１文字として扱われます。

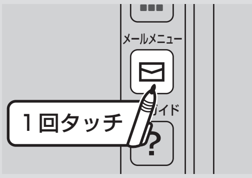
メールを新しく作って送信する

メールを作る

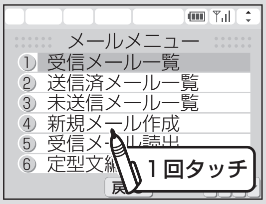
新規にメールを作成するには、「宛先（メールアドレス）」「題名」「本文」を入力します。作成したメールは、「Lモード」利用者やインターネットを経由して、e-mailをお使いの方へ送信します。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 メールメニュー **にタッチする**



2 「新規メール作成」にタッチする



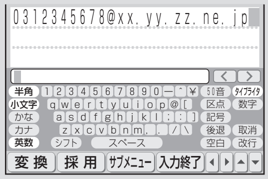
● 「これ以上、メールが保存できません。」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（☞6-47ページ）送信済メールと未送信メールは、合わせて50件まで保存できます。

3 宛先のテキストボックスにタッチする



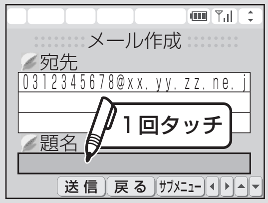
●宛先は、同時に3件まで入力できます。

4 宛先を入力する（宛先は、3件まで入力できます）
（☞1-56～1-69ページ）

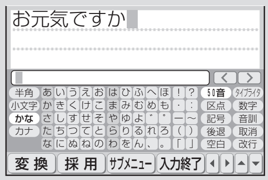


●半角で50文字まで入力できます。改行はできません。
スペースは使用しないでください。
●電話帳から宛先を検索するときは（☞6-25ページ）

5 入力終了 **にタッチし、題名のテキストボックスにタッチする**



6 題名を入力する
（☞1-56～1-69ページ）

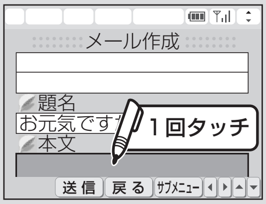


●全角30文字分（半角60文字）まで入力できます。改行はできません。

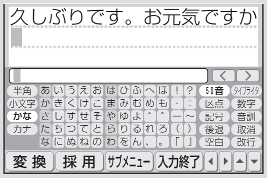
次ページへ→

→つづき

7 入力終了 **にタッチし、本文のテキストボックスにタッチする**

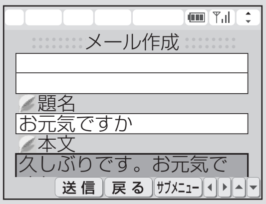


8 本文を入力する
（☞1-56～1-70ページ）



●全角2000文字（半角4000文字）まで入力できます。定型文（☞6-41ページ）を挿入することができます。

9 入力終了 **にタッチする**



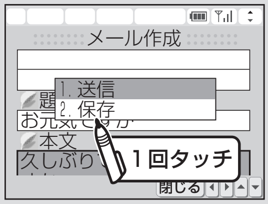
■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。（待機画面に戻ります。）

■ 電話帳１件表示からメールを作るときは

①「相手の方を選んで電話をかける」（☞2-19ページ）の手順１～４までを操作する
または
「相手の方の名前で検索して電話をかける」（☞2-20ページ）の手順１～６までを操作する
② 電話帳１件表示画面のメールアドレスの部分にタッチして選ぶ
③ 選んだメールアドレスにもう一度タッチして決定する
選んだメールアドレスが入力済みのメール作成画面が表示されます。
④ 題名のテキストボックスにタッチし、「メールを作る」（☞6-24～6-25ページ）の手順６から操作を行う

10 サブメニュー **にタッチし、「保存」にタッチする**



●作成したメールをそのまま送信するときは「送信」にタッチします。「Ｌモード」に接続して、作成したメールを送信します。

11 「はい」にタッチする

●作成したメールが「未送信メール」として本機に保存されます。

●未送信メール一覧が表示されます。

■ 電話帳に登録しているメールアドレスを検索して宛先に設定するには

①「メールを作る」（☞6-24～6-25ページ）の手順１～３までを操作する
② サブメニュー にタッチする
③「電話帳呼出」にタッチする
④ 送信先をタッチして選ぶ
⑤ 選んだ相手先にもう一度タッチして決定する
メール作成画面に変わり、選んだ宛先が入力されます。

※ 電話帳の登録は100件までです。
登録のしかたは2-13～2-15ページをご覧ください。

お知らせ

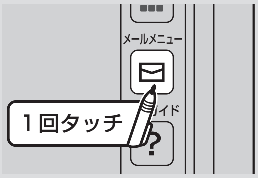
● 宛先、題名、本文それぞれの入力可能桁数を超えた場合は、新たに文字を入力できなくなります。
●「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 回線が接続されていない状態でメール作成中にかかってきた電話を受けることができます。通話を終了すると手順５・７・９の画面に戻ります。
● 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。
● メール作成時は、絵文字がご利用になれます。（ただし、相手側が「Ｌモード」利用者以外の場合は、うまく表示できない場合があります。）

メールを送信する

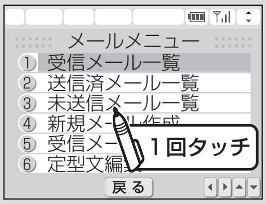
操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 **「メールを作る」**（☞6-24～6-25ページ）**の操作で送信メールを作成し、保存する**

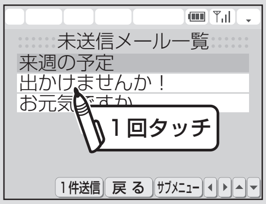
2 メールメニュー **[✉] にタッチする**



3 **「未送信メール一覧」にタッチする**



4 **送信したいメールにタッチする**



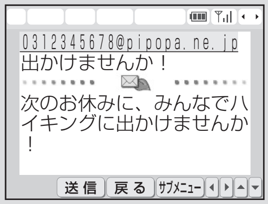
●内容を確認せずに送信するときは、[▲] または [▼] にタッチしてメールを選び、[1件送信] にタッチして送信することができます。

■ **途中でやめるときは**

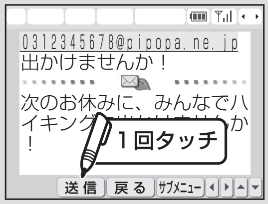
[おわる] にタッチします。（待機画面に戻ります。）

■ **未送信メールを一括送信するときは（☞6-46ページ）**

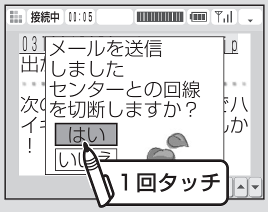
5 **メールの内容が表示される**



6 **[送信] にタッチする**



7 **「はい」にタッチする**



●回線が切断されメールメニュー画面に戻ります。

●送信したメールは「送信済メール」として保存されます。

■ **送信済メールを保護/解除するときは**

① [▦] にタッチする
② 「メール」にタッチする
③ 「送信済メール一覧」にタッチする
④ [▲] [▼] で保護または解除するメールを選ぶ
⑤ [サブメニュー] にタッチする
⑥ [保護/解除] にタッチする
⑦ 「OK」にタッチする

アドバイス！

メールの設定が正しいかどうかを確認するためにまず、ご自分宛にメールを作成して送信してみることをおすすめします。受信のしかたは6-34ページをご覧ください。

お知らせ

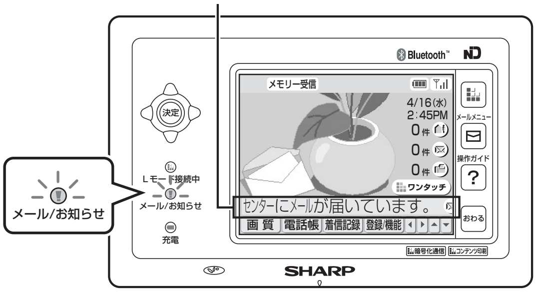
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- メール送信中など回線が接続されているときは、電話やファクスを使用できません。
- 回線の状態によっては、「Ｌモード」と接続できない場合があります。「Ｌモード」と接続できなかった場合は、「接続に失敗しました」と表示されます。
- Ｌモード以外のメールサービスをご利用のお客さまとメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
- Ｌモードの通信中に、回線の通信状況等によりメールの送受信ができない場合も、通信料がかかります。

メールを受信する／表示する

メールが届いたときは

● メッセージ到着お知らせサービス（メッセージ有り通知）を利用すると、「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたときに、ディスプレイに「センターにメールが届いています。…」と表示され、お知らせランプが赤色に点滅します。

※この表示は、「Ｌモード」に新着メールが届いていることをお知らせするものです。



※新着メールが届くと、ワイヤレスカラー液晶がメロディーでお知らせします。メール到着通知音を「あり」に設定してください。（はじめは、「あり」に設定されています。変更するときは☞6-28ページ）

※「Ｌモード」での新着メール保管件数は最大約200件、保管期間は14日間です。14日間を超えた新着メールは自動的に削除されます。

● 「センターにメールが届いています。…」と表示されただけでは、まだ本機にメールは受信されていません。メール自動受信の設定（☞6-32〜6-33ページ）が、「センターにメール到着時」になっているときは、続いて自動的にメールを受信します。
メール自動受信の設定をしない設定のときは、「メールを手動受信する」（☞6-34ページ）の操作でメールを受信してください。（はじめは、しない設定になっています。）
受信したメールはワイヤレスカラー液晶に保存され、内容を見ることができます。

ワイヤレスカラー液晶に保存された受信メールの件数を表示します。



※メールを本機に受信すると、ワイヤレスカラー液晶がメロディーでお知らせします。メール受信完了音を「あり」に設定してください。（はじめは、「あり」に設定されています。変更するときは☞6-35ページ）

お知らせ

● メッセージ到着お知らせサービスとは、お客様にメールが到着したことを画面やメール/お知らせランプでお知らせするサービスです。
● メール到着通知音、メール受信完了音の音量は、ワイヤレスカラー液晶の呼出音量と連動しています。「ワイヤレスカラー液晶の呼出音量を変える」（☞1-46ページ）の操作で変更できます。また、「ワイヤレスカラー液晶の呼出音を鳴らさない」（☞1-46ページ）の操作で最小の音量になります。
● メール到着通知音を変更するときは、「メール到着通知音の種類を変更する」（☞6-29ページ）の操作で変更します。
● メール受信完了音を変更するときは、「メール受信完了音の種類を変更する」（☞6-35ページ）の操作で変更します。
● 受信メールの本文は全角で2000文字（半角4000文字）まで受信できます。
● 受信メール一覧やメールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは ▲ または ▼ にタッチし、画面をスクロールさせて表示してください。
● 保存できる受信メールは100件までです。100件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールから自動的に削除されます。
● メールを受信したとき、未読メールと保護メールの件数が合わせて100件を超えると「これ以上、メールが保存できません。」と表示されます。そのときは、未読メールの内容を確認するか、保護メールを解除して不要なメールを消去してください。
● 「Ｌモード」に受信メールがなかったときは、「受信メールがありません。」と表示されます。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

Ｌモード利用時のメッセージ到着お知らせサービスについて

- Ｌモードにはメッセージ到着お知らせサービスが含まれています。
- メッセージ到着お知らせサービスは一部地域ではご利用いただけません。この場合は使用料（20円）は不要です。
- メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「使用する」になっていることを確認してください。（☞7-3ページ）
- メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイを契約されていなくても利用することができます。
- 通信中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
- メールのメッセージ有り通知は、メディア種別は表示されません。
- 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
- 「センターにメールが届いています。…」を表示中に停電し、その後復旧すると「センターにメールが届いています。…」の表示はしません。
- 「センターにメールが届いています。…」の表示は、メッセージセンターからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 「センターにメールが届いています。…」が表示されていないのにメール/お知らせランプが点灯しているときは、8-27～8-28ページをご覧ください。
- 端末機器自動設定（☞6-17ページ）が正しく設定されていない場合、メッセージ到着お知らせサービスのメッセージが正常に表示されないことがあります。

メール到着通知音の設定を変更する

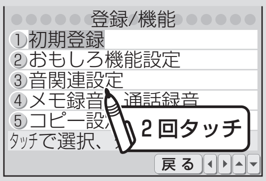
「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたことをお知らせする、メール到着通知音のあり・なしを設定することができます。はじめは「あり」に設定されています。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

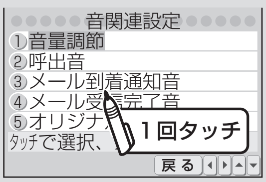
1 登録/機能 **にタッチする**



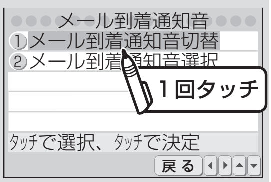
2 「音関連設定」に2回タッチする



3 「メール到着通知音」に2回タッチする

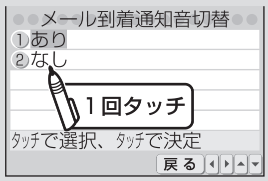


4 「メール到着通知音切替」にタッチする



5 いずれかの項目をタッチして選ぶ

例：「なし」に設定するとき



6 選んだ項目にもう一度タッチして決定する

7 おわる **にタッチする**

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

メールを受信する／表示する

6 メール Ｌモード ブラウザ

メール到着通知音の種類を変更する

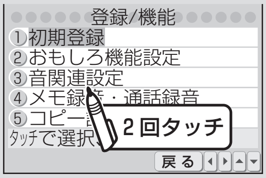
メール到着通知音の種類を変更することができます。はじめは「固定音」になっています。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

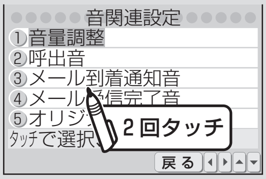
1 登録/機能 **にタッチする**



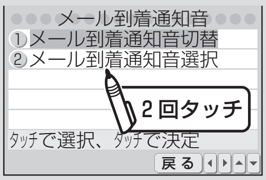
2 「音関連設定」に2回タッチする



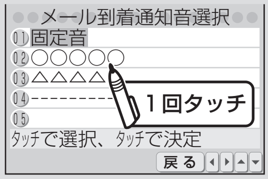
3 「メール到着通知音」に2回タッチする



4 「メール到着通知音選択」に2回タッチする



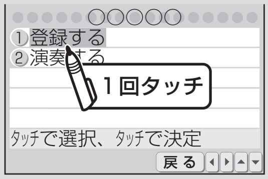
5 設定したい通知音をタッチして選ぶ



- 02～11の項目は、Lモードから着信メロディーをダウンロード（☞6-57ページ）すると表示されます。
- 画面に表示されていない通知音を選ぶときは、▲または▼にタッチして選びます。

6 選んだ通知音にもう一度タッチして決定する

7 「登録する」にタッチする



- 通知音を試聴したいときは、「演奏する」に2回タッチします。聞き終わったら、中 止にタッチします。

8 おわる **にタッチする**

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

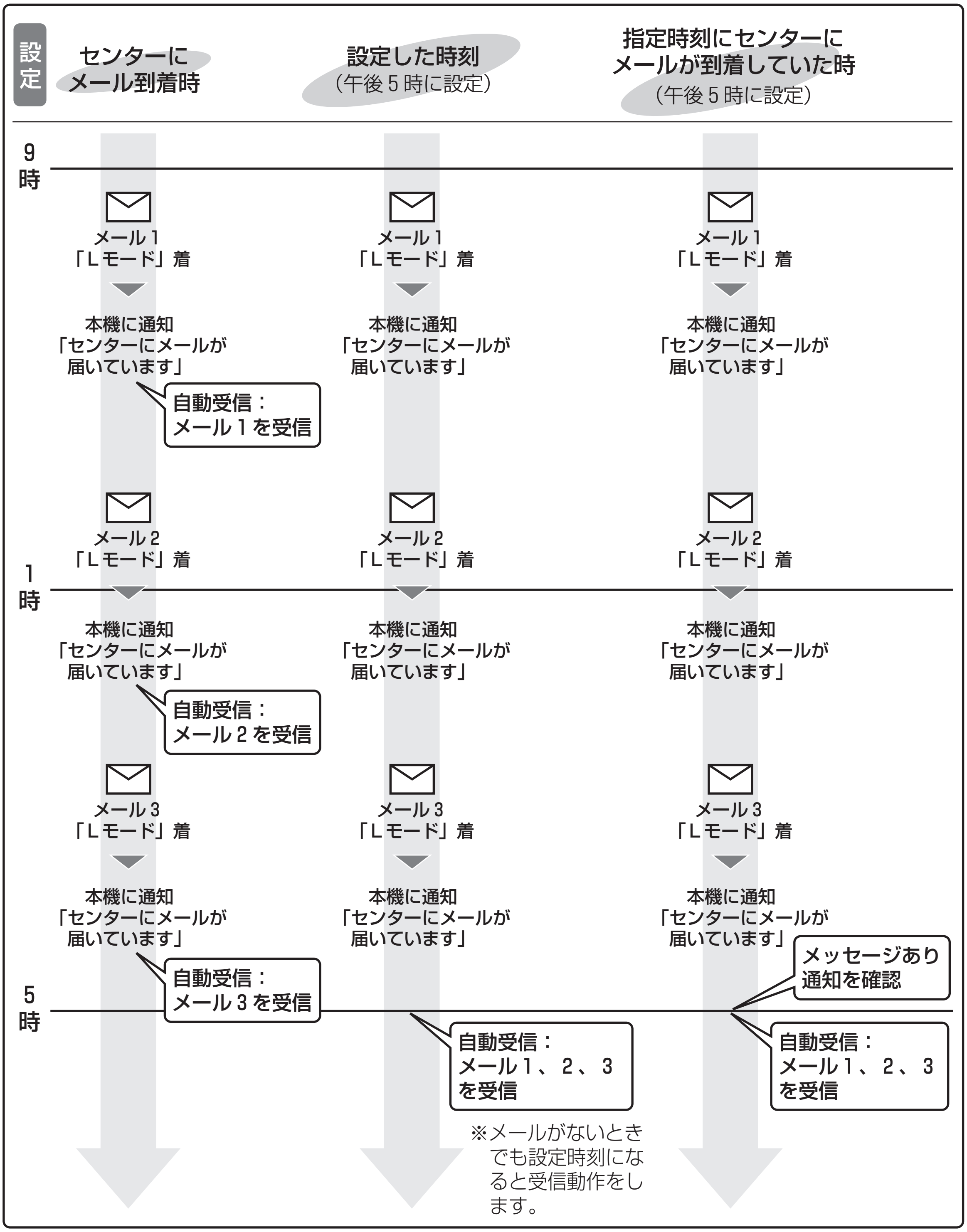
■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

メール自動受信とは

「Ｌモード」からメッセージ有り通知を受けたり、あらかじめ設定した時刻になるごとに、自動的にメールを受信できます。自動受信をするたびに通信料金がかかりますので、ご注意ください。

メール自動受信の例



■ メール自動受信を設定するには（☞6-32〜6-33ページ）

■ アップロードした電話帳やお気に入りのデータ（☞6-72ページ）があるときは

これらのデータは、メール自動受信ではダウンロードできません（受信時に破棄されます）。
電話帳やお気に入りのデータをアップロードしたときは、必ず手動受信（☞6-34ページ）でダウンロードしてください。

■ メール機能のロック時（☞6-16ページ）に自動受信を設定するときは

ロック時に設定した解除キー（☞6-16ページ）を入力し、ロックを解除してから自動受信を設定します。

お知らせ

- メール自動受信を正常に動作させるには、ワイヤレスカラー液晶の日付・時刻設定（☞1-52ページ）を正しく行ってください。
- メール自動受信のご利用時は、ワイヤレスカラー液晶を充電器または親機に取り付けておくようにしてください。ワイヤレスカラー液晶が電池切れになると、自動受信はできません。
  また、ワイヤレスカラー液晶が親機からの電波圏外にあるときも、自動受信はできません。
- ワイヤレスカラー液晶の電池パックを交換したり、電池切れなどでいったん電源が切れると、メール自動受信の設定がお買いあげ時の設定（「しない」）に戻ります。
- すでに受信メールが100件（最大保存数）あるときは、自動受信はできません。不要な受信メールを消去してください。（☞6-47ページ）
- 自動受信機能で「Ｌモード」に接続し、応答がないときは、無通信監視タイマー（☞6-17ページ）の設定を「無監視」にしていても、約３分程度で回線を切断します。
- メールを利用するときにパスワード入力が必要な設定にしていると、メール自動受信ができない場合があります。
- パスワード入力の要／不要の設定については、「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。
- 親機の電源が入っていないときは、メール自動受信は働きません。また、停電があった場合も、正常に働かない場合があります。

メール自動受信を設定する（センターにメール到着時）

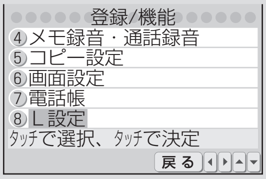
メール自動受信を設定すると、「Ｌモード」からメッセージ有り通知を受けたり、設定した時刻になるごとに、自動でメール受信の操作をします。
はじめは、自動受信をしない設定になっています。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 登録/機能 に タッチする

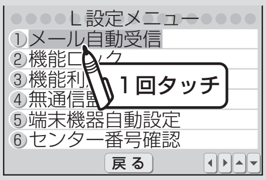


2 ▲または▼に タッチして 「Ｌ設定」を選ぶ

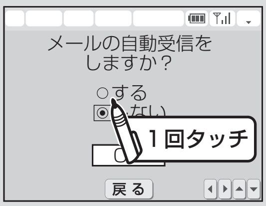


3 「Ｌ設定」に タッチして決定 する

4 「メール自動 受信」にタッチ する

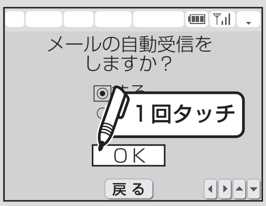


5 「する」に タッチして選ぶ



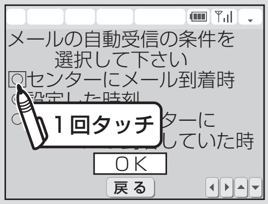
●メール自動受信をしないときは、「しない」にタッチしたあと、「OK」に２回タッチします。

6 「OK」にタッチ する



●選んだ動作に設定されます。

7 「センターにメール到着時」にタッチする



8 「OK」にタッチ する

9 もう一度「OK」 にタッチする

10 おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **前に戻るときは**

戻る にタッチします。

お知らせ

- 自動受信で「Ｌモード」に接続されると、新着メールがないなどの理由でメールを受信できなかったときでも、通信料金がかかります。
- 自動受信を設定していても、手動受信（☞6-34ページ）で必要なときに受信操作をすることができます。
- メッセージ到着お知らせサービスが利用できない地域でお使いの場合は、「センターにメール到着時」を設定しないでください。
- メールを利用するときにパスワード入力が必要な設定にしていると、メール自動受信ができない場合があります。

メール自動受信を設定する（設定時刻ごと）

設定した時刻になると、自動的にメール受信をするようにできます。
また、設定時刻にメッセージあり通知を確認し、通知を受けているときのみ受信する設定を使うこともできます。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

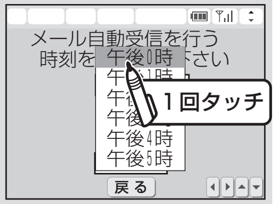
1 **「メール自動受信を設定する」（センターにメール到着時）の手順 6 までを操作する**

2 **「設定した時刻」または「設定時刻にセンターにメールが到着していた時」にタッチする**

3 **「OK」にタッチする**

4 **時刻の表示されている項目にタッチする**

5 **メール受信をさせる時刻にタッチする**



●表示されていない時刻を選ぶときは、▲または▼にタッチして表示させます。

6 **「OK」にタッチする**

7 **もう一度「OK」にタッチする**

■ **途中でやめるときは**
おわる にタッチします。

■ **1つ前に戻るときは**
戻る にタッチします。

お知らせ

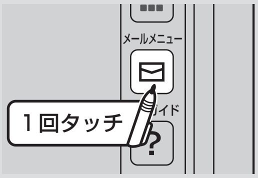
● 自動受信で「Lモード」に接続されると、新着メールがないなどの理由でメールを受信できなかったときでも、通信料金がかかります。
● 自動受信を設定していても、手動受信（☞6-34ページ）で必要なときに受信操作をすることができます。
● メールを利用するときにパスワード入力が必要な設定にしていると、メール自動受信ができない場合があります。

メールを手動受信する

メール自動受信をする設定にしていても、必要なときにメールを手動で受信することができます。メール自動受信の設定を変更するときは、6-32～6-33ページをご覧ください。

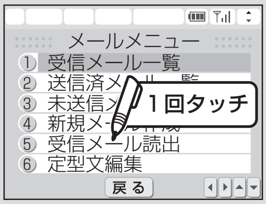
操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 メールメニュー にタッチする



- センターにメールが届いているときは、「センターにメールが届いています。…」と表示され、 が点灯しています。このときは、 にタッチして受信メール読出を行うことができます。

2 「受信メール読出」にタッチする



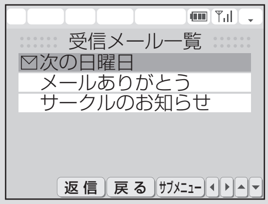
- 「これ以上、メールが保存できません」と表示したときは、受信メール（未読メールと保護メール）が一杯で新しいメールを保存できません。決定ボタンを押すと受信メールの一覧が表示されますので、不要なメールを削除してください。（☞6-47ページ）
- 「Lモード」に接続し、メールを受信します。
- 「接続に失敗しました」と表示したときは、「OK」にタッチすると受信メールの一覧が表示されます。ただし、新しく受信されたメールは表示されません。

3 受信完了のメッセージが表示されたら、「はい」にタッチする



- メール受信が完了すると、メロディーを鳴らしてお知らせします。

4 受信メールの一覧が表示される



- ディスプレイに受信メール一覧が表示され、最新の受信メールが選択されています。
- 受信メールの識別マークについて
  次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。
  ……………まだ読んでいないメール
  （空白）………すでに読んだメール
  …保護（☞6-37ページ）されているメール

5 選択されているメールにタッチする

- メールの内容が表示されます。

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ 「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ メールを利用するときに、パスワード入力が必要な設定にしているときは（「Lモード使用説明書」をご覧ください）

手順２のあとパスワード入力画面で、Lモードご契約時に設定したパスワード（☞6-9～6-10ページ）を入力してください。

■ 表示している受信メールの内容を印刷するには

① ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする
② 「印刷」にタッチする
③ 「はい」にタッチする
④ 印刷が終わったら おわる にタッチする

■ メール受信完了音の種類を変更するには（☞6-35ページ）

お知らせ

- 「Lモード」以外のメールサービスをご利用のお客さまとメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
- 「Lモード」の通信中に、回線の通信状況等により、メールの受信ができない場合も、通信料金がかかります。

メール受信完了音の設定を変更する

本機にメールが届いたことをお知らせする、メール受信完了音のあり・なしを設定することができます。はじめは「あり」に設定されています。

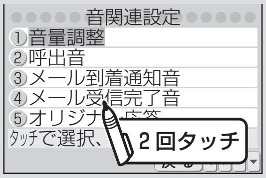
操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 登録/機能 にタッチする

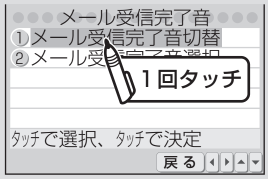


2 「音関連設定」に2回タッチする

3 「メール受信完了音」に2回タッチする

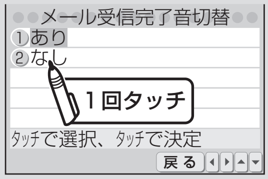


4 「メール受信完了音切替」にタッチする



5 いずれかの項目をタッチして選ぶ

●メール受信完了音を鳴らさないときは「なし」を選びます。



6 選んだ項目にもう一度タッチして決定する

7 おわる にタッチする

メール受信完了音の種類を変更する

メール受信完了音の種類を変更することができます。はじめは「固定音」になっています。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

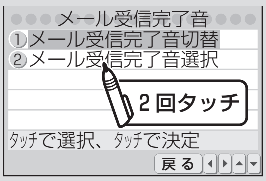
1 登録/機能 にタッチする



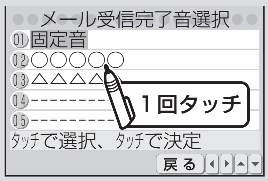
2 「音関連設定」に2回タッチする

3 「メール受信完了音」に2回タッチする

4 「メール受信完了音選択」に2回タッチする



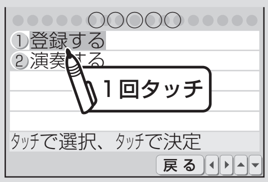
5 設定したいメール受信完了音をタッチして選ぶ



●画面に表示されていないメール受信完了音を選ぶときは、▲ または ▼ にタッチして選びます。

6 選んだメール受信完了音にもう一度タッチして決定する

7 「登録する」にタッチする



●メール受信完了音を試聴したいときは、「演奏する」に2回タッチします。聞き終わったら、 中止 にタッチします。

8 おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **前に戻るときは**

戻る にタッチします。

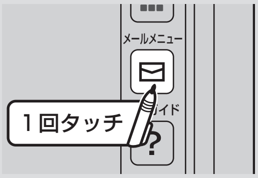
メールを表示する

保存しているメール（受信メール（☞6-27ページ）・送信済メール・未送信メール）の内容を表示します。

下記の操作は、受信メールを表示するときの例です。

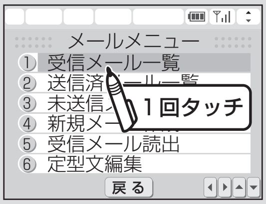
操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 メールメニュー にタッチする



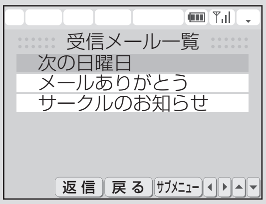
● が消灯しているときや点滅しているときは、 にタッチするだけで受信メール一覧を表示することができます。

2 「受信メール一覧」にタッチする



●「送信済メール一覧」「未送信メール一覧」を表示するときは、手順1のあとそれぞれにタッチします。

3 保存されているメールの一覧が表示される



●受信メールの識別マークについて

次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。

✉ ……………まだ読んでいないメール

（空白）………すでに読んだメール

⚿ …保護（☞6-37ページ）されているメール

■ **途中でやめるときは**

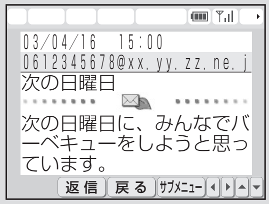
おわる にタッチします。

■ **表示しているメールの内容を印刷するには**

① ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする
② 「印刷」にタッチする
③ 「はい」にタッチする
④ おわる にタッチする

4 表示したいメールにタッチする

5 メールの内容が表示される



●送信済メール・未送信メールを編集するときは（☞6-43～6-44ページ）

●未送信メールを送信するときは（☞6-45～6-46ページ）

●メールを削除するときは（☞6-47ページ）

■ **未読メールがあるときは**

待機画面に「未読メールがあります。 をタッチしてください。」と表示され が点滅しています。このときは にタッチするだけで「受信メール一覧」を表示することができます。

お知らせ

● メールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは、▲または▼にタッチして、画面をスクロールさせて表示してください。
● 未送信メール・送信済メール・受信メールの内容を表示しているときは、▶にタッチすると1つ前の、◀にタッチすると次のメールを表示します。
● 題名のないメールを受信すると、受信メール一覧に「無題」と表示されます。
● 題名を入力せずにメールを保存または送信すると、未送信メール一覧・送信済メール一覧に「無題」と表示されます。
● 未送信メール・送信済メールは合わせて50件まで保存できます。
● ワイヤレスカラー液晶で表示できる文字数は全角で2000文字（半角で4000文字）までです。この文字数を超えているときは「＊」が表示されます。

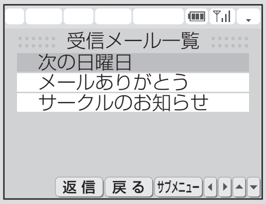
受信メールを保護する

残しておきたい受信メールを保護しておくと、誤って削除することを避けられます。保護を解除することもできます。

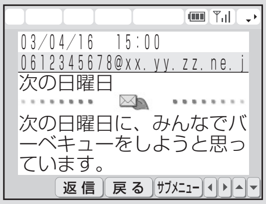
操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 受信メール一覧を表示する
（☞6-36ページ手順1〜3）

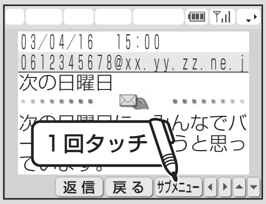
2 保護したい受信メールにタッチして選ぶ



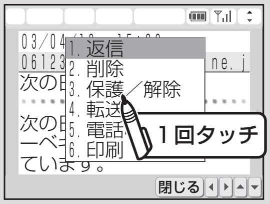
3 メールの内容が表示される



4 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする

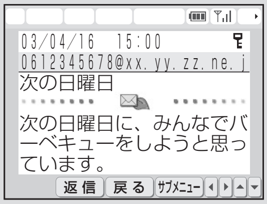


5 「保護/解除」にタッチする



6 「OK」にタッチする

7 選択したメールに保護機能が設定される



- 戻る にタッチすると受信メール一覧が表示され、メール名の先頭に、🔑 が表示されます。

  ✉……………まだ読んでいないメール
  （空白）………すでに読んだメール
  🔑…………………保護されているメール

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。（待機画面に戻ります。）

■ メールの保護を解除するときは

再度手順1〜6の操作を行うと保護が解除されます。

■ 保護されているメールを削除するときは

① 受信メール一覧を表示する（☞6-36ページ手順1〜3）
② 削除したい保護メールにタッチする
③ ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする
④ 「削除」にタッチする
⑤ 「はい」にタッチする
⑥ 「はい」にタッチする
⑦ 「OK」にタッチする

お知らせ

- 保護機能が設定できるのは、すでに読んだメールと、未読メールをあわせて50件までです。
- 100件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールから自動的に削除されます。

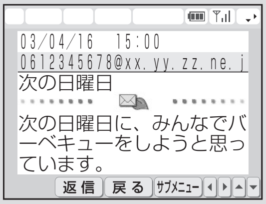
メールに返事を出す／転送する

メールに返事を出す（返信）

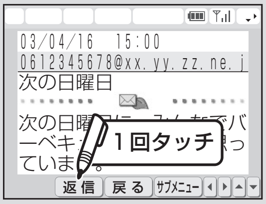
メールをもらった相手に返事を出すことができます。（返信メール）
相手の方のメールアドレスと題名は、受信したメールを利用して自動的に設定されますので、本文を入力するだけで送信できます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 受信メールを表示する
（☞6-36ページ）

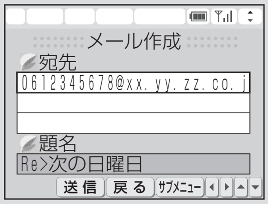


2 返信 にタッチする



●「これ以上、メールが保存できません。」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（☞6-47ページ）
送信済メールと未送信メールは合わせて50件まで保存できます。

3 返信メール入力画面が表示される



4 本文を入力して、送信する
（☞6-24～6-26ページ）

●返信メールの題名には自動的に「Re>」が付加されます。

■ **途中でやめるときは**
おわる にタッチします。

■ **「Lモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

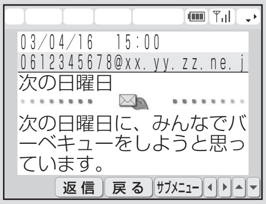
● 返信メールの宛先や題名を編集することができます。
● 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。
● 絵文字は本文と題名に利用可能です。

メールを他の宛先に転送する

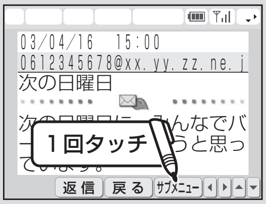
受信したメールの内容を他の人に知らせたいときに、受信したメールを転送することができます。
転送するとき、受信メールの題名と本文は自動的に入力されていますので、転送したい相手のメールアドレスを入力するだけで送信できます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

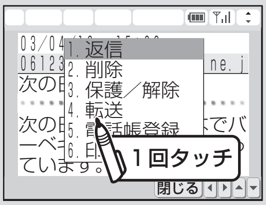
1 受信メールを表示する
（☞6-36ページ）



2 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする

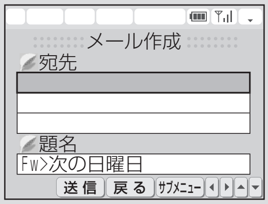


3 「転送」にタッチする



●「これ以上、メールが保存できません。」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。（☞6-47ページ）
送信済メールと未送信メールは、合わせて50件まで保存できます。

4 メール入力画面が表示される



5 宛先を入力して、送信する
（☞6-24～6-26ページ）

●転送するメールの題名には自動的に「Fw>」が付加されます。

■ **途中でやめるときは**
おわる にタッチします。

■ **「Lモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

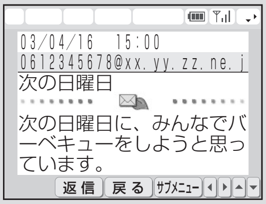
お知らせ
● 転送するメールの題名や本文を編集することができます。
● 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
● 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
● メールアドレスに絵文字は使用できません。

相手のメールアドレスを電話帳に登録する

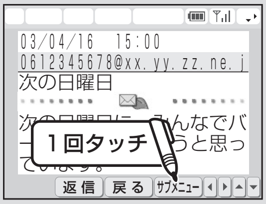
受信メールを利用して、発信者のメールアドレスを電話帳に登録します。その場合、新たに電話帳が追加されます。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

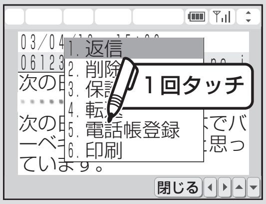
1 アドレスを登録したい受信メールを表示する
（☞6-36ページ）



2 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする



3 「電話帳登録」にタッチする



●「これ以上、登録できません。」と表示されたときは、すでに電話帳に100件登録されていて、新しく登録することができません。決定ボタンを押すと受信メール内容表示に戻ります。不要な電話帳を消去（☞2-18ページ）してからもう一度操作をやり直してください。

4 電話帳登録画面が表示される



5 電話帳に名前、読み、電話番号を登録する
（☞2-13～2-14ページの手順５～11）

6 入力終了 にタッチする

●登録が終わると、受信メールを表示します。

7 登録が終わったら おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

お知らせ

● 電話帳の登録は最大100件です。あらかじめ、３件の番号が登録されています。

定型文を入れる

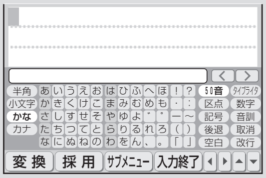
定型文を入れる

メールの「宛先」「題名」「本文」を入力や編集するときに、定型文を挿入することができます。定型文は、あらかじめ10件登録されていて、編集することもできます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

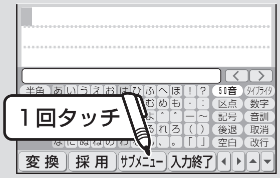
1 文字入力画面を表示する

例：本文を入力するとき

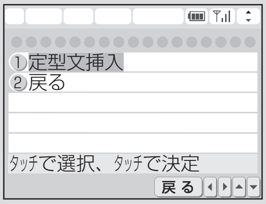


●メールの作成や編集画面などで、入力したい項目（宛先など）のテキストボックスにタッチすると文字入力画面が表示されます。（☞6-24～6-25など）

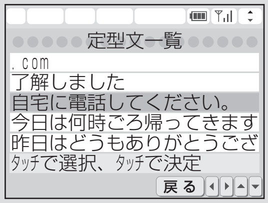
2 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする



3 「定型文挿入」にタッチする

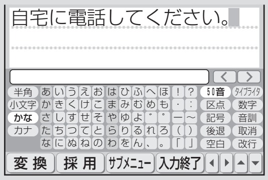


4 挿入したい定型文をタッチして選ぶ



あらかじめ登録されている定型文は
「.co.jp」、「.ne.jp」、「.or.jp」、
「www.」、「.com」、
「了解しました。」、
「自宅に電話してください。」、
「今日は何時ごろ帰ってきますか？」、
「昨日はどうもありがとうございました。」、
「ごめんなさい。待ち合わせに30分ほど遅れます。」

5 選択した定型文が表示される



■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。（待機画面に戻ります。）

お知らせ

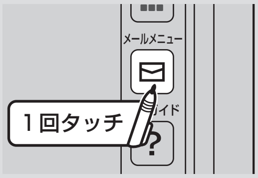
● 挿入した後の定型文を編集することができます。
● 定型文を挿入したときに、入力可能な文字数を超えた場合、入力可能な文字数だけ挿入されます。

定型文を編集する

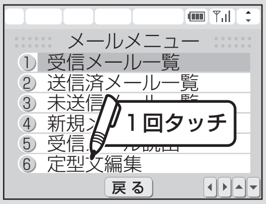
登録されている定型文を編集し、登録（上書き）することができます。

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

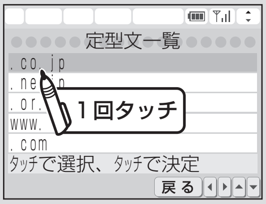
1 メールメニュー にタッチする



2 「定型文編集」にタッチする



3 編集したい定型文をタッチして選ぶ



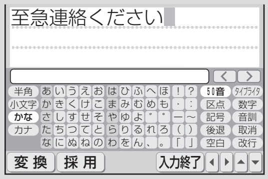
●▼または▲にタッチして選ぶこともできます。

4 もう一度タッチして決定する

5 文字入力モードに切り替わる

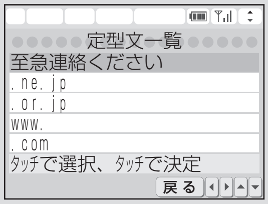


6 定型文の文字を編集する
(☞1-56～1-69ページ)



●編集は、1件あたり全角25文字（半角50文字）の範囲で行えます。

7 入力終了 にタッチする



●編集された定型文が登録されます。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。（待機画面に戻ります。）

定型文を入れる
6
メール
Lモード
ブラウザ

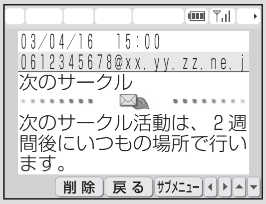
メールを編集する

送信済メールを編集する

送信済メールの内容を編集して未送信メールとして保存することができます。少しずつ内容の違うメールを、何度も送るときなどに便利です。編集前のメールもそのまま残ります。

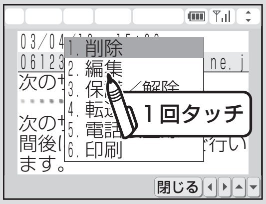
操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 編集したい送信済メールの内容を表示する
（☞6-36ページ）

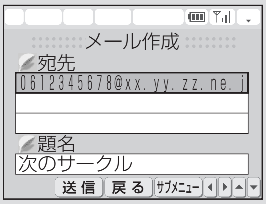


2 サブメニュー にタッチする

3 「編集」にタッチする



4 メールの入力画面が表示される



■ **途中でやめるときは**

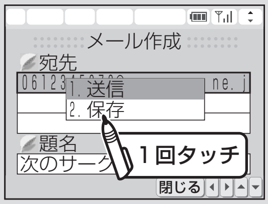
おわる にタッチします。

5 内容を修正する

①修正する項目をタッチして選ぶ
②文字を修正する
（☞1-56～1-69ページ）
③ 入力終了 にタッチする

6 サブメニュー にタッチする

7 「保存」にタッチする



●送信するときは、「送信」にタッチします。

8 「はい」にタッチする

●「はい」にタッチすると未送信メール一覧画面が表示されます。
●編集したメールが、新しい未送信メールとして保存されます。
●編集前のメールもそのまま残ります。

お知らせ

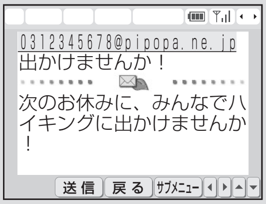
● 手順３で「これ以上、メールが保存できません。」と表示されたときは、すでに未送信メールと送信済メールが合わせて50件保存され、新しいメールが保存できない状態にあります。不要な未送信メールまたは送信済メールを削除して（☞6-47ページ）からもう一度操作をやり直してください。
● 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

未送信メールを編集する

未送信メールの内容を編集して上書き保存することができます。

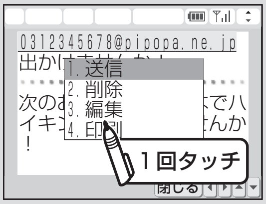
操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 編集したい未送信メールの内容を表示する
（☞6-36ページ）

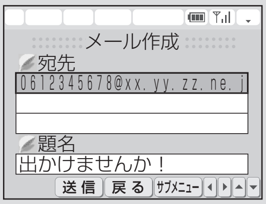


2 サブメニュー に タッチする

3 「編集」に タッチする



4 メールの入力画面が表示される

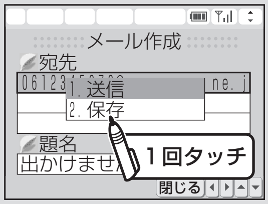


5 内容を修正する

①修正する項目をタッチして選ぶ
②文字を修正する
（☞1-56～1-69ページ）
③ 入力終了 にタッチする

6 サブメニュー に タッチする

7 「保存」にタッチする



●送信するときは、「送信」にタッチします。

8 「はい」にタッチする

●「はい」にタッチすると未送信メール一覧画面が表示されます。

●編集したメールが、新しい未送信メールとして保存されます。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

お知らせ

● 手順3で「これ以上、メールが保存できません。」と表示されたときは、すでに未送信メールと送信済メールが合わせて50件保存され、新しいメールが保存できない状態にあります。不要な未送信メールまたは送信済メールを削除して（☞6-47ページ）からもう一度操作をやり直してください。
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

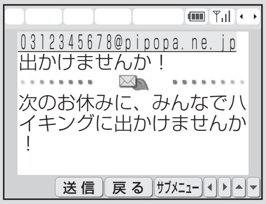
未送信メールを送信する

未送信メールを送信する

保存してまだ送信していないメールを送信します。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

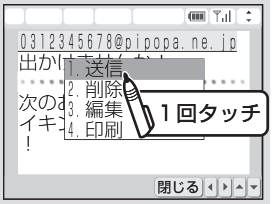
1 未送信メールの内容を表示する
（☞6-36ページ）



●未送信メール一覧から、▲ または ▼ で送信したいメールを選び、1件送信 をタッチして送信することもできます。

2 サブメニュー にタッチする

3 「送信」にタッチする



●選んだ未送信メールが送信されます。

4 送信が終わったら「はい」にタッチする



●回線が切断されてメールメニューに戻ります。待機画面に戻るときは おわる にタッチします。

●「いいえ」にタッチすると、回線が切断されずにメールメニューに戻ります。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **未送信メールを一括して送信するときは**
（☞6-46ページ）

お知らせ

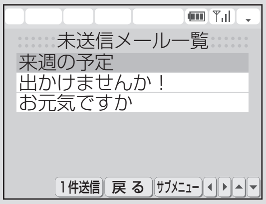
●「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

未送信メールを一括送信する

保存されている未送信メールを一度の操作ですべて送信することができます。（全件送信）

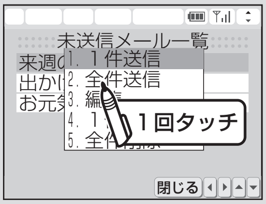
操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 「未送信メール一覧」を表示する
（☞6-36ページ手順１～３）



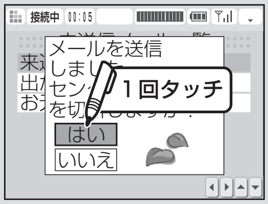
2 サブメニュー にタッチする

3 「全件送信」にタッチする



- 未送信メールがすべて送信されます。
- 未送信メール一覧の中に宛先の入力されていないメールがあると、「宛先のないメールがあります」と表示され、送信は行われません。
- 「Ｌモード」と回線がつながっていなかった場合でも、自動的に回線を接続してメールを送信します。

4 送信が終わったら「はい」にタッチする



- 回線が切断されてメールメニューに戻ります。待機画面に戻るときは おわる にタッチします。
- 「いいえ」にタッチすると、回線が切断されずにメールメニューに戻ります。

■ 途中でやめるときは

おわる を押します。

■ メールの送信を途中で止めるときは

「接続中」の表示が出ている間に「中止」にタッチしてください。送信が中止されてメールメニューに戻ります。「メール送信中」の表示が出ている間に「中断」にタッチすると、メール送信が完了したメールは未送信メール一覧から削除されています。

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

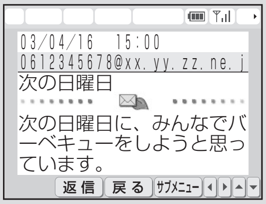
メールを削除する

受信メール／送信済メール／未送信メールを削除することができます。保護したメールを削除することもできます。

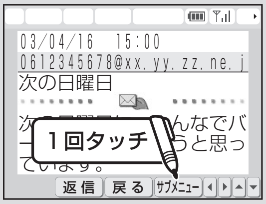
下記の操作は、受信メールを削除するときの例です。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

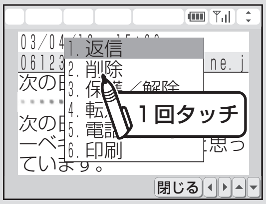
1 削除したいメールの内容を表示する
（☞6-36ページ）



2 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする



3 「削除」にタッチする



4 「はい」にタッチする



●削除をやめるときは、「いいえ」にタッチしてください。

5 「OK」にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **受信メール／送信済メール／未送信メールをすべて削除するときは**

① 6-36ページの手順1～2の操作で削除したいメールの一覧（受信メール一覧／送信済メール一覧／未送信メール一覧）を表示する

② ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ にタッチする

③ 「全件削除」にタッチする

④ 「はい」にタッチする

削除をやめるときは、④で「いいえ」にタッチしてください。

（保護メールがある場合は、「保護メールも削除しますか？」と表示されます。「はい」にタッチすると、保護メールもすべて削除されます。）

⑤ 「OK」にタッチする

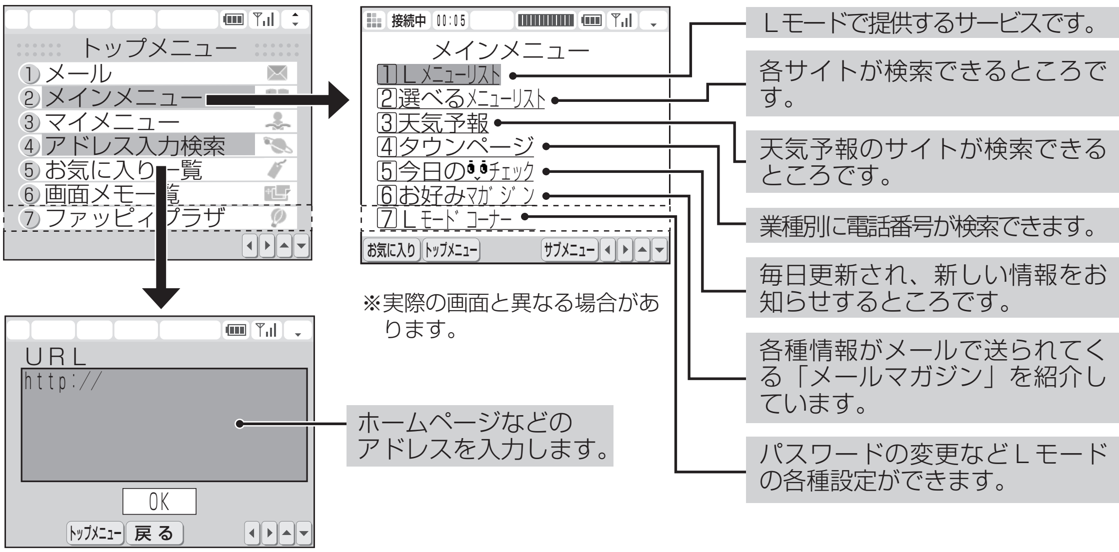
■ **保護されているメールを削除するときは**
（☞6-37ページ）

メ　モ

Lモード〈ブラウザ〉

ブラウザサービスについて

天気予報やタウン情報など生活に役立つ情報を取り出すことができます。
また、アドレス（URL）を入力するとインターネット上のホームページなども見ることができます。



※実際の画面と異なる場合があります。



●取り出した情報は、そのサイト（番組）を登録したり、ページを保存・印刷することができます。
①ページやサイトを登録して素早く表示する（☞6-58〜6-60ページ）
②サイトのページを保存する（☞6-66〜6-67ページ）
③表示したページをプリントする（☞6-70ページ）

●サイト（番組）から着信メロディーを取り込む（ダウンロードする）こともできます。
着信メロディーを取り込む（☞6-57ページ）

アドバイス！

※「無通信監視タイマー」（☞6-17ページ）
この機能は、「Ｌモード」へ接続中に何も操作しなかった時、自動的に「Ｌモード」との接続を切断する機能です。
「Ｌモード」との接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「２分」に設定されています。

※通信料金を節約してサイト（番組）のページを見る
インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に［ボタン］にタッチすると、表示しているページはそのままで、「Ｌモード」との接続を切断することができます。
通信料金を節約してページを見るときに便利です。



お知らせ

- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。

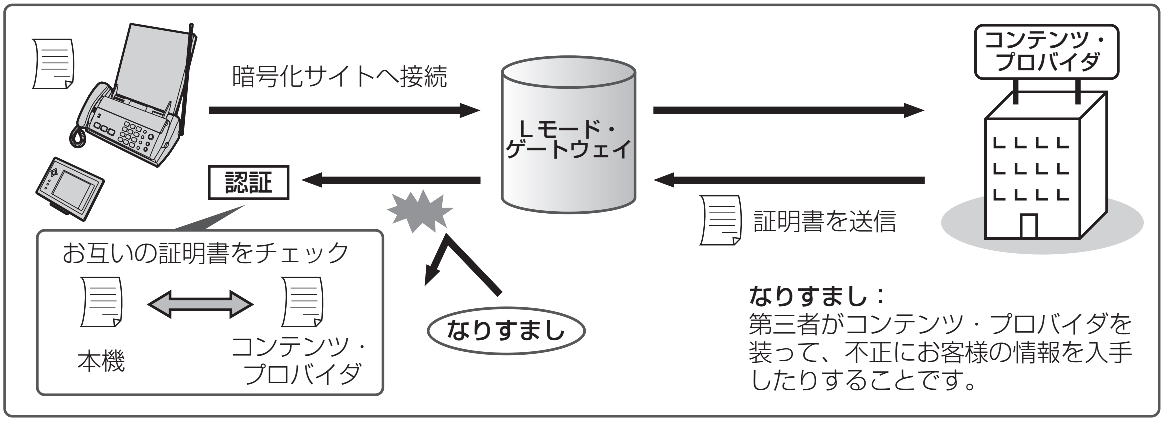
暗号化通信について

本機から特別な操作なしに、対応サイト（暗号化サイト）と暗号化通信を行うことができます。（☞6-54ページ）
暗号化通信とは、認証や暗号の技術を使用することで、プライバシーを保護して安全なデータ通信を行う通信方式です。本機と暗号化サイトとの間で、データ通信前に証明書による認証を実施するとともに、データを暗号化して送受信することで、第三者による“なりすまし”や通信途中でのデータの“盗み見”“書き換え”を防止し、クレジットカードや住所など、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

暗号化通信のしくみ

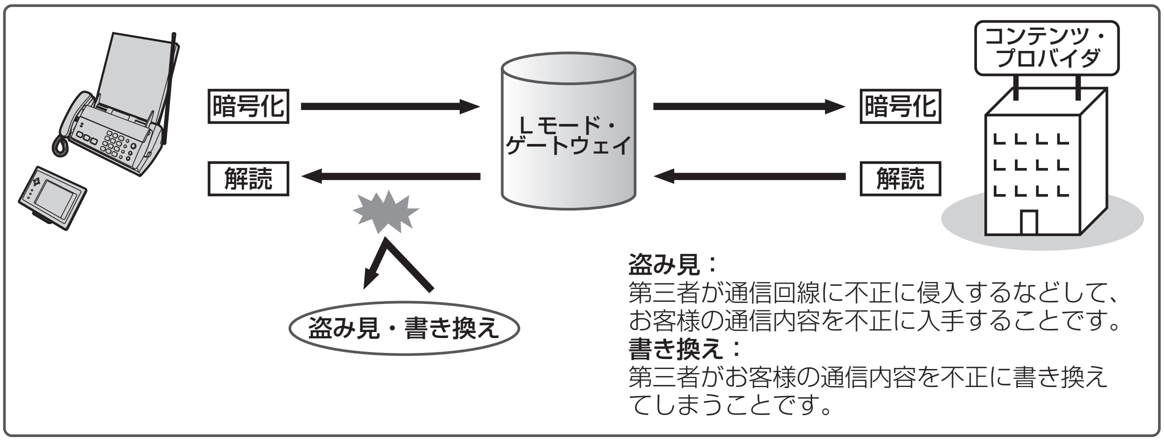
認証機能

実際にデータのやり取りを行う前に、コンテンツ・プロバイダ（情報提供者）から送られてくる証明書（認証局という公的な機関が、コンテンツ・プロバイダの本人性を証明するために発行するもの）と、本機が持つ証明書をチェックし、双方の証明書が、確かに同一の認証局から発行されたものであるかを確認します。また、コンテンツ・プロバイダから送られてきた証明書を表示し、その内容を確認することで、第三者による“なりすまし”を防止することができます。



暗号機能

コンテンツ・プロバイダの認証後に、データを暗号化して送受信します。暗号化したデータは、本機とコンテンツ・プロバイダ以外は解読することができませんので、第三者によるデータの盗み見や書き換えを防止することができます。

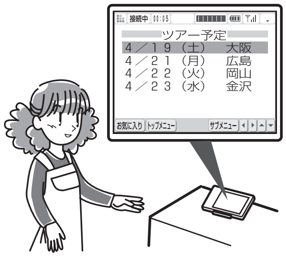


お知らせ

- Ｌモードの暗号化通信は、SSL（Secure Socket Layer）という認証／暗号技術を使用しています。
- 暗号化通信を正常に動作させるには、ワイヤレスカラー液晶の日付・時刻設定（☞1-52ページ）を正しく行ってください。

サイト（番組）を表示する

サイト（番組）をご覧になるときは、まず目次にあたる「メインメニュー」を表示させます。「メインメニュー」からお好きな項目を選択していき、サイト（番組）を表示します。



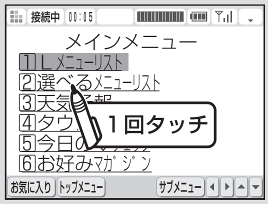
操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 にタッチし、「メインメニュー」にタッチする



●親機の電源がOFFになったり、停電になった時は、再度Ｌモードを利用設定してください。（☞6-6ページ）

2 お好きな項目をタッチして選ぶ



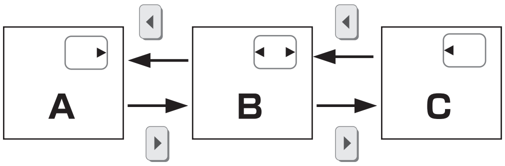
●画面内の項目をタッチすると、次の画面に進みます。繰り返し操作して見たいサイトを表示させてください。

●Ｌボタンにタッチすると、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。通信料金を節約してページ内容を見たいときなどに操作してください。

※実際の画面とは異なることがあります

■ **1つ前の画面に戻るときは**

画面の右上に ◂ が表示されているときは、◂ にタッチしてください。
（例）ページをA→B→Cと表示してきた場合



■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **「Lモード」との接続を終了するときは**

おわる にタッチします。

■ **画像データを表示させたくないときは**

「画像表示」の設定で画像データを表示させないようにすることができます。（☞6-20ページ）

■ **表示したページをプリントするには**
（☞6-70ページ）

お知らせ

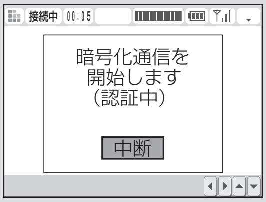
- Lボタンにタッチして接続中画面になってから、センターとの接続に約30〜60秒程度かかります。
- 回線の状態によっては、まれに「Lモード」に接続できない場合があります（「接続に失敗しました。」が表示されます）。
- 回線の状態によっては、サイトが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。
- 回線の状態によっては、まれに「Lモード」との接続が切断されることがあります。
  また、「Lモード」に接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。
  （「回線が切断されました。」と画面表示され、表示していたブラウザマークが消えます。）
  この場合は、「OK」にタッチして「回線が切断されました。」の画面表示を消し、もう一度決定ボタンを押して「Lモード」への接続の操作を始めてください。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 通信を中断した場合、あるいはホームページが正しく表示されなかった場合でも、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているかどうかを確認してください。
- 「Lモード」と接続が失敗した場合でも通信料金がかかります。
- GIF、JPEG形式以外の画像データを表示することはできません。その場合、画像の位置に ☒ を表示します。GIF、JPEG形式の画像データであっても表示できない場合があります。

暗号化サイトへ接続する

暗号化サイトとは、データをやりとりする際に、暗号化通信を行うことで、データの盗み見や書き換え、なりすましを防ぐ、安全性の高いサイトです。暗号化サイトに接続すると、確認画面が表示された後、暗号化通信が開始されます。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

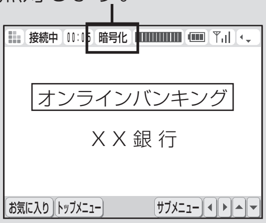
1 暗号化サイトを表示する
（☞6-52ページ）



●暗号化サイトへの接続前に、認証中画面が表示されます。
●「中断」にタッチすると、接続を中止して元の画面に戻ります。

2 暗号化サイトが表示される

暗号化サイト接続中に点灯します。

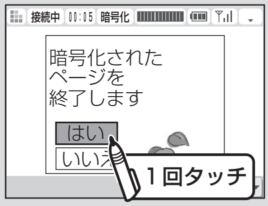


●暗号化通信が開始され、画面上部に 暗号化 が点灯します。

3 他のサイトへ移動する

●通常のサイトへ移動しようとすると、確認画面が表示されます。

4 「はい」にタッチする



5 暗号化通信が終了する

● 暗号化 が消灯します。

■ **暗号化サイトの証明書を表示するには**

① 暗号化サイトの表示中に、サブメニュー にタッチする
② ▲ または ▼ にタッチして「証明書表示」を選ぶ
③「証明書表示」にタッチする
証明書が表示されます。

■ **証明書の有効／無効を設定するには**

「証明書設定」（☞6-18ページ）で設定します。

■ **「認証できないサイトですが暗号化通信を行いますか？」と表示されたときは**

・サイトの証明書に本機の証明書が対応していない
・サイトの証明書の有効期限が切れている
・本機の証明書の有効期限が切れている
・ワイヤレスカラー液晶の日付・時刻設定が正しく設定されていない

などの理由により、上記のメッセージが表示されることがあります。
このときは、「はい」にタッチすると、証明書による認証を省略して暗号化通信を行います。
「いいえ」にタッチすると、接続を中止して前の画面に戻ります。

お知らせ

● 暗号化通信を正常に動作させるには、ワイヤレスカラー液晶の日付・時刻設定（☞1-52ページ）を正しく行ってください。

画面上での操作のしかた

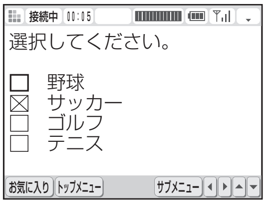
画面に表示された選択肢の中から項目を選んで操作する方法は、チェックボックス、ラジオボタン、プルダウンメニューがあります。それぞれ操作方法や選択できる数などが異なります。

チェックボックス付き項目を選択する

チェックボックスは、選択肢の中から複数の項目を選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。複数の項目をタッチして選択できます。

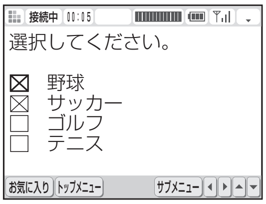
①ページ表示中に選択するチェックボックス（□）にタッチする

項目が選択され、□が☒に変わります。
複数の項目を選択できます。
すでに選択されている項目は☒で表示されています。



②選択を取り消すには、同じ項目をもう一度タッチする

☒が□に戻ります。

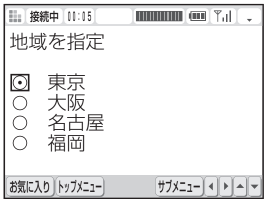


ラジオボタン付き項目を選択する

ラジオボタンは、選択肢の中から１つだけ選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。

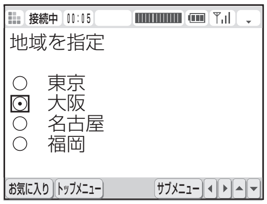
①ページ表示中に選択するラジオボタン（ ○ ）にタッチする

タッチされたラジオボタンが⊙に変わります。



②選択を取り消すには、他の項目をタッチする

複数の項目を選択することはできません。



お知らせ

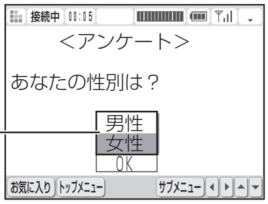
- パスワードの入力画面で「□ 保存する」のチェックボックスにタッチすると、入力したパスワードが保存されます。この操作を行っておくと以降のパスワードの認証処理が自動的に行われますので、次回からパスワードを入力する必要がなくなります。

プルダウンメニューから項目を選択する

プルダウンメニューは、選択肢が見えない状態で表示されるメニューです。
ページ内では影付きで表示され、プルダウンメニューをタッチすると、選択肢が一覧表示されます。

①ページ表示中にプルダウンメニュー（男性）をタッチする

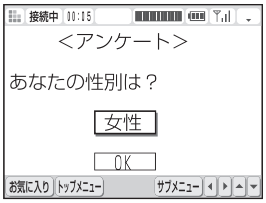
選んだプルダウンメニューが一覧表示されます。
一度にすべての選択肢が表示されない場合があります。
その場合は、▼または▲にタッチして、全選択肢を順に表示できます。



選択肢が一覧表示されます。

②選ぶ項目にタッチする

選んだ項目が確定されます。



着信メロディーを取り込む（着信メロディーダウンロード）

サイトなどから着信メロディーを取り込む

「Ｌモード」に接続して着信メロディーサービスを提供している情報サービス提供者から着信メロディーを取り込む（ダウンロードする）ことができます。
10曲までダウンロードできます。

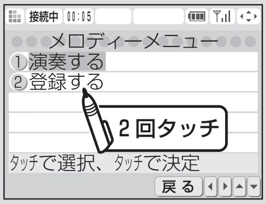
操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 着信メロディーが掲載されているサイトを表示する
（☞6-52〜6-53ページ）

2 着信メロディーをダウンロードする

●着信メロディーのダウンロード方法は各サイトで異なります。

3 「登録する」に 2 回タッチする



●着信メロディーを試聴したいときは、「演奏する」にタッチします。聞き終わったら、中止にタッチします。

4 保存する場所をタッチして選ぶ



●呼出音の07〜16に保存することができます。（☞1-45ページ）
すでに着信メロディーが保存されているときは、タイトルが表示されています。

●すでに保存されている着信メロディーを選んだときは、上書き保存確認画面が表示されます。

■ 「Ｌモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ ダウンロードした着信メロディーを呼出音に設定するには（☞1-45ページ）

お知らせ

● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
● 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

ページやサイトを登録して素早く表示する

ページやサイトをお気に入りに登録する

ページやサイトのアドレス（URL）を、短いタイトルをつけて登録しておくことができます。（お気に入り）
よく見るページを登録しておくと、お気に入りを選択するだけで簡単にそのページを表示できます。

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 ページを表示中に サブメニュー にタッチする

2 「お気に入り登録」にタッチする



3 「OK」にタッチする

●表示されていたページがお気に入りに登録されます。

■ 登録されているお気に入りを確認するときは

① 待機画面を表示中に [アイコン] にタッチする
② 「お気に入り一覧」にタッチする
登録したお気に入り一覧が表示されます。

■ 登録されているお気に入りを削除するときは

① お気に入りを確認する操作をする
② ▲ または ▼ にタッチして、削除したいお気に入りを選ぶ
③ サブメニュー にタッチする
④ 「１件削除」にタッチする
⑤ 「はい」にタッチする
お気に入りが削除されます。
※ 登録されているお気に入りをすべて削除するときは、④で「全件削除」にタッチします。

■ お気に入りに登録したページを、ワンタッチで表示できるようにするには（ワンタッチ閲覧機能）

① 待機画面を表示中に [アイコン] にタッチする
② 「お気に入り一覧」にタッチする
③ ▲ または ▼ にタッチして、ワンタッチ閲覧に登録するお気に入りを選ぶ
④ サブメニュー にタッチする
⑤ 「ワンタッチ閲覧登録」にタッチする
⑥ 「OK」にタッチする
ワンタッチ閲覧に登録したページは、待機画面の ワンタッチ にタッチするだけで表示することができます。
ワンタッチ閲覧に登録できるお気に入りは１件だけです。

■ 「これ以上、登録できません。」と表示されたときは

すでに20件登録されています。新しく登録するときは不要なお気に入りを削除してください。

■ お気に入りと画面メモ（☞6-66〜6-67ページ）の違い

お気に入りからページを表示するときは、「Lモード」を介して最新の内容を受信し、表示します。画面メモを表示するときは、通信は行われずに保存時の内容がそのまま表示されます。内容の更新が多いページは、お気に入りに登録すると常に最新の状態を表示できます。

■ ワンタッチ閲覧の登録を変更・解除するには

他のお気に入りをワンタッチ閲覧に登録すると、もとのワンタッチ閲覧登録は、自動的に解除されます。
また、ワンタッチ閲覧の登録のみを解除することはできません。不用なときは、ワンタッチ閲覧に登録したお気に入りを削除してください。

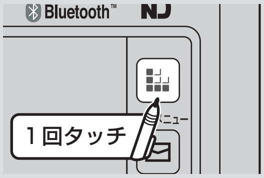
お知らせ

- お気に入りは最大20件まで登録することができます。
- お気に入りのタイトルは、全角８文字（半角16文字）まで登録できます。全角８文字を超えるタイトルの場合、９文字目からは登録されません。
- タイトルが無いページを登録したときは、そのページのURL（アドレス）が登録されます。
- 登録したお気に入りは停電があっても保存されています。

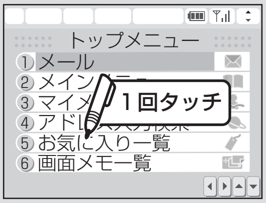
お気に入りからサイトを表示する

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 にタッチする

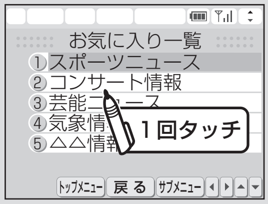


2 「お気に入り一覧」にタッチする



- お気に入り一覧画面が表示されます。
- お気に入りのタイトルを編集するには（☞6-60ページ）

3 表示したいお気に入りをタッチする



4 「Lモード」に接続し、お気に入り登録されているページが表示される



■ **ページ表示中にお気に入りからサイトを表示するには**

① ページを表示中に お気に入り にタッチする
お気に入り一覧画面が表示されます。

② 表示したいお気に入りをタッチする
お気に入り登録されているページが表示されます。

お知らせ

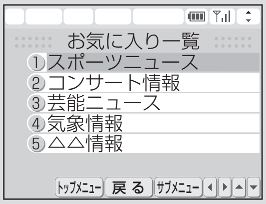
- ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときは、お気に入り一覧画面で、タイトルの前の番号をダイヤルボタンで入力してサイトを表示させることができます。

お気に入りタイトルを編集する

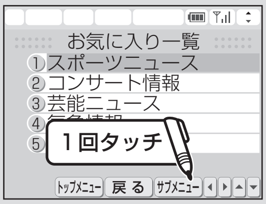
操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 「お気に入りからサイトを表示する」操作の手順1～2を行う
（☞6-59ページ）

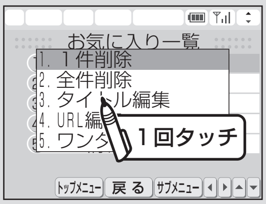
2 ▲または▼にタッチして、編集したいお気に入りを選ぶ



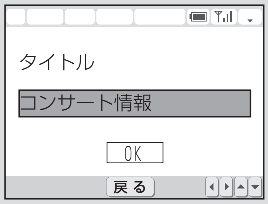
3 サブメニュー にタッチする



4 「タイトル編集」にタッチする



5 タイトル編集画面が表示される



●タイトル名が表示されない場合があります。

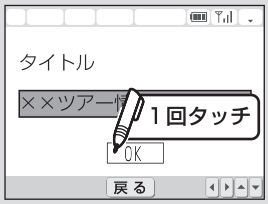
6 タイトルのテキストボックスにタッチする



●文字入力モードに切り替わります。

7 新しいタイトルを入力する
（☞1-56～1-69ページ）

8 入力終了 にタッチし、「OK」にタッチする



9 「OK」にタッチする

●お気に入り一覧の画面に戻ります。

■ **お気に入りのURL（アドレス）を編集するには**

登録されているお気に入りのURL（アドレス）を編集することができます。文字数は最大で、全角250文字（半角500文字）までです。

① 「お気に入りタイトルを編集する」操作の手順3までを行う
② 「URL編集」にタッチする
③ URLのテキストボックスにタッチする
　URL編集画面が表示されます。
④ URLを編集する
　文字の訂正や入力は1-56～1-69ページを参照してください。
⑤ 入力終了 にタッチする
⑥ 「OK」にタッチする
⑦ 「OK」にタッチする

お知らせ

- お気に入りタイトルを編集した場合、登録できるのは全角8文字（半角16文字）までです。
- お気に入りタイトルを編集しても登録されている順序は変更されません。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量が多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示できません。

マイメニューを使う

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。マイメニューは「Ｌモード」のサーバーに登録されます。
マイメニューの登録については「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

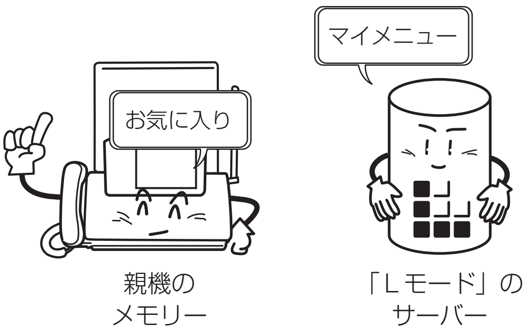
操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 登録するサイトを表示する
（☞6-52～6-53ページ）

2 サイト内の「マイメニュー登録」にタッチする
- サイトによりページ構成が異なります。該当する項目（契約や登録など）を選んでください
- マイメニューにサイトが登録されます。

■ **お気に入り（☞6-58～6-60ページ）とマイメニューの違い**

お気に入りとマイメニューは、URLのデータを登録する場所が異なります。
お気に入りのデータは、親機に登録されるのに対し、マイメニューは、「Ｌモード」のサーバーに登録されます。



マイメニューからサイトを表示する

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1　**にタッチし、「マイメニュー」にタッチする**



2　**登録されているマイメニューが一覧表示される**

3　**表示したいマイメニューをタッチして選ぶ**

●登録されているサイトが表示されます。

■ **マイメニューの登録を解除するときは**

登録したサイトを表示し、「マイメニュー解除」（解約や削除など、サイトにより異なります）を選びます。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（　）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

にタッチします。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、にタッチするとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

ページを再読み込みする

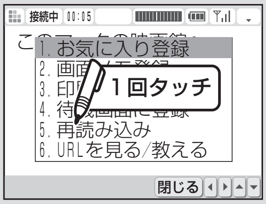
表示中のページの内容を受信し直します。画像が正常に表示できなかったときや、ページの内容を最新のものに更新するときなどに行います。

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 再読み込みするページが表示された状態で サブメニュー にタッチする



2 「再読込」にタッチする



3 ページが再表示される



■ **「Lモード」との接続を終了させるときは**

おわる にタッチします。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

にタッチします。
回線を接続した状態でページを表示しているときに、 にタッチするとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

URLを入力してページを表示する

ページには「URL」と呼ぶアドレスが付いています。これを入力して、個人、団体、企業などが開設しているさまざまなページを表示できます。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 ［アイコン］**にタッチし、「アドレス入力検索」にタッチする**

2 URL入力画面が表示される



● 2回目からは、前回入力したURLが表示されます。別のページを表示するには以下の手順で修正（変更）してください。

3 URLのテキストボックスにタッチする



4 URL（アドレス）を入力する
（☞1-56～1-69ページ）



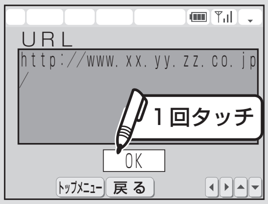
● 2回目からは、前回入力したURLが表示されます。

●入力するときは、大文字と小文字、全角と半角に注意してください。

●変更するときは、◀ ▶ ▲ ▼ にタッチしてカーソルを修正したい部分に移動させて、文字を修正してください。

5 入力終了 **にタッチする**

6 「OK」にタッチする



●「接続中」または「ページ取得中」と表示したあと、ページを表示します。

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ URL（アドレス）に使用できる文字と文字数は

URLに使用できる文字は、漢字、全角かな、全角カナ、全角英字、全角記号、全角数字、半角カナ、半角英字、半角記号、半角数字、絵文字、区点です。文字数は「http://」を含めて最大全角250文字（半角500文字）までです。
（2003年２月現在で、ＵＲＬに使用されている文字は、おもに半角英数字です。）

■ 表示しているページのURLを確認するには

① ページを表示中に サブメニュー にタッチする
② 「URLを見る／教える」にタッチする

■ 「Lモード」との接続を終了させるときは

おわる にタッチします。

■ 「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

 にタッチします。
回線を接続した状態でページを表示しているときに にタッチするとページは表示されたまま回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 指定できるURLは１回に１つです。
- URLを入力したあと回線接続中に操作を中止するときは、「接続中」または「ページ取得中です」と画面表示されている間に「中止」または「中断」にタッチしてください。
- 手順３のあと、テキストボックスには「http://」が自動的に入力されています。
- 入力するURLの先頭には必ず「http://」または「https://」を付けてください。「http://」または「https://」がないとページに接続できません。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

サイトのページを保存する（画面メモ）

表示中のサイト（番組）のページを「画面メモ」として保存することができます。保存した画面メモは「Ｌモード」と接続せずにいつでも表示できますので、たとえば、料理のレシピや乗換案内など、一度表示した画面をあとから利用したいときに便利です。

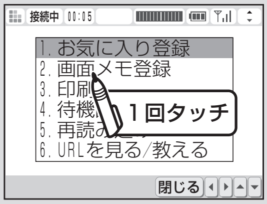
画面メモを保存する

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 ページを表示中に サブメニュー にタッチする



2 「画面メモ登録」にタッチし、「OK」にタッチする



●すでに画面メモが30件登録されているときは、「画面メモがいっぱいです。」と表示され新しく画面メモを保存できません。

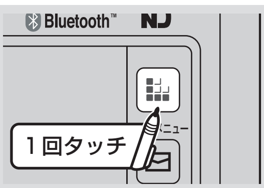
■ **保存した画面メモのタイトルを変更するには**

① [メニュー] にタッチする
②「画面メモ一覧」にタッチする
③ ▲ または ▼ にタッチして、タイトルを変更したい画面メモを選ぶ
④ サブメニュー にタッチする
⑤「タイトル編集」にタッチする
⑥ タイトルの表示されている欄にタッチする
⑦ 新しいタイトルを入力する（最大全角８文字・半角16文字まで）（☞1-56〜1-70ページ）
⑧ 入力終了 にタッチする
⑨「OK」にタッチする
⑩「OK」にタッチする

画面メモを表示する

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 [メニュー] にタッチする



2 「画面メモ一覧」にタッチする



●画面メモ一覧画面が表示されます。

3 表示したい画面メモをタッチする

4 保存されている画面メモが表示される



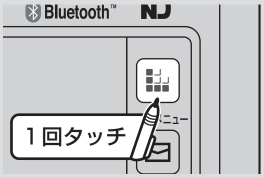
■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

画面メモを削除する

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 にタッチする



2 「画面メモ一覧」にタッチする



●画面メモ一覧画面が表示されます。

3 ▲または▼にタッチして削除したい画面メモを選ぶ

4 サブメニュー にタッチする

5 「1件削除」にタッチする

6 「はい」にタッチする

7 「OK」にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **画面メモをすべて削除するときは**

① にタッチする
② 「画面メモ一覧」にタッチする
③ サブメニュー にタッチする
④ 「全件削除」にタッチする
⑤ 「はい」にタッチする
⑥ 「OK」にタッチする

保存されていた画面メモがすべて削除されます。このあと確認画面が2回表示されますので、どちらも「OK」にタッチしてください。（トップメニューに戻ります。）

■ **表示している画面メモをプリントするときは**

① プリントしたい画面メモの表示中に、サブメニュー にタッチする
② 「印刷」にタッチする
③ 「はい」にタッチする
表示していた画面メモがプリントされます。

■ **画面メモを表示中に削除するには**

① 削除したい画面メモを表示中に、サブメニュー にタッチする
② 「削除」にタッチする
③ 「はい」にタッチする
④ 「OK」にタッチする

表示していた画面メモが削除され、画面メモ一覧に戻ります。

■ **画面メモに保存している画像を待機画面として使用するときは（☞6-68～6-70ページ）**

お知らせ

- 画面メモは30件まで保存できます。ただしページの情報量によっては保存できる件数が少なくなることがあります。
- リンク先のあるページも画面メモに保存することができます。画面メモからリンク先を選択すると、「Lモード」に接続され、リンク先のページが表示されます。
- 「画像表示」の設定（☞6-20ページ）を「表示しない」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。（その後画像表示設定を「表示する」にしてから画面メモを表示させても、画像は表示されません。）
- 画面メモ内からも、PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えます。（☞6-75～6-76ページ）

画面メモをワイヤレスカラー液晶の待機画面に使用する

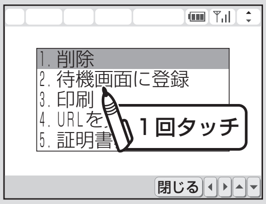
画面メモ（☞6-66ページ）に保存している画像を待機画面として使用することができます。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 待機画面に表示したい画面メモを表示する
（☞6-66ページ）

2 [サブメニュー] にタッチする

3 「待機画面に登録」にタッチする



4 画像データが選択される

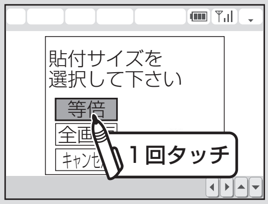


●画面表示されていない画像を選択するときは[▲]または[▼]にタッチして表示させてください。

5 [貼り付け] にタッチする

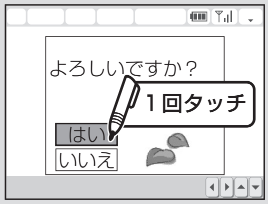


6 画面の貼付サイズをタッチして選ぶ
（☞6-69ページ）



●手順5で登録したい画像にタッチして、上記の貼付サイズ選択画面を表示させることもできます。

7 「はい」にタッチする



8 [おわる] にタッチする

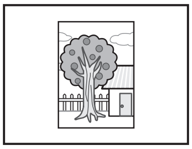
9 待機画面の設定を「ダウンロード画像」にしてください
（☞5-2ページ）

●「カレンダー」または「からくり時計」に設定されていると、画面メモに保存しておいた画像が表示されません。

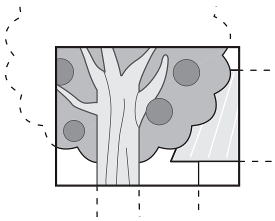
■ **待機画面の表示のされかた（表示形式）**

● 等倍表示

画像サイズが待機画面より小さいとき



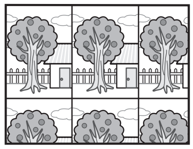
画像サイズが待機画面より大きいとき



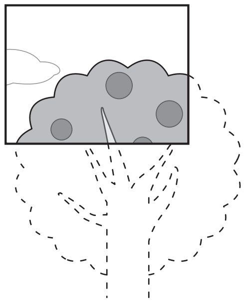
（中央より待機画面に
入る部分まで表示）

● 全画面表示

画像サイズが待機画面より小さいとき



画像サイズが待機画面より大きいとき



（左上から待機画面に
入る部分まで表示）

■ **途中でやめるときは**

[おわる] にタッチします。

■ **サイト内の画像を親機の待機画面に使用するときは**

① 使用したい画像のあるサイトを表示する
　（☞6-52ページ）

② [サブメニュー] にタッチする

③ 「待機画面に登録」にタッチする

④ 手順５～９の操作をする

お知らせ

● 選択した画像が１画面を超える場合は、表示不可能な部分が削除されます。

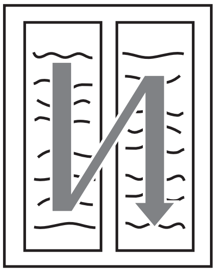
● 手順７のあとに、着信があったり受話器を上げたりした場合、待機画面に登録できない場合があります。また、すでに保存されていた画像が消えてしまうことがあります。

画面に表示したページをプリントする

メールの内容や、サイトのページを記録紙に印刷することができます。（ページプリント）

長いページ（コンテンツ）をプリントするときは、左右に並べてプリントするため経済的です。（メールは左右に並べてプリントできません。）





操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 印刷したいメールの内容やページを表示する

- Lボタンにタッチすると、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。続けて手順2から操作してください。
- 印刷したいページを表示させたあと、コピー/印刷ボタンを押しても印刷することができます。

2 サブメニュー にタッチする

3 「印刷」にタッチする

4 「はい」にタッチする



- 印刷が始まります。
- 印刷をしないときは、「いいえ」にタッチします。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **記録紙がつまったときは（☞8-8ページ）**

お知らせ

- ページを記録紙に印刷するときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。
- プリント中は、子機の使用はできません。

サイトからダウンロードしたデータをプリントする（コンテンツ印刷）

画面上では表示しづらい詳細な情報や、紙で取り出したい情報などをファイルとしてダウンロードし、プリントすることができます（コンテンツ印刷）。あらかじめ記録紙をセットしてから操作してください。
Ｌモードサイトの内容をプリントするページプリントとは異なり、コンテンツ印刷では、ダウンロードした印刷専用データをプリントします。



操作のしかた

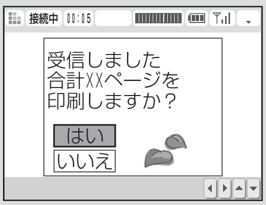
タッチペン　取り外してもOK！

1 印刷用データを提供しているサイトを表示する

2 サイトから印刷用データをダウンロードする

●ダウンロードの方法はサイトによって異なります。各サイトの案内にしたがって操作してください。

3 印刷確認画面が表示される



4 「はい」にタッチする



●プリントをしないときは、「いいえ」にタッチします。

5 「はい」にタッチする



●回線を切断してからプリントが始まります。
●回線を切断しないときは、「いいえ」にタッチします。
●無通信監視タイマーの設定時間がたつと自動的に回線を切断します。

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ 記録紙がつまったときは

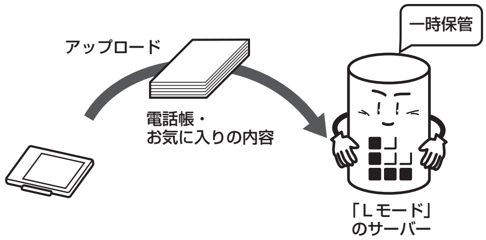
つまった記録紙を取り除いてから（☞8-8ページ）、再度プリントしてください。

お知らせ

- コンテンツ印刷用にダウンロードしたデータは、画面に表示されません。
- ダウンロードしたデータに異常があると、正しくプリントできないことがあります。
- ダウンロードしたデータのサイズによっては、プリントに数分程度かかることがあります。
- コンテンツ印刷をするときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。
- プリント中は、子機の使用はできません。

電話帳やお気に入りデータをアップロード（送信）する

ワイヤレスカラー液晶に登録されている電話帳やお気に入りの内容を「Lモード」に送信して一時保管することができます。（データアップロード）「Lモード」用端末の買い換えや修理のときに便利です。買い換えや修理後に一時保管したデータをダウンロード（☞6-74ページ）すると引き続き電話帳やお気に入りの登録内容をご利用になれます。



下記の操作は、電話帳データをアップロードするときの例です。

操作のしかた

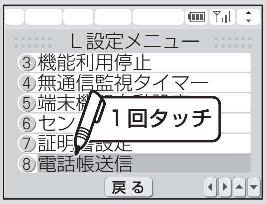
タッチペン　取り外してもOK！

1 待機画面から 登録/機能 にタッチし、▲ または ▼ にタッチして「L設定」を選ぶ

2 「L設定」にタッチして決定する

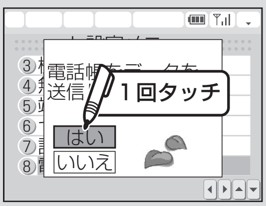
3 ▲ または ▼ にタッチして「電話帳送信」を選ぶ

4 「電話帳送信」にタッチして決定する

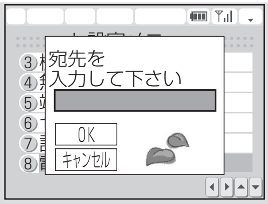


- お気に入りデータをアップロードするときは「お気に入り送信」にタッチしてください。
- タッチしたあと、「データがありません。」と表示されるときは、アップロードしようとした電話帳またはお気に入りデータが登録されていません。

5 「はい」にタッチする



6 メールアドレスの入力画面が表示される



7 送信先メールアドレス（お客様の「Lモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力エリアをタッチする
②お客様の「Lモード」のメールアドレスを入力する。（メールアドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。）

- 送信先メールアドレス（お客様の「Lモード」のアドレス）は、間違わないように入力してください。
お客様以外の方へ送信されることがあります。

8 入力が終わったら 入力終了 にタッチし、「OK」にタッチする



次ページへ→

→つづき

9 「Lモード」に接続され、データがアップロードされる



10 「OK」をタッチする



●L設定メニュー画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ 「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

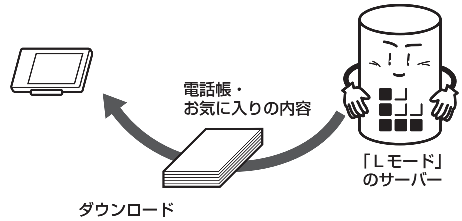
お知らせ

- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- アップロードしたデーターを自動受信でダウンロードすると、データが消去されますのでご注意ください。
  データをアップロードしたあとは必ずメール自動受信をしない設定にしてください。（6-32ページ）

電話帳やお気に入りデータをダウンロード（受信）する

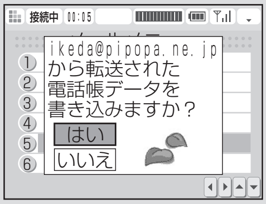
「Lモード」に保存している電話帳やお気に入りデータを、メールを受信する操作を行ってワイヤレスカラー液晶にダウンロードします。

下記の操作は、電話帳データをダウンロードするときの例です。データをダウンロードするときは、必ず手動受信（☞6-34ページ）でダウンロードしてください。自動受信でダウンロードすると、データが消去されます。アップロードしたあとは、メール自動受信をしない設定にしてください。



操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 メールを受信する操作を行う
（☞6-34ページ 手順１～２）



2 「はい」にタッチする

●「いいえ」にタッチすると、「削除しますか？」と表示されて受信したデータを削除することができます。

3 コピー元のアドレス（お客様の「Lモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力エリアにタッチする
②お客様の「Lモード」のメールアドレスを入力する

●アドレスは“@”より前の部分のみ入力してください。

4 入力が終わったら［入力終了］にタッチし、「OK」にタッチする



●自動的にデータをダウンロードします。ダウンロードは、**１回のみ**です。ダウンロードをした後「Lモード」に保存していたデータは自動的に削除されます。

●受信した電話帳やお気に入りデータは受信メールに保存されません。

5 受信完了のメッセージが表示されたら、「はい」にタッチする



●受信メール一覧画面に戻ります。

6 ［おわる］にタッチする

■ **途中でやめるときは**

［おわる］にタッチします。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

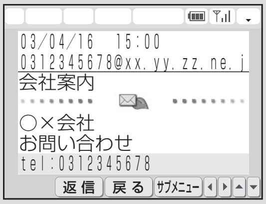
● 登録されている電話帳やお気に入りがあった場合、ダウンロードしたデータは追加されます。ただし、電話帳やお気に入りが一杯でダウンロードしたデータが追加できない場合、ダウンロードしたデータは追加されずに、削除されます。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う

◆ PHONE TO：メールやサイト、画面メモ内にある、電話番号に簡単に電話をかけることができます。
◆ MAIL TO：メールやサイト、画面メモ内にある、メールアドレスにメールを送ることができます。
◆ FAX TO：メールやサイト、画面メモ内にある、FAX番号に接続しファクスを受信することができます。
◆ WEB TO：メールやサイト、画面メモ内にある、URL（アドレス）に接続しページを表示することができます。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えるのは、カーソルを移動したときに水色に反転する電話（ファクス）番号やURL（アドレス）などです。

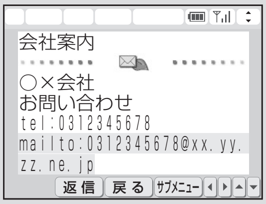
PHONE TO機能を使う



受信メールやサイト内にある電話番号（水色に反転しているもの）に電話がかけられます。

- **電話番号にタッチしたあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- **電話番号を確認してから操作してください。**自動的に電話番号にダイヤルします。
- 相手の方が出たら受話器を取ってお話しします。
- 通話が終わったら受話器を戻します。（待機画面が表示されます。）

MAIL TO機能を使う



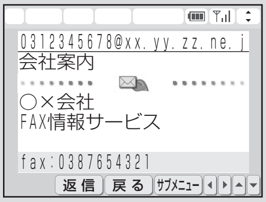
受信メールやサイト内にあるメールアドレス（水色に反転しているものなど）あてのメールを作成できます。

- **メールアドレスにタッチしたあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- 「メールが満杯です。未送信・送信済メールを削除して下さい。」と表示されたときは、未送信メールと送信済メールが合わせて50件保存されていて、新しくメールを作成することができません。決定ボタンを押したあと不要な未送信メールまたは送信済メールを削除（☞6-47ページ）してからもう一度操作をやり直してください。
- メール作成画面が表示されたときは、メールアドレスがすでに入力された状態になっています。
- メールアドレス（宛先）を確認してから送信してください。
（メールを作って送信する　☞6-24〜6-26ページ）

お知らせ

- サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合PHONE TO・MAIL TO機能は使えないことがあります。
- 発信後の通話には通話料金がかかります。
- PHONE TO機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。

FAX TO機能を使う



受信メールやサイト内にあるファクス番号（水色に反転しているもの）に接続し、ファクスを受信できます。

- **ファクス番号にタッチしたあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- **ファクス番号を確認してから操作してください。**自動的にファクス番号にダイヤルします。
- ファクス受信時は原稿をセットしていない状態で操作してください。
- ファクス受信確認画面（[FAXスタート]を押します。）が表示されます。
  相手先につながってから FAXスタート を押すと、ファクスを受信します。
  受信が終わると待機画面が表示されます。

WEB TO機能を使う



受信メールやサイト内にあるURL（アドレス）をタッチすると、ページが表示されます。

■ 途中でやめるときは

[おわる] にタッチします。

■1つ前の画面に戻るときは（☞6-53ページ）

[◀] が表示されているときに、[◀] にタッチしてください。ただし、受信メールを表示しているときに [◀] や [▶] にタッチした場合は、１つ後や１つ前に受信したメールが表示されます。

■ 「Lモード」との接続を終了させるときは

[おわる] にタッチします。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

[ブラウザ] にタッチします。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、[ブラウザ] にタッチするとページは表示されたままで回線を切断します。
表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

■ 「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

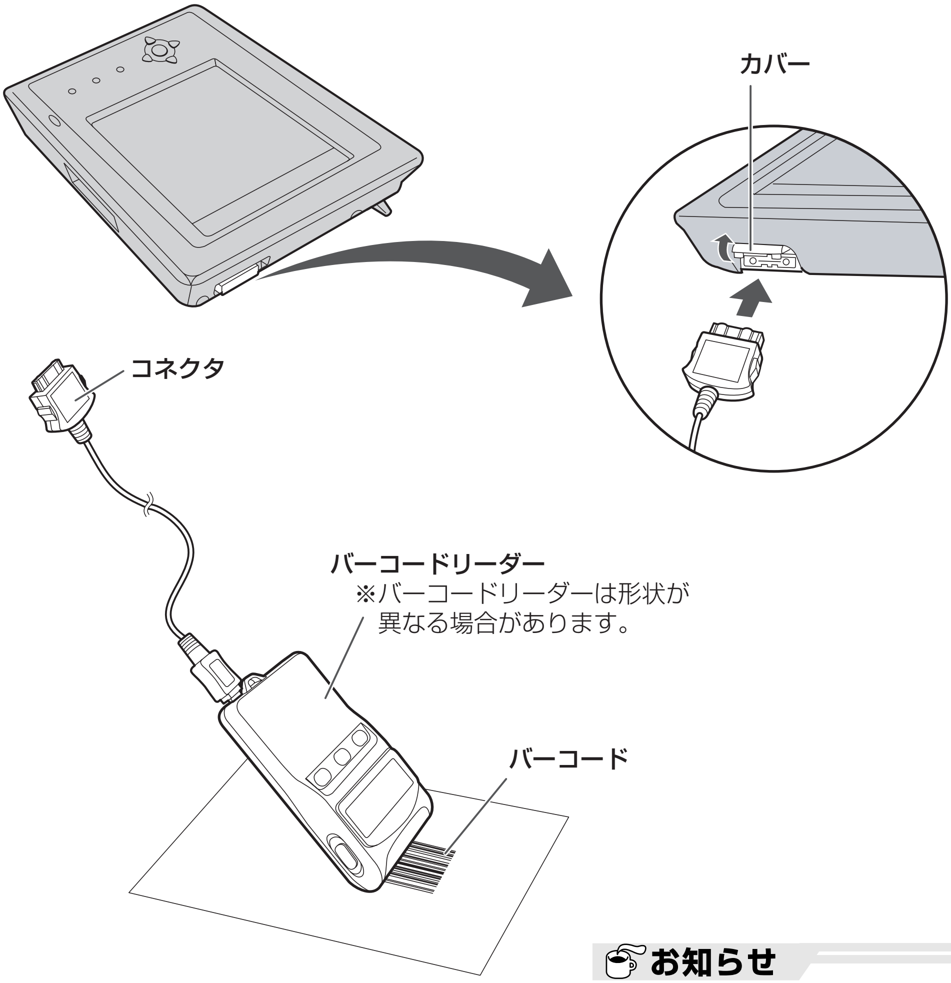
■ 表示したページを記録紙にプリントするには（☞6-70ページ）

お知らせ

- サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合、FAX TO・WEB TO機能は使えません。
- 発信後のファクス受信には通信料金がかかります。
- FAX TO機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

バーコードリーダー（別売）を接続する

市販のバーコードリーダーを接続することによって、
Ｌモードでの入力操作等が簡単にできます。



〈バーコードリーダーを接続するにあたって〉

- バーコードリーダーを取り付けまたは取り外すときは、コネクタを上下左右に曲げず、水平に行ってください。また、取り外すときは、コネクタ両側の解除ボタンを押しながら取り外してください。
- バーコードリーダーは付属していません。別途ご購入が必要です。市販品のバーコードリーダをお買い求めください。

お知らせ

- ワイヤレスカラー液晶のバーコード端子に市販のバーコードリーダーを接続してください。
- バーコードリーダーを接続するとバーコードリーダーの電源が入る場合があります。使用後は，バーコードリーダーをバーコード端子から外してください。
- バーコードリーダーの使用方法はバーコードリーダーメーカーにお問い合わせください。
- バーコードを読み取ったあとワイヤレスカラー液晶がそのバーコードを実行中（処理中）のときは、ボタンを押しても入力できないことがあります。こんなときは、しばらく待ってから操作してください。
- バーコードを読み取ったあとワイヤレスカラー液晶がそのバーコードを実行中（処理中）のときに、電話がかかってきたり、受話器を上げたりしたときは、バーコードの実行（処理）が中断されます。